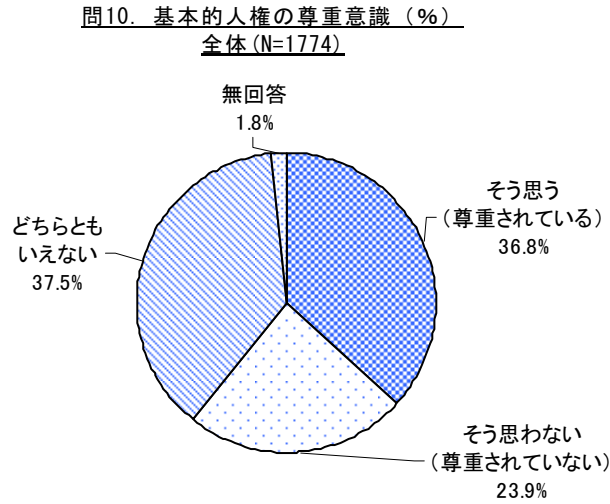


Ⅲ 調査結果

【1】人権に関する市民意識調査

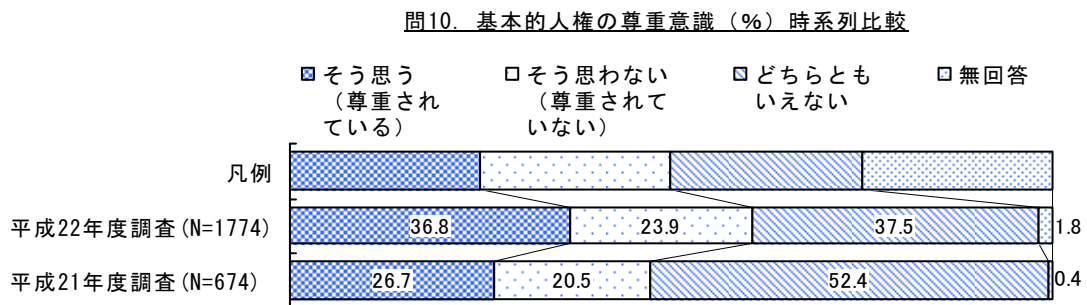
1. 基本的人権の尊重意識

問10. 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(○印1つ)



基本的人権の尊重意識についてみると、「そう思う (尊重されている)」が 36.8%、「そう思わない (尊重されていない)」が 23.9%、「どちらともいえない」が 37.5%となっている。

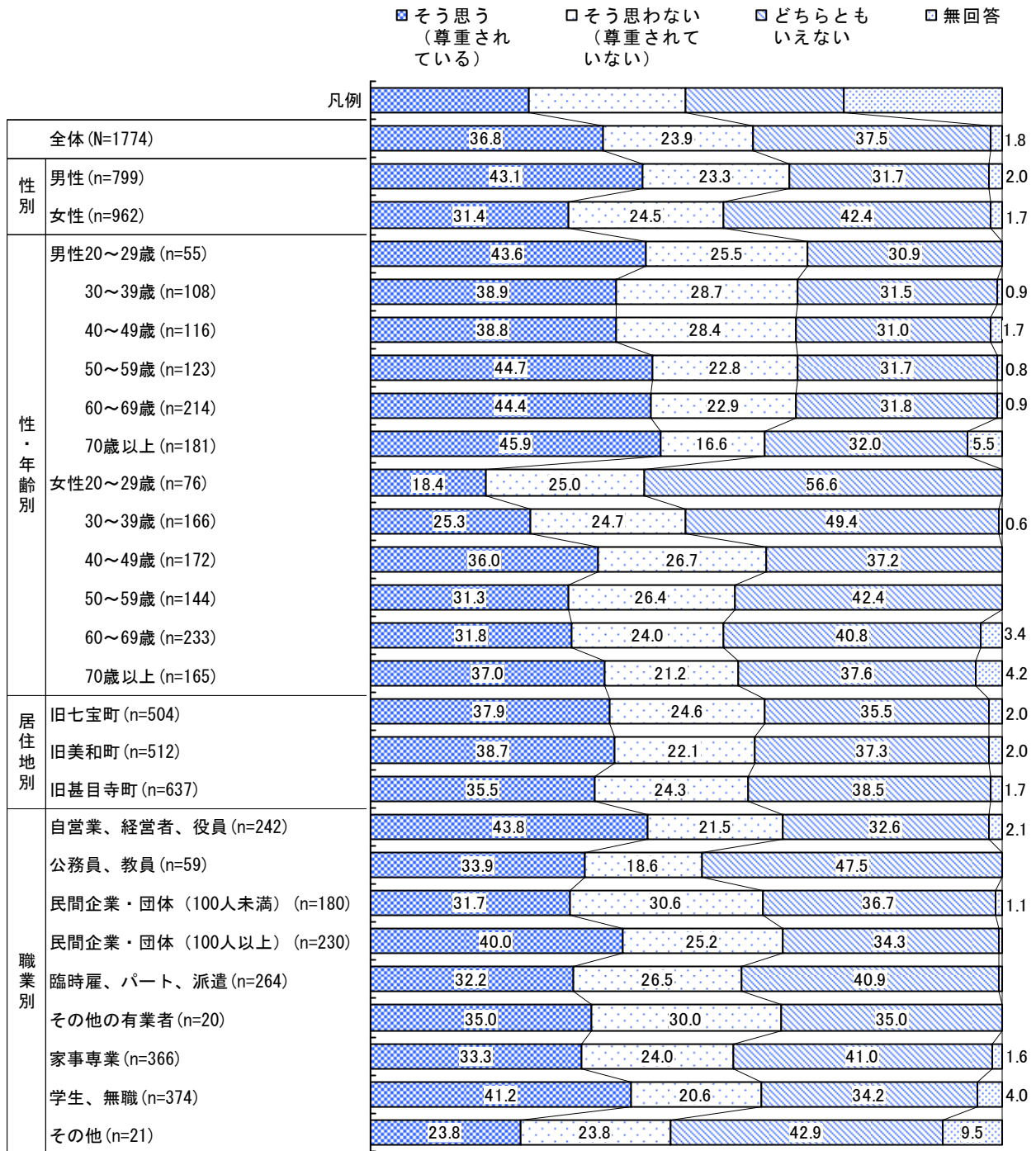
【時系列比較】



平成 21 年度調査に比べ「そう思う (尊重されている)」が増加し、「どちらともいえない」が減少している。

【基本属性別】

問10. 基本的人権の尊重意識 (%)



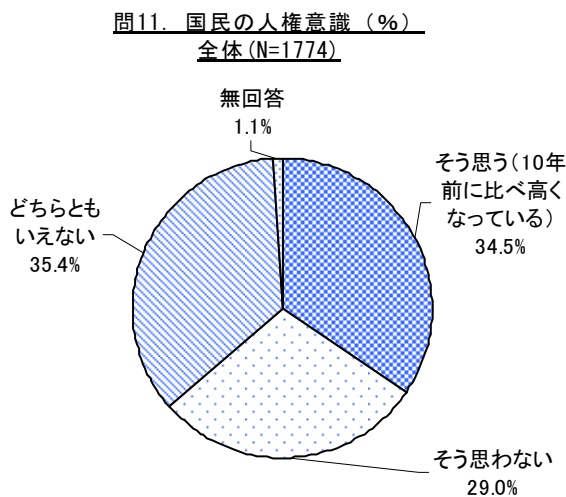
《性別》では、女性に比べ男性で「そう思う (尊重されている)」が多くなっている。

《性・年齢別》では、男性は30歳代、40歳代で「そう思わない (尊重されていない)」が他の年齢層に比べやや多くなっている。女性は40歳代、70歳以上で「そう思う (尊重されている)」が他の年齢層に比べやや多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「自営業、経営者、役員」「民間企業・団体 (100人以上)」「学生、無職」で「そう思う (尊重されている)」が多くなっている。

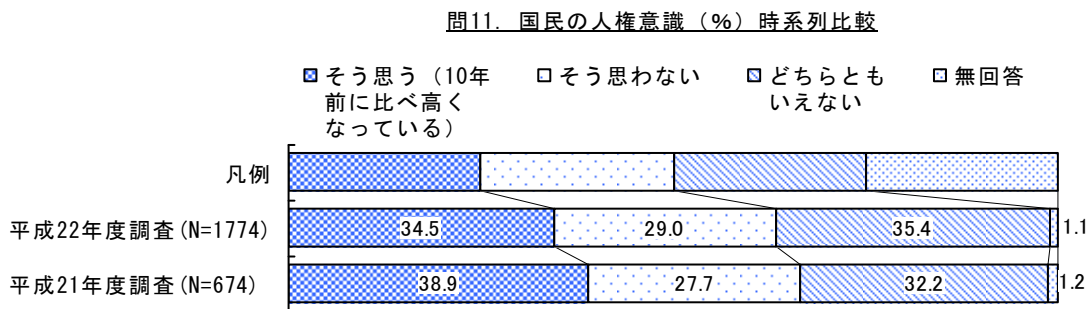
2. 国民の人権意識

問 11. 国民（市民）一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思いますか。（○印1つ）



国民の人権意識については、「そう思う（10年前に比べ高くなっている）」が 34.5%、「そう思わない」が 29.0%、「どちらともいえない」が 35.4%となっている。

【時系列比較】

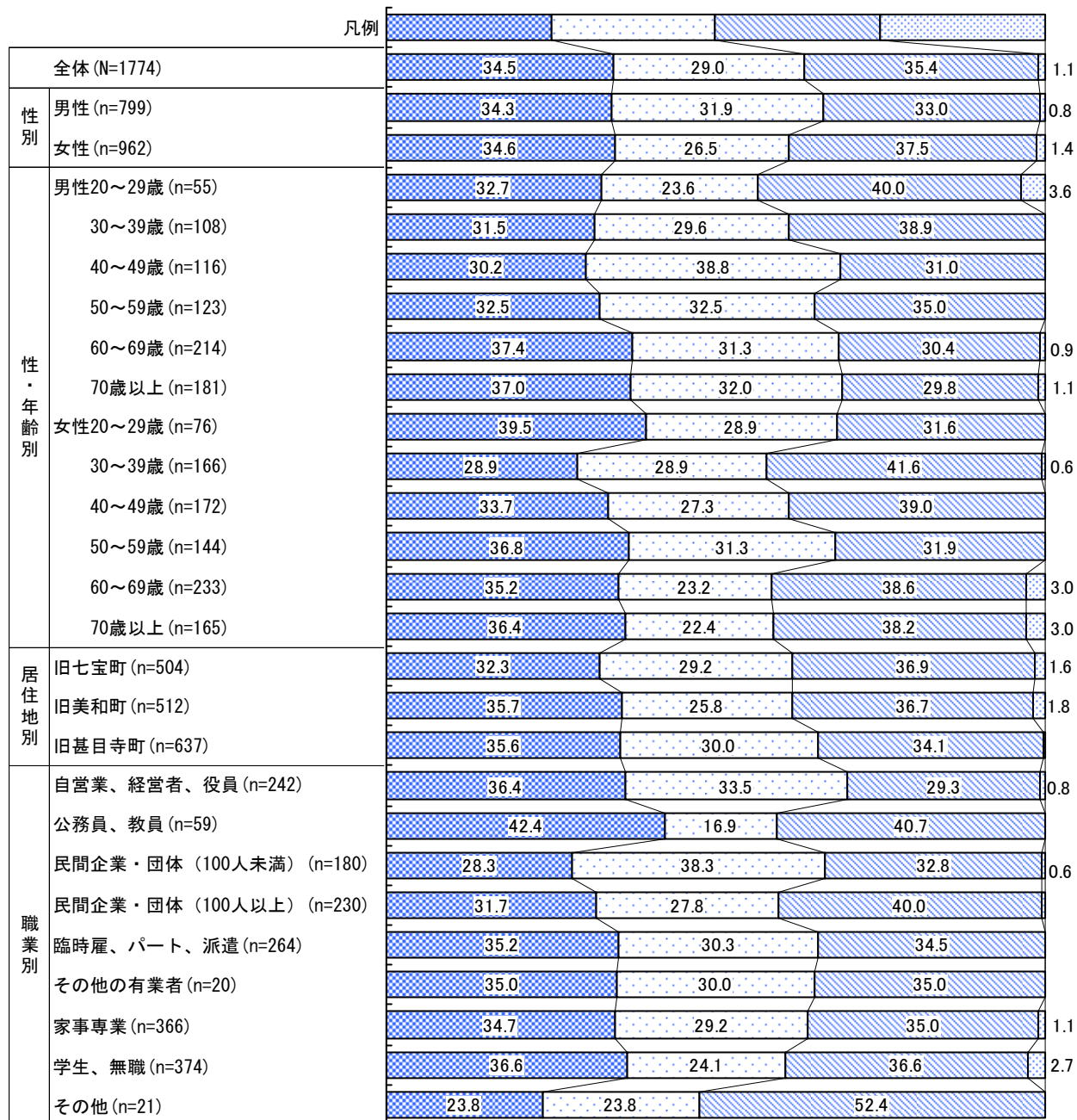


平成 21 年度調査に比べ「そう思う（10年前に比べ高くなっている）」が減少している。

【基本属性別】

問11. 国民の人権意識 (%)

そう思う (10年前に比べ高くなっている)
 そう思わない
 どちらともいえない
 無回答

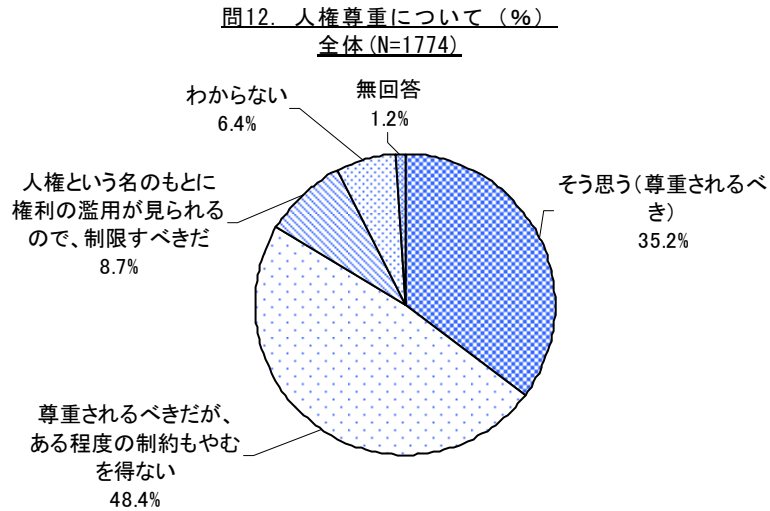


《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性の60歳以上、女性の20歳代で「そう思う (10年前に比べ高くなっている)」が他の年齢層に比べやや多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「公務員、教員」で「そう思う (10年前に比べ高くなっている)」が他の年齢層に比べ多くなっている。

3. 人権尊重について

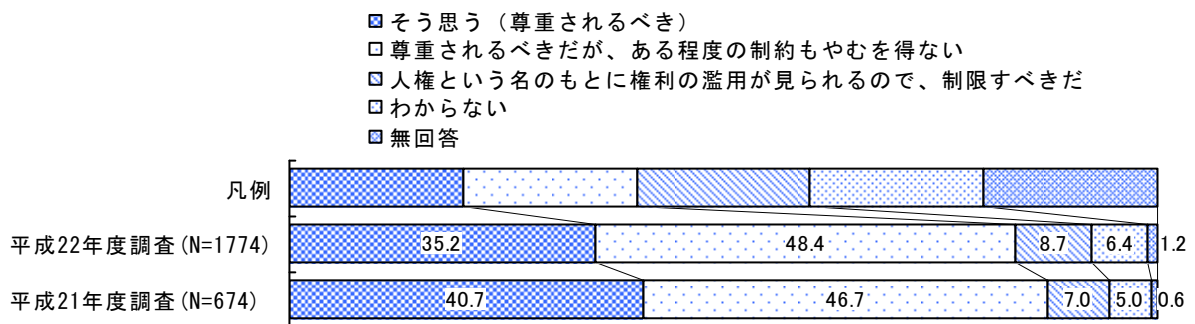
問 12. 一人ひとりの人権は、何よりも尊重されるべきだと思いますか。(○印1つ)



人権尊重については、「尊重されるべきだが、ある程度の制約もやむを得ない」が 48.4%と最も多く、次いで「そう思う(尊重されるべき)」(35.2%)、「人権という名のもとに権利の濫用が見られるので、制限すべきだ」(8.7%)の順となっている。

【時系列比較】

問12. 人権尊重について (%) 時系列比較

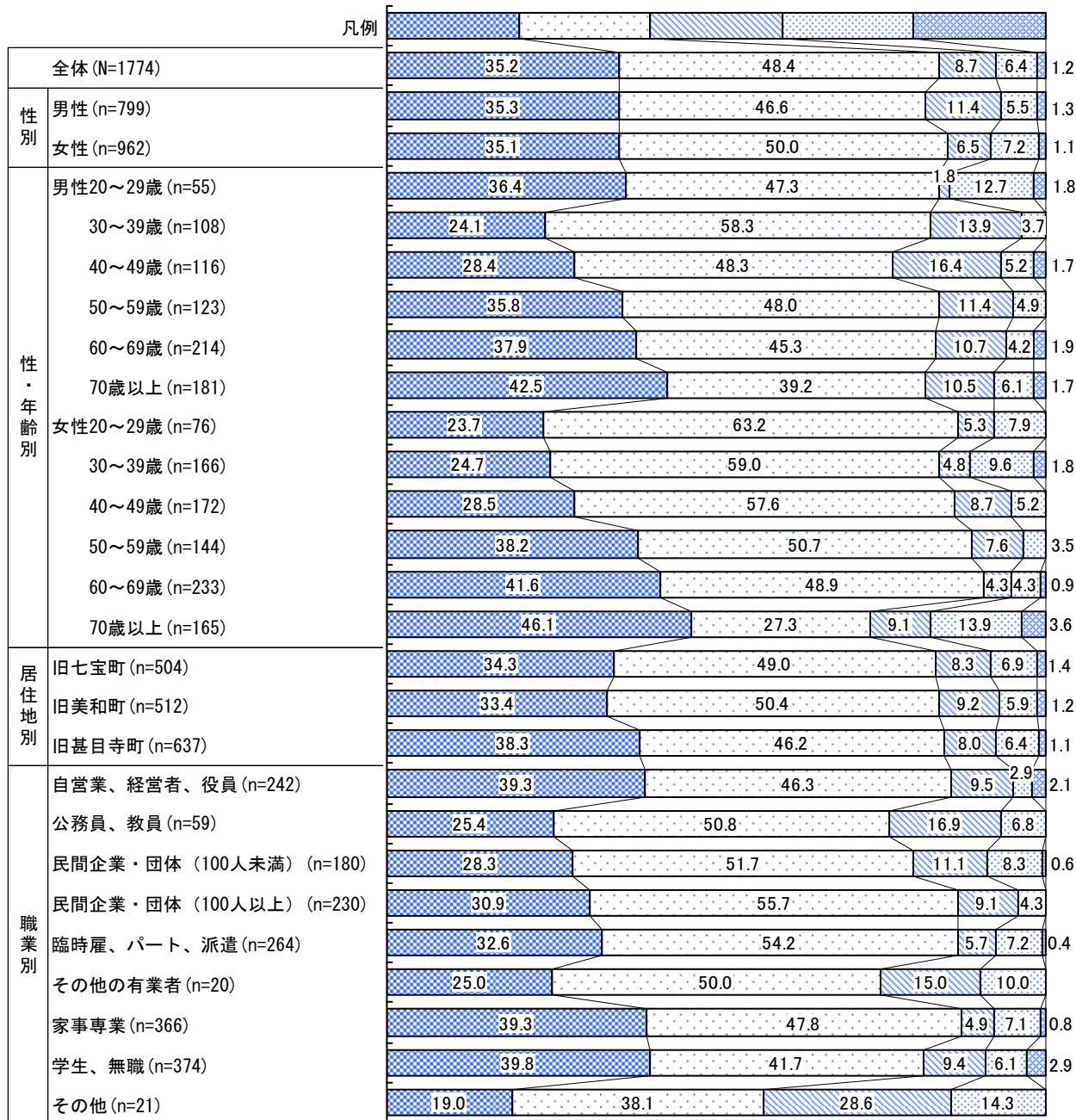


平成 21 年度調査に比べ「そう思う(尊重されるべき)」が減少している。

【基本属性別】

問12. 人権尊重について (%)

- そう思う (尊重されるべき)
- 尊重されるべきだが、ある程度の制約もやむを得ない
- 人権という名のもとに権利の濫用が見られるので、制限すべきだ
- わからない
- 無回答

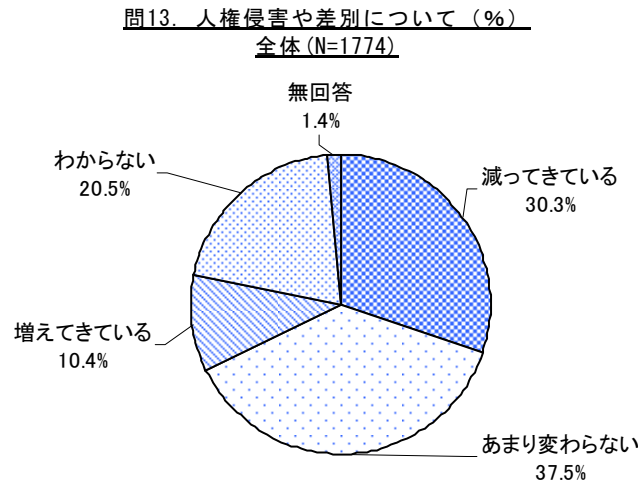


《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男女ともに年齢が上がるにつれ「そう思う (尊重されるべき)」が多くなる傾向にある。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「自営業、経営者、役員」「家事専業」「学生、無職」で「そう思う (尊重されるべき)」が他の職業に比べ多くなっている。

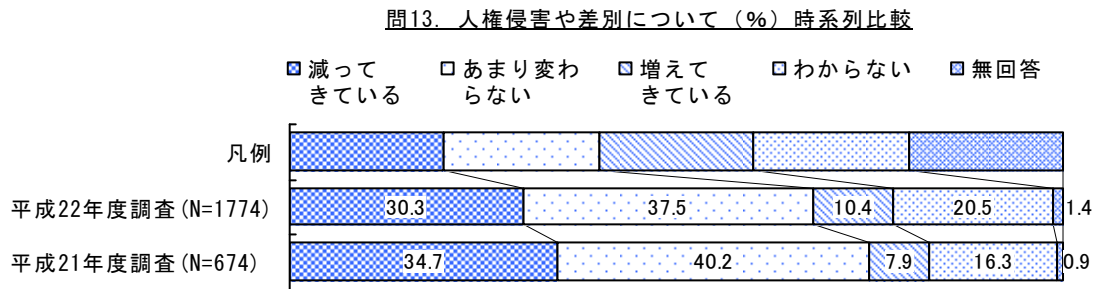
4. 人権侵害や差別について

問 13. 日本社会における人権侵害や差別は、10 年前に比べて減ってきていると思いますか。
(○印 1 つ)



人権侵害や差別については、「あまり変わらない」が 37.5%と最も多く、次いで「減ってきている」(30.3%)、「わからない」(20.5%)、「増えてきている」(10.4%) の順となっている。

【時系列比較】

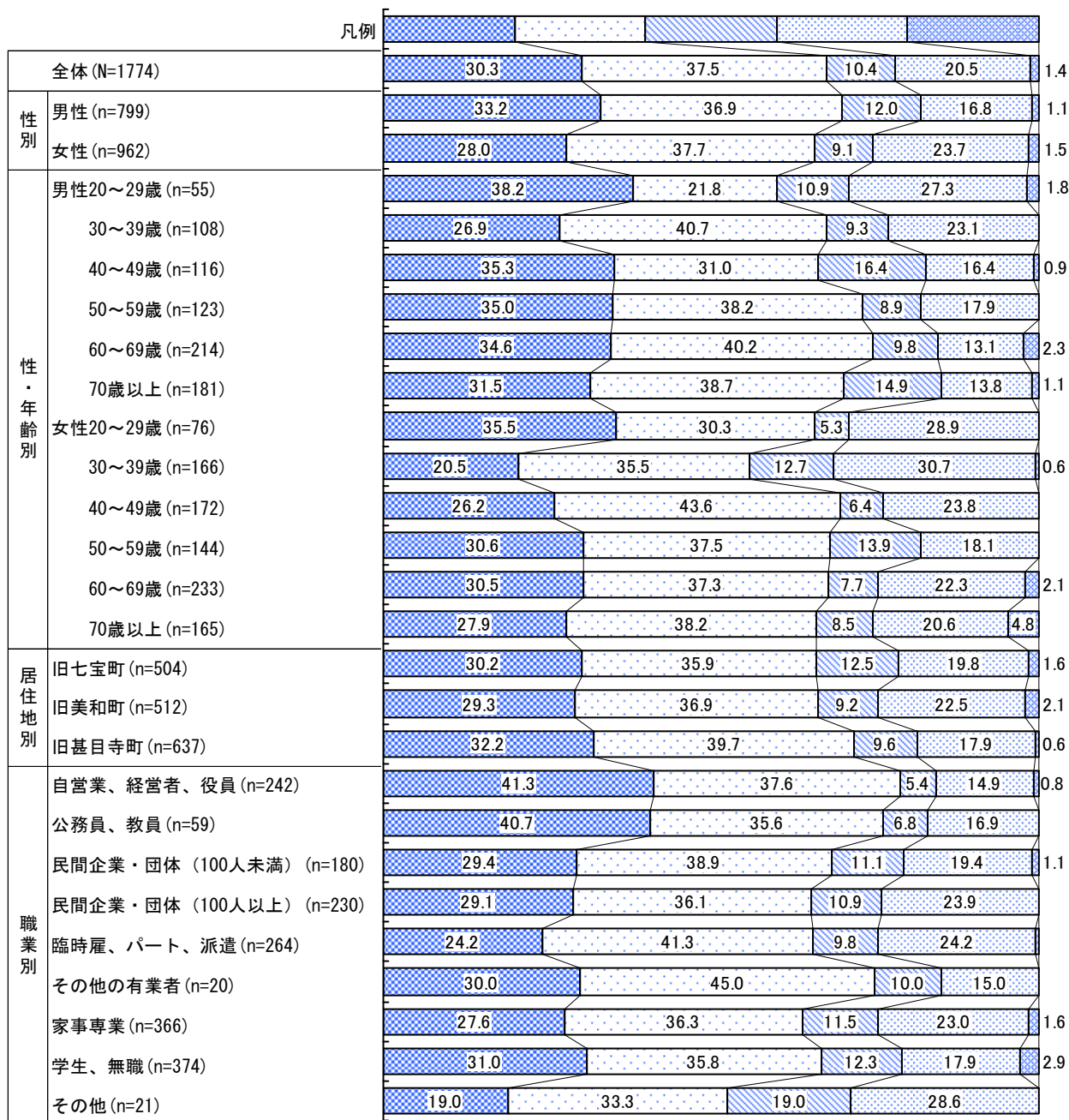


平成 21 年度調査に比べ「減ってきている」が減少し、「増えてきている」が増加している。

【基本属性別】

問13. 人権侵害や差別について (%)

■減ってきている □あまり変わらない □増えてきている □わからない □無回答



《性別》で見ると、女性に比べ男性で「減ってきている」への回答がやや多くなっている。

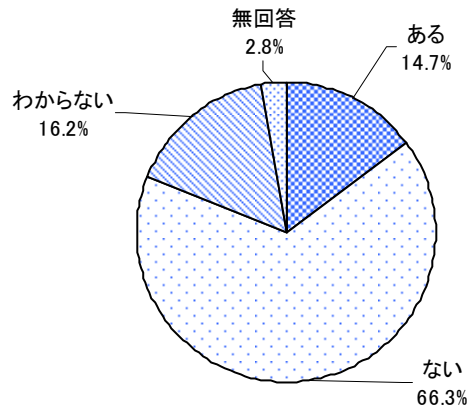
《性・年齢別》では、男女ともに 20 歳代で「減ってきている」が他の年齢層に比べやや多く、男性 40 歳代、女性 50 歳代で「増えてきている」が他の年齢層に比べやや多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「自営業、経営者、役員」「公務員、教員」で「減ってきている」が他の職業に比べ多くなっている。

5. 自分の人権が侵害されたと思ったこと

問 14. あなたは、この 10 年程の間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○印 1 つ)

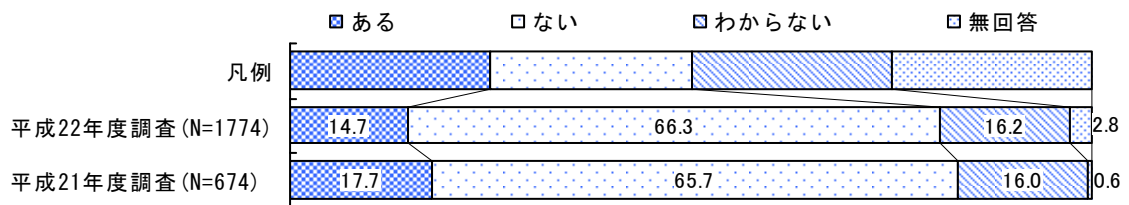
問14. 自分の人権が侵害されたと思ったこと (%)
全体 (N=1774)



自分の人権が侵害されたと思ったことについてみると、「ある」が 14.7%、「ない」は 66.3%であった。

【時系列比較】

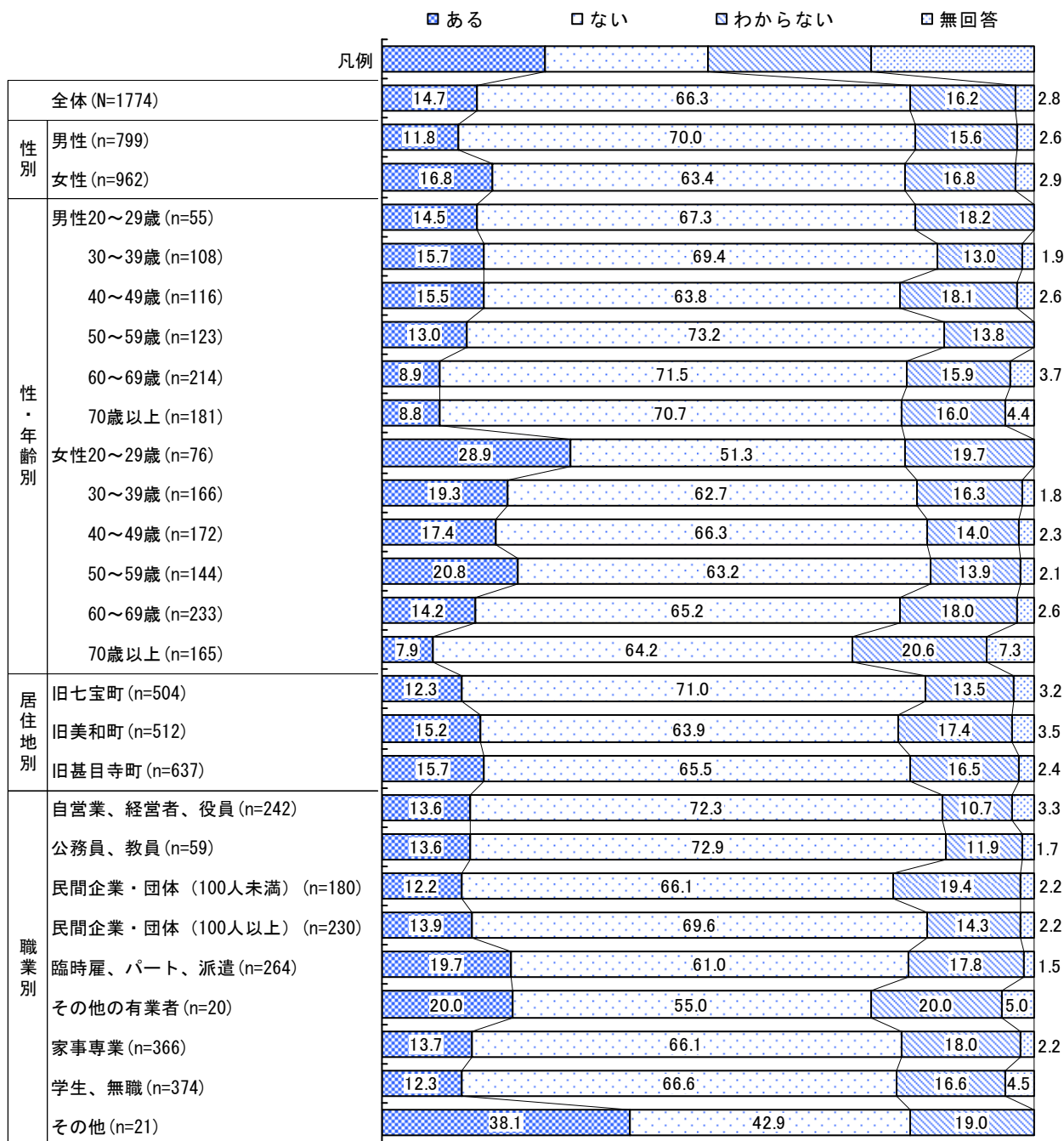
問14. 自分の人権が侵害されたと思ったこと (%) 時系列比較



平成 21 年度調査に比べ「ある」が減少している。

【基本属性別】

問14. 自分の人権が侵害されたと思ったこと (%)



《性別》で見ると、男性に比べ女性で「ある」への回答がやや多くなっている。

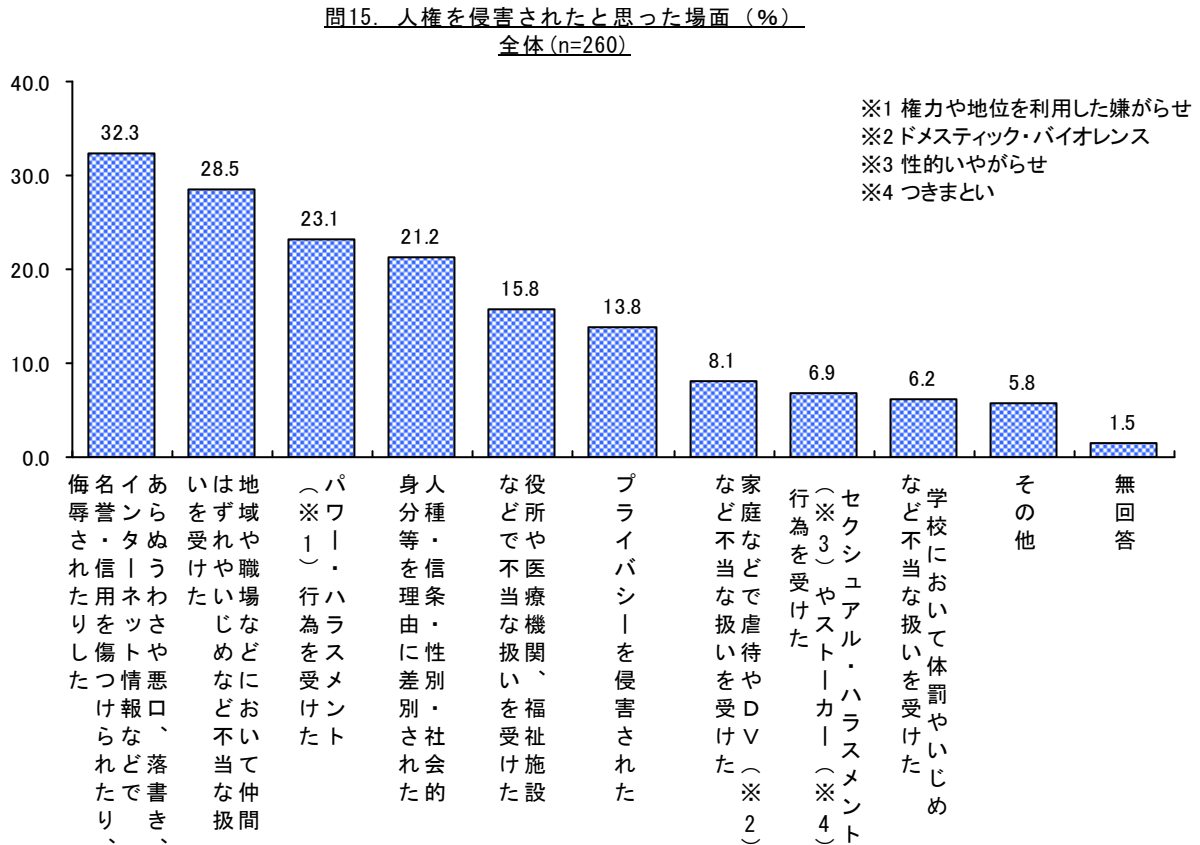
《性・年齢別》では、男女ともに若い年齢層ほど「ある」への回答が多くなっている。

《居住地別》では、「旧七宝町」で「ない」への回答が他の居住地に比べ多くなっている。

《職業別》では、「臨時雇、パート、派遣」「その他の有業者」で「ある」への回答が他の職業に比べやや多くなっている。

6. 人権を侵害されたと思った場面

問 15. (問 14 で「1. ある」と回答した方に) 自己的人権を侵害されたと思ったのは、どのような場合でしたか。(〇印いくつでも)



人権を侵害されたと思った場面については、「あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」が32.3%と最も多く、次いで「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」(28.5%)、「パワー・ハラスメント行為を受けた」(23.1%)、「人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された」(21.2%)の順となっている。

【基本属性別】

問15. 人権を侵害されたと思った場面

単位:%

	インターネット情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした	人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された	地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた	学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた	家庭などで虐待やDVなど不当な扱いを受けた	役所や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた	プライバシーを侵害された	セクシュアル・ハラスメントを受けた	パワー・ハラスメント行為を受けた	その他	無回答
全体(n=260)	32.3	21.2	28.5	6.2	8.1	15.8	13.8	6.9	23.1	5.8	1.5
性別											
男性(n=94)	27.7	20.2	17.0	2.1	3.2	13.8	17.0	0.0	23.4	3.2	2.1
女性(n=162)	34.0	21.6	34.0	8.0	11.1	16.7	11.7	10.5	22.2	7.4	1.2
性・年齢別											
男性20～29歳(n=8)	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0
30～39歳(n=17)	41.2	17.6	35.3	0.0	0.0	17.6	5.9	0.0	29.4	0.0	0.0
40～49歳(n=18)	38.9	16.7	5.6	0.0	5.6	11.1	27.8	0.0	27.8	5.6	5.6
50～59歳(n=16)	12.5	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	31.3	6.3	0.0
60～69歳(n=19)	31.6	21.1	10.5	0.0	10.5	10.5	26.3	0.0	15.8	5.3	0.0
70歳以上(n=16)	6.3	18.8	18.8	0.0	0.0	31.3	18.8	0.0	6.3	0.0	6.3
女性20～29歳(n=22)	36.4	40.9	18.2	27.3	9.1	9.1	4.5	22.7	22.7	9.1	0.0
30～39歳(n=32)	28.1	25.0	37.5	6.3	15.6	28.1	15.6	18.8	40.6	6.3	0.0
40～49歳(n=30)	26.7	23.3	30.0	10.0	16.7	6.7	6.7	13.3	23.3	6.7	0.0
50～59歳(n=30)	40.0	20.0	50.0	0.0	6.7	10.0	20.0	3.3	20.0	6.7	6.7
60～69歳(n=33)	27.3	9.1	33.3	3.0	9.1	21.2	12.1	3.0	12.1	9.1	0.0
70歳以上(n=13)	61.5	15.4	23.1	0.0	7.7	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0
居住地別											
旧七宝町(n=62)	33.9	16.1	29.0	4.8	4.8	25.8	14.5	6.5	16.1	3.2	0.0
旧美和町(n=78)	28.2	23.1	28.2	5.1	9.0	2.6	10.3	7.7	24.4	7.7	1.3
旧基目寺町(n=100)	32.0	23.0	28.0	7.0	11.0	17.0	14.0	6.0	24.0	6.0	3.0
職業別											
自営業、経営者、役員(n=33)	42.4	9.1	18.2	0.0	18.2	21.2	9.1	6.1	21.2	3.0	3.0
公務員、教員(n=8)	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
民間企業・団体(100人未満)(n=22)	36.4	22.7	22.7	4.5	4.5	13.6	9.1	4.5	31.8	9.1	0.0
民間企業・団体(100人以上)(n=32)	18.8	34.4	31.3	6.3	9.4	6.3	9.4	15.6	40.6	0.0	0.0
臨時雇、パート、派遣(n=52)	28.8	34.6	42.3	7.7	3.8	9.6	17.3	7.7	25.0	3.8	3.8
その他の有業者(n=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0
家事専業(n=50)	32.0	14.0	32.0	4.0	12.0	24.0	10.0	2.0	18.0	8.0	0.0
学生、無職(n=46)	30.4	15.2	21.7	8.7	4.3	15.2	15.2	4.3	15.2	8.7	2.2
その他(n=8)	50.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0

《性別》でみると、男性に比べ女性で「あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」「家庭などで虐待やDVなど不当な扱いを受けた」がやや多くなっている。

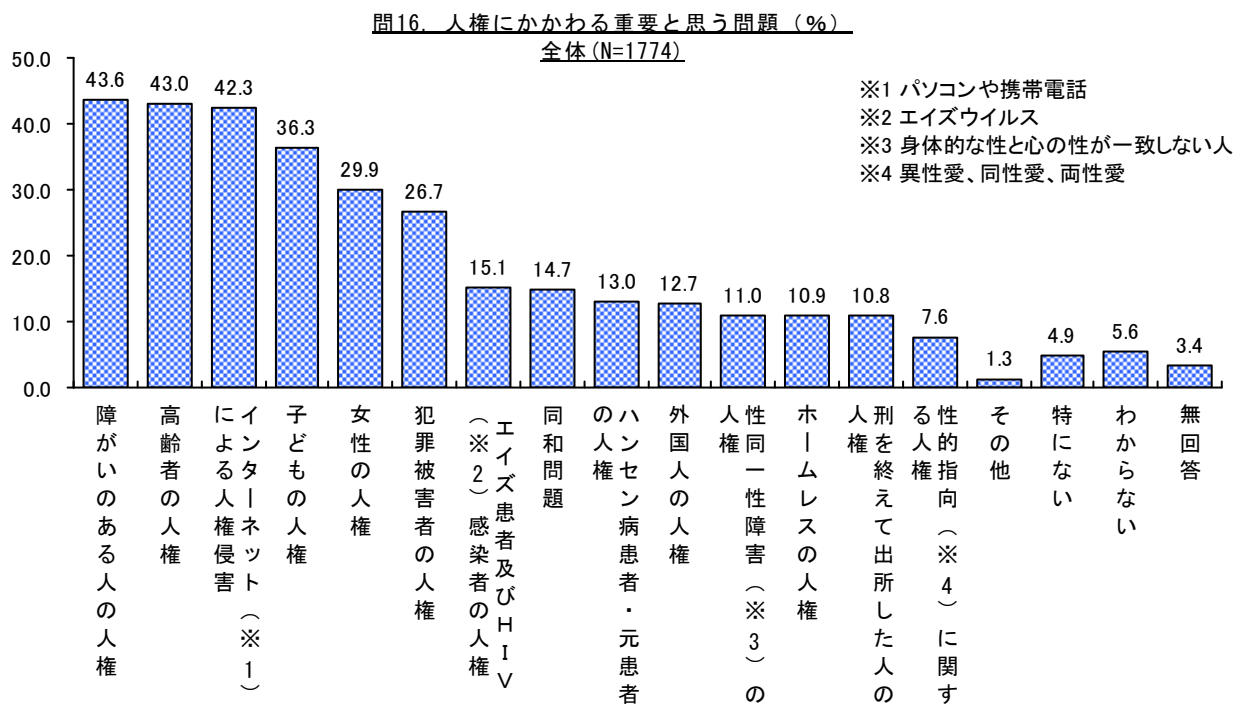
《性・年齢別》では、男性30歳代で「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」、男性70歳以上で「役所や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた」、女性20歳代で「人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された」「学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた」、女性30歳代で「パワー・ハラスメント行為を受けた」、女性50歳代で「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」、女性70歳以上で「あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」が他の年齢層に比べ多くなっている。また、女性は年齢が若いほど「人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された」が多い傾向がみられる。

《居住地別》では、「旧七宝町」で「役所や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた」が他の居住地に比べ多くなっている。

《職業別》では、「民間企業・団体（100人以上）」で「パワー・ハラスメント行為を受けた」、「臨時雇、パート、派遣」で「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」が他の職業に比べやや多くなっている。

7. 人権にかかわる重要と思う問題

問 16. 日本の社会における人権にかかわる問題として、重要な問題は、どれだと思いますか。
(〇印いくつでも)



人権にかかわる重要と思う問題については、「障がいのある人の人権」が 43.6%と最も多く、次いで「高齢者の人権」(43.0%)、「インターネット (パソコンや携帯電話) による人権侵害」(42.3%)、「子どもの人権」(36.3%)の順となっている。

【基本属性別】

問16. 人権にかかわる重要と思う問題

単位：％

	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がいのある人の人権	同和問題	外国人の人権	エイズ患者及びHIV（エイズウイルス）感染者の人権	ハンセン病患者・元患者の人権	刑を終えて出所した人の人権	犯罪被害者の人権	インターネット（パソコンや携帯電話）による人権侵害	ホームレスの人権	性同一性障害の人権	性的指向に関する人権	その他	特にな	わからない	無回答
全体(N=1774)	29.9	36.3	43.0	43.6	14.7	12.7	15.1	13.0	10.8	26.7	42.3	10.9	11.0	7.6	1.3	4.9	5.6	3.4
性別																		
男性(n=799)	23.8	34.7	39.3	41.2	16.4	14.1	14.1	10.9	11.4	27.9	40.7	10.9	8.0	6.9	1.1	5.6	5.1	3.1
女性(n=962)	35.3	38.1	46.3	46.0	13.3	11.6	15.9	14.9	10.3	25.9	43.8	10.9	13.5	8.2	1.5	4.2	5.9	3.7
性・年齢別																		
男性20～29歳(n=55)	23.6	36.4	32.7	38.2	16.4	16.4	29.1	18.2	10.9	27.3	61.8	16.4	20.0	16.4	3.6	1.8	9.1	1.8
30～39歳(n=108)	24.1	31.5	20.4	42.6	16.7	18.5	19.4	7.4	13.0	30.6	56.5	8.3	11.1	12.0	1.9	6.5	1.9	0.9
40～49歳(n=116)	21.6	32.8	25.0	42.2	18.1	19.0	14.7	12.1	12.1	30.2	56.0	8.6	16.4	12.9	3.4	6.0	2.6	3.4
50～59歳(n=123)	17.9	35.0	39.8	48.8	14.6	11.4	15.4	10.6	8.9	31.7	43.9	12.2	8.1	6.5	0.0	3.3	6.5	0.8
60～69歳(n=214)	25.7	34.6	46.7	37.4	15.4	10.7	10.3	10.3	10.3	26.2	34.1	11.7	4.2	3.3	0.5	6.5	7.0	3.3
70歳以上(n=181)	26.5	37.6	51.9	39.2	17.1	13.3	9.4	11.0	12.7	23.8	21.0	10.5	1.7	1.7	0.0	6.6	4.4	6.1
女性20～29歳(n=76)	50.0	32.9	39.5	61.8	19.7	40.8	34.2	23.7	18.4	35.5	59.2	22.4	46.1	34.2	2.6	1.3	5.3	2.6
30～39歳(n=166)	39.2	42.8	35.5	50.0	13.3	10.8	16.9	15.7	4.2	27.1	54.2	9.6	20.5	12.7	3.6	3.0	3.6	2.4
40～49歳(n=172)	38.4	45.9	43.0	49.4	10.5	14.0	16.9	14.5	12.2	34.3	58.1	10.5	11.0	6.4	1.7	2.3	5.8	3.5
50～59歳(n=144)	37.5	41.0	45.8	52.1	22.2	12.5	19.4	16.0	11.8	31.9	54.9	13.2	12.5	7.6	0.7	2.1	2.1	0.7
60～69歳(n=233)	32.2	36.9	53.2	39.9	11.6	5.2	12.0	13.7	10.3	21.0	32.6	9.9	7.3	2.1	0.0	6.0	6.9	3.9
70歳以上(n=165)	24.2	26.7	53.3	35.2	8.5	5.5	7.9	10.9	9.1	13.3	18.2	7.3	3.6	2.4	1.2	7.9	10.9	7.9
居住地別																		
旧七宝町(n=504)	30.4	34.3	44.6	42.1	9.1	12.1	14.5	12.3	8.9	27.0	42.9	10.1	9.7	6.2	1.4	4.4	5.2	3.4
旧美和町(n=512)	29.9	37.5	43.2	44.3	13.7	12.5	13.9	13.5	12.7	26.8	41.8	10.9	11.7	8.0	0.4	2.9	7.4	4.5
旧甚目寺町(n=637)	29.8	38.0	41.9	43.8	19.6	12.4	14.9	12.7	10.0	26.2	42.2	10.8	10.2	6.9	1.6	6.1	4.6	2.8
職業別																		
自営業、経営者、役員(n=33)	29.3	37.6	37.6	38.4	17.4	16.9	16.5	14.5	15.3	30.6	37.2	12.0	10.3	8.7	1.7	6.6	3.7	3.3
公務員、教員(n=8)	27.1	42.4	42.4	55.9	37.3	20.3	15.3	16.9	10.2	39.0	49.2	11.9	15.3	15.3	1.7	1.7	3.4	1.7
民間企業・団体(100人未満)(n=22)	26.1	30.6	32.8	44.4	15.0	15.6	16.1	10.0	10.0	27.2	55.0	13.3	16.1	11.7	1.1	5.6	7.2	2.2
民間企業・団体(100人以上)(n=32)	24.3	28.3	31.3	46.5	14.3	12.6	16.1	8.7	9.1	26.1	50.0	8.7	12.2	8.3	1.3	3.9	4.3	2.6
臨時雇、パート、派遣(n=52)	37.1	42.8	45.8	43.2	12.9	13.3	15.9	15.5	9.5	26.5	47.0	11.0	12.5	8.7	1.5	4.9	4.9	3.4
その他の有業者(n=4)	40.0	30.0	35.0	40.0	10.0	10.0	10.0	15.0	10.0	25.0	40.0	10.0	15.0	10.0	0.0	5.0	5.0	5.0
家事専業(n=50)	35.2	44.3	50.0	47.5	13.9	8.5	17.5	16.4	11.5	27.6	43.4	10.7	10.7	5.2	1.6	4.6	6.0	2.7
学生、無職(n=46)	27.5	32.6	51.3	41.4	12.3	11.8	11.2	10.7	10.2	21.7	30.5	11.5	7.2	5.3	0.5	5.1	6.1	5.1
その他(n=8)	9.5	19.0	42.9	33.3	9.5	4.8	9.5	14.3	9.5	42.9	38.1	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	9.5	4.8

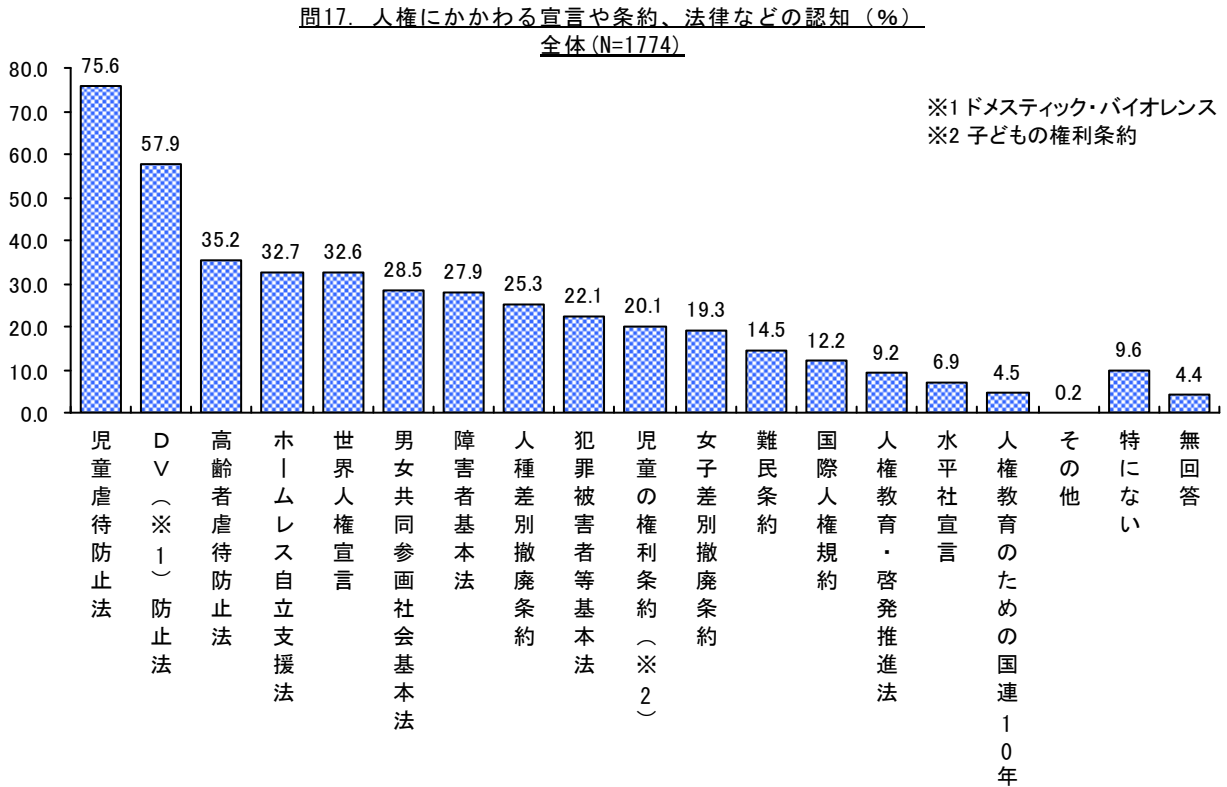
《性別》で見ると、男性に比べ女性で「女性の人権」が大きく上回っている。

《性・年齢別》では、男性 20 歳代で「エイズ患者及び HIV（エイズウイルス）感染者の人権」、男性 70 歳以上で「高齢者の人権」、女性 20 歳代で「女性の人権」「外国人の人権」「エイズ患者及び HIV（エイズウイルス）感染者の人権」「性同一性障害の人権」「性的指向に関する人権」で他の年齢層に比べ多くなっている。また、女性は年齢が若いほど「女性の人権」が多い傾向がみられる。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「民間企業・団体（100 人未満）」で「インターネット（パソコンや携帯電話）による人権侵害」、「臨時雇、パート、派遣」「家事専業」で「女性の人権」、「学生、無職」「家事専業」で「高齢者の人権」などがそれぞれ他の職業に比べ多くなっている。

8. 人権にかかわる宣言や条約、法律などの認知

問 17. 人権にかかわる宣言や条約、法律など、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。
(○印いくつでも)



人権にかかわる宣言や条約、法律などの認知については、「児童虐待防止法」が75.6%と最も多く、次いで「DV(ドメスティック・バイオレンス)防止法」(57.9%)、「高齢者虐待防止法」(35.2%)、「ホームレス自立支援法」(32.7%)、「世界人権宣言」(32.6%)の順となっている。

【基本属性別】

問17. 人権にかかわる宣言や条約、法律などの認知

単位：%

	児童虐待防止法	DV防止法	ホームレス自立支援法	犯罪被害者等基本法	高齢者虐待防止法	10年 人権教育のための国連	人権教育・啓発推進法	水平社宣言	国際人権規約	障害者基本法	男女共同参画社会基本法	児童の権利条約（子ども の権利条約）	難民条約	女子差別撤廃条約	人種差別撤廃条約	世界人権宣言	その他	特 に な い	無 回 答	
全体(N=1774)	75.6	57.9	32.7	22.1	35.2	4.5	9.2	6.9	12.2	27.9	28.5	20.1	14.5	19.3	25.3	32.6	0.2	9.6	4.4	
性別	男性(n=799)	76.0	57.4	31.2	22.9	34.2	4.8	8.9	7.6	12.5	29.4	30.2	16.9	16.9	19.1	27.5	33.5	0.4	9.3	3.1
	女性(n=962)	75.3	58.6	34.0	21.5	36.1	4.3	9.6	6.2	12.0	26.6	27.4	22.8	12.6	19.3	23.6	31.9	0.1	10.0	5.4
性・年齢別	男性20～29歳(n=55)	83.6	72.7	47.3	21.8	30.9	5.5	9.1	9.1	23.6	27.3	32.7	29.1	23.6	43.6	43.6	52.7	0.0	5.5	0.0
	30～39歳(n=108)	79.6	62.0	29.6	22.2	23.1	6.5	8.3	13.0	15.7	25.9	30.6	23.1	13.0	21.3	31.5	46.3	0.0	13.9	0.9
	40～49歳(n=116)	83.6	70.7	29.3	22.4	22.4	5.2	12.1	7.8	16.4	30.2	35.3	15.5	12.1	15.5	25.9	34.5	0.0	5.2	1.7
	50～59歳(n=123)	83.7	68.3	35.8	23.6	30.1	4.1	8.1	7.3	10.6	31.7	36.6	18.7	25.2	19.5	32.5	38.2	0.0	4.1	4.1
	60～69歳(n=214)	72.0	57.0	29.0	27.1	37.9	4.2	9.3	5.6	7.5	31.8	29.9	15.0	15.9	16.4	21.5	27.6	0.0	10.7	2.8
	70歳以上(n=181)	65.7	34.3	28.2	18.8	47.5	4.4	6.6	6.6	11.0	27.1	21.5	11.0	15.5	15.5	24.3	23.2	1.7	12.2	6.1
	女性20～29歳(n=76)	84.2	64.5	38.2	21.1	36.8	9.2	14.5	18.4	28.9	38.2	51.3	46.1	18.4	50.0	53.9	57.9	0.0	2.6	2.6
	30～39歳(n=166)	84.3	71.1	31.9	24.1	31.9	4.8	9.6	10.2	16.3	28.9	26.5	25.3	17.5	24.1	24.7	38.6	0.0	5.4	2.4
	40～49歳(n=172)	87.8	76.2	39.0	27.9	32.0	3.5	15.7	6.4	15.1	23.8	29.7	29.7	13.4	20.3	30.8	44.2	0.6	7.0	0.6
	50～59歳(n=144)	79.2	62.5	40.3	24.3	36.1	4.9	11.1	6.9	11.8	29.9	37.5	30.6	15.3	18.1	24.3	37.5	0.0	9.0	3.5
60～69歳(n=233)	71.2	55.4	36.5	21.0	40.3	3.9	6.4	2.1	7.3	27.9	22.3	13.7	10.3	12.9	15.9	19.3	0.0	13.7	6.4	
70歳以上(n=165)	50.9	26.1	20.0	11.5	37.6	2.4	3.6	1.8	3.6	18.2	14.5	8.5	4.8	9.7	11.5	13.3	0.0	17.0	15.2	
居住地別	旧七宝町(n=504)	74.2	56.3	35.3	24.4	36.5	3.2	5.8	6.0	11.1	30.0	29.2	18.5	16.3	20.2	25.2	31.3	0.2	8.5	5.6
	旧美和町(n=512)	76.2	57.0	30.9	22.9	33.4	4.9	9.8	5.9	12.1	25.2	27.9	19.3	13.3	19.7	23.6	31.6	0.2	8.2	5.3
	旧基寺町(n=637)	77.1	61.1	33.0	20.9	36.4	5.3	11.8	8.0	12.6	28.6	29.4	21.2	14.0	17.9	25.9	35.0	0.0	11.1	2.8
職業別	自営業、経営者、役員(n=242)	71.9	55.4	30.6	24.8	33.1	4.5	8.7	6.2	12.8	25.6	32.6	16.1	16.9	16.5	26.9	31.8	0.0	9.5	5.0
	公務員、教員(n=59)	94.9	74.6	37.3	33.9	39.0	22.0	23.7	33.9	27.1	37.3	62.7	45.8	22.0	33.9	32.2	55.9	1.7	1.7	0.0
	民間企業・団体(100人未満)(n=180)	84.4	66.7	34.4	25.6	30.0	2.8	8.9	6.1	10.0	30.0	25.0	18.3	17.8	23.3	28.3	35.0	0.0	8.3	1.7
	民間企業・団体(100人以上)(n=230)	80.0	67.4	27.4	20.4	24.3	4.3	7.4	6.1	14.3	26.5	30.9	18.3	12.2	20.9	32.2	39.1	0.0	8.7	1.3
	臨時雇、パート、派遣(n=264)	79.2	64.8	35.6	20.1	32.2	4.2	11.4	6.4	9.5	22.7	28.4	24.6	13.3	19.7	23.1	37.9	0.4	8.3	3.4
	その他の有業者(n=20)	90.0	70.0	45.0	25.0	50.0	5.0	5.0	10.0	15.0	40.0	35.0	15.0	10.0	25.0	20.0	20.0	0.0	5.0	0.0
	家事専業(n=366)	74.9	60.7	38.5	25.7	39.9	3.3	9.3	3.3	11.5	27.6	25.1	21.0	12.6	16.9	21.6	29.2	0.0	10.7	5.2
	学生、無職(n=374)	68.2	42.5	28.9	17.1	43.9	4.3	7.8	8.0	12.0	31.6	25.9	17.4	15.5	18.4	24.6	25.7	0.5	11.8	6.7
その他(n=21)	61.9	33.3	23.8	9.5	14.3	0.0	4.8	0.0	4.8	38.1	9.5	19.0	14.3	14.3	14.3	33.3	0.0	14.3	4.8	
学歴別	小学校・中学校(n=375)	61.1	34.1	25.9	14.4	41.9	3.5	4.3	2.1	5.9	24.8	14.4	11.5	8.3	10.1	13.9	13.6	0.3	17.1	6.7
	高等学校・専修学校(n=740)	78.2	62.6	35.1	22.7	33.6	2.7	8.5	3.2	9.3	26.6	25.3	16.4	13.1	19.1	27.4	29.6	0.1	8.8	3.4
	短大・専門学校(n=286)	82.9	66.1	37.4	26.6	34.3	4.9	13.3	5.6	14.7	28.3	32.5	27.6	16.8	23.4	27.3	40.2	0.0	5.9	4.2
	大学・大学院・高専(n=323)	85.1	74.0	32.5	28.2	32.2	9.6	13.9	22.0	25.1	34.4	52.0	33.4	23.8	27.6	33.4	58.5	0.3	4.6	2.2
	その他(n=33)	36.4	21.2	21.2	6.1	39.4	3.0	3.0	6.1	3.0	30.3	9.1	9.1	12.1	15.2	15.2	9.1	3.0	18.2	24.2

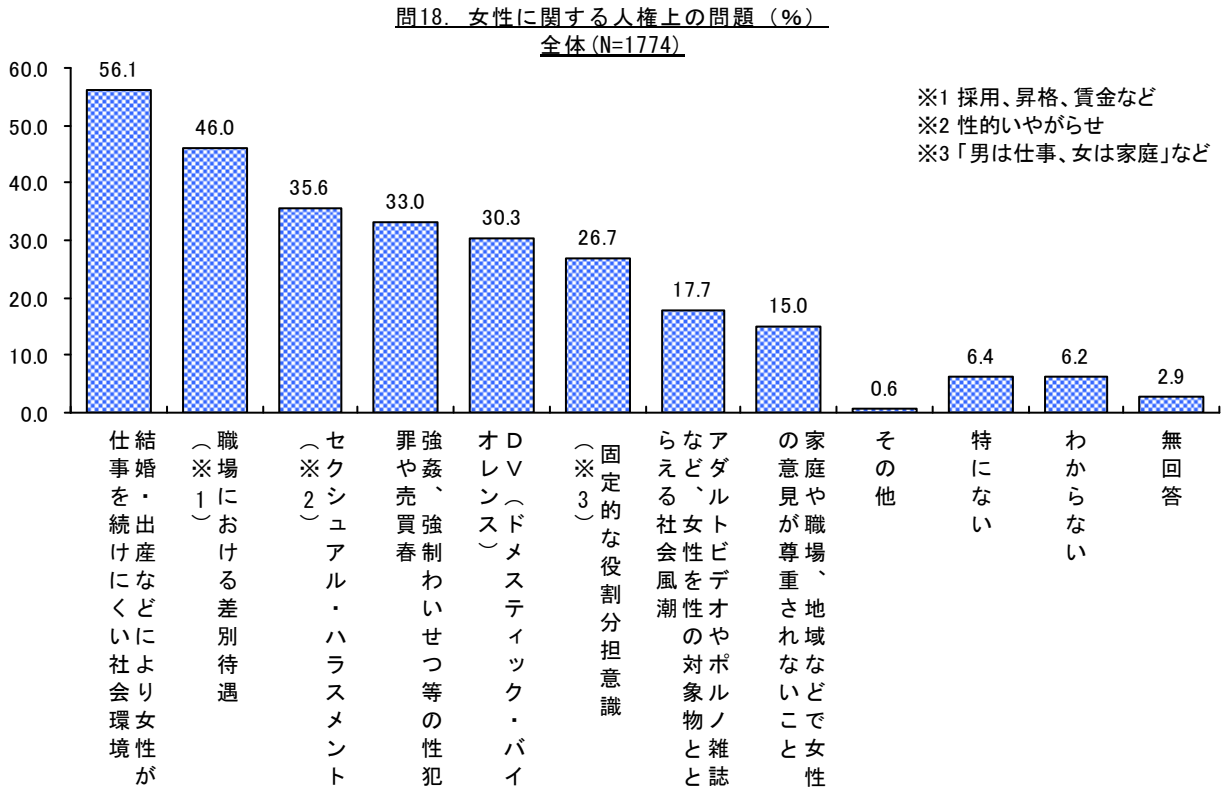
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男女ともに若い年齢層ほど「女子差別撤廃条約」「人種差別撤廃条約」「世界人権宣言」などが多い傾向がみられる。また、男性 70 歳以上で「高齢者虐待防止法」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「公務員、教員」で「児童虐待防止法」「人権教育のための国連 10 年」「人権教育・啓発推進法」「水平社宣言」「国際人権規約」「男女共同参画社会基本法」「児童の権利条約」「女子差別撤廃条約」「世界人権宣言」など多くの項目で他の職業に比べ上回っている。

《学歴別》では、「大学・大学院・高専」で「世界人権宣言」が他の層に比べ多くなっている。

9. 女性に関する人権上の問題

問 18. 女性に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(○印いくつでも)



女性に関する人権上の問題については、「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」が 56.1%と最も多く、次いで「職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」(46.0%)、「セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(35.6%)、「強姦、強姦強要等々の性犯罪や売買春」(33.0%)の順となっている。

【基本属性別】

問18. 女性に関する人権上の問題

単位：%

	庭（一男は男的な仕事、女は家庭など）	固定的な役割分担意識	職場における昇格、賃金待遇	セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	結婚・出産などにより女性の仕事が続けにくい社会環境	DV（ドメスティック・バイオレンス）	女性の意見が尊重されないこと	家庭や職場、地域などで女性の見解が尊重されないこと	雑物など、女性を性的に物々しい対	アダルトビデオやポルノ	強姦、強制わいせつ等の性犯罪や売買春	その他	特にな	わからない	無回答	
全体(N=1774)	26.7	46.0	35.6	56.1	30.3	15.0	17.7	33.0	0.6	6.4	6.2	2.9				
性別																
男性(n=799)	24.5	44.2	35.5	50.8	26.8	9.6	14.0	30.3	0.3	8.5	5.8	3.8				
女性(n=962)	28.3	47.8	35.7	60.8	33.5	19.2	20.8	35.3	0.8	4.7	6.5	2.3				
性・年齢別																
男性20～29歳(n=55)	27.3	47.3	47.3	58.2	34.5	10.9	9.1	43.6	0.0	1.8	9.1	0.0				
30～39歳(n=108)	25.0	41.7	37.0	63.9	29.6	5.6	7.4	38.9	0.0	13.0	0.0	0.0				
40～49歳(n=116)	18.1	37.9	38.8	50.9	28.4	7.8	6.9	22.4	0.9	12.1	4.3	2.6				
50～59歳(n=123)	20.3	48.0	37.4	48.8	26.8	4.9	11.4	19.5	0.0	4.9	5.7	3.3				
60～69歳(n=214)	29.0	48.1	35.0	49.5	26.6	13.6	18.2	32.7	0.5	6.1	5.1	4.2				
70歳以上(n=181)	24.9	41.4	27.6	43.6	21.0	11.6	21.0	30.9	0.0	11.0	9.9	7.7				
女性20～29歳(n=76)	39.5	57.9	61.8	71.1	43.4	19.7	17.1	44.7	0.0	1.3	0.0	0.0				
30～39歳(n=166)	31.3	54.2	41.0	65.7	35.5	22.3	14.5	45.8	1.2	1.8	3.6	1.2				
40～49歳(n=172)	26.2	50.0	39.0	67.4	45.3	22.1	25.0	43.0	2.3	1.7	5.2	0.0				
50～59歳(n=144)	32.6	52.8	43.8	68.8	40.3	18.8	27.8	44.4	0.0	2.8	3.5	1.4				
60～69歳(n=233)	27.9	45.1	26.6	57.9	29.6	18.9	18.5	23.2	0.0	7.7	6.0	3.0				
70歳以上(n=165)	20.0	33.9	21.2	41.2	14.5	14.5	21.8	21.8	1.2	9.7	17.0	6.7				
居住地別																
旧七宝町(n=504)	27.8	46.4	33.7	53.6	30.8	13.5	18.5	36.3	0.6	6.9	5.8	3.2				
旧美和町(n=512)	24.6	44.3	35.4	57.2	27.5	15.2	17.6	30.3	0.6	4.7	7.4	3.7				
旧甚目寺町(n=637)	28.1	46.9	37.2	57.5	33.0	15.7	18.5	33.1	0.5	7.1	5.3	2.2				
職業別																
自営業、経営者、役員(n=242)	26.0	39.3	33.1	50.8	26.9	14.5	18.6	30.2	0.8	7.9	4.5	4.1				
公務員、教員(n=59)	30.5	45.8	35.6	55.9	33.9	13.6	22.0	40.7	1.7	6.8	1.7	0.0				
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	26.1	43.9	37.8	56.7	29.4	9.4	7.8	30.0	0.6	6.1	6.1	3.9				
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	23.9	50.4	42.2	59.1	30.0	8.3	8.3	30.0	0.9	7.4	3.0	0.9				
臨時雇、パート、派遣(n=264)	29.2	50.8	39.0	65.2	36.4	16.7	19.7	36.4	0.0	3.0	5.3	0.4				
その他の有業者(n=20)	20.0	50.0	45.0	55.0	50.0	30.0	20.0	45.0	0.0	10.0	0.0	0.0				
家事専業(n=366)	27.6	50.5	36.1	62.6	33.9	21.0	22.1	35.2	0.3	4.9	7.1	2.2				
学生、無職(n=374)	27.3	42.5	30.2	47.3	25.1	14.2	21.9	32.9	0.8	7.8	8.8	5.3				
その他(n=21)	14.3	42.9	33.3	52.4	28.6	19.0	9.5	28.6	0.0	23.8	4.8	0.0				
未既婚別																
既婚(n=1309)	27.3	47.4	34.7	57.5	30.6	14.4	18.1	33.2	0.5	6.5	5.3	2.8				
離死別(n=199)	21.1	32.2	29.1	50.8	22.6	16.6	20.6	25.1	0.5	6.5	13.1	6.5				
未婚(n=218)	27.5	51.4	45.9	54.6	34.9	17.0	14.7	38.5	0.5	6.4	5.5	0.5				

《性別》でみると、女性で「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」「家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと」が男性に比べ多くなっている。

《性・年齢別》では、男性 20 歳代で「強姦、強制わいせつ等の性犯罪や売買春」、男女ともに 20 歳代で「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「その他の有業者」で「DV（ドメスティック・バイオレンス）」「家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと」が他の職業に比べ多くなっている。

《未既婚別》では、「未婚」で「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が他の層に比べ多くなっている。

【問 18 と問 12 との関連】

問18. 女性に関する人権上の問題

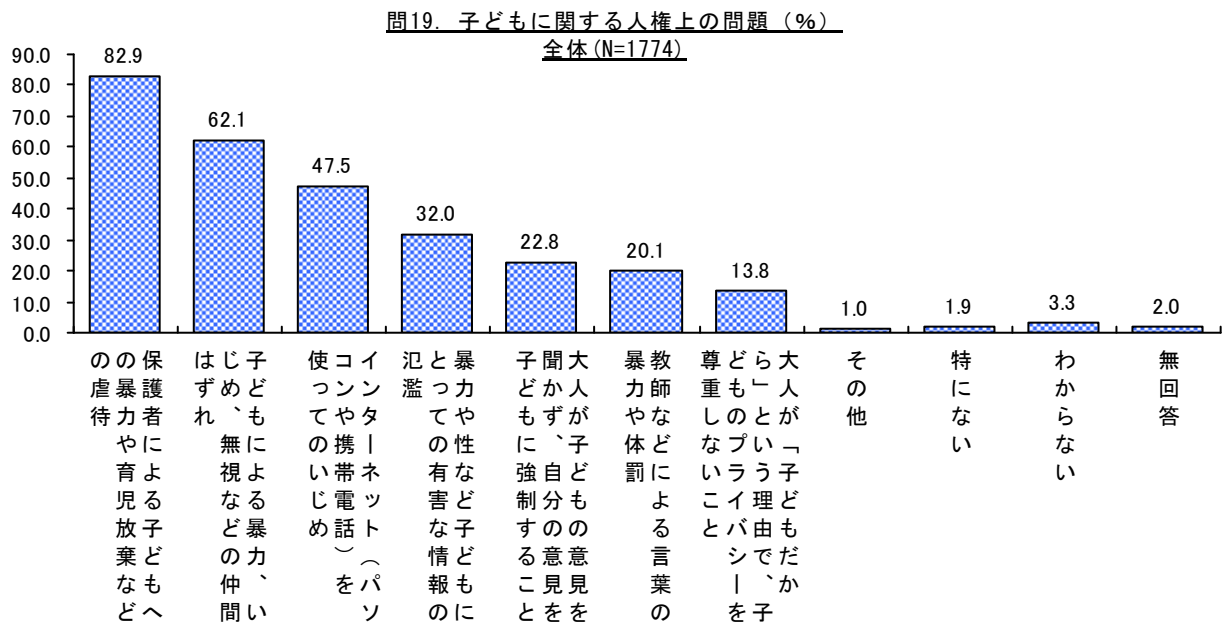
単位:%

	な(固用職トセ境が結イDと家誌ア犯強そ特わ無	(一定の場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	男)的)場場(性的シ婚事オV庭の意とととアダ罪強そ特わ無	
全体(N=1774)	26.7	46.0	35.6	56.1	30.3	15.0	17.7	33.0	0.6	6.4	6.2	2.9	
問12との関連 (人権尊重意識別)	そう思う(n=624)	29.6	45.5	37.3	57.5	31.4	14.7	19.7	31.9	0.6	6.4	5.8	3.2
	尊重されるべきだが、ある程度の制約もやむを得ない(n=859)	28.2	50.1	37.7	60.2	32.2	16.2	17.0	35.5	0.5	4.8	5.0	1.5
	人権という名のもとに権利の濫用が見られるので、制限すべきだ(n=155)	17.4	35.5	35.5	49.7	29.7	12.9	21.9	36.8	1.3	11.6	4.5	1.9
	わからない(n=144)	13.2	36.8	14.9	33.3	14.9	11.4	7.0	20.2	0.0	13.2	21.1	4.4

問 12 《人権尊重意識別》との関連をみると、「尊重されるべきだが、ある程度の制約もやむを得ない」で「職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が他の層に比べ多くなっている。

10. 子どもに関する人権上の問題

問 19. 子どもに関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)



子どもに関する人権上の問題については、「保護者による子どもへの暴力や育児放棄などの虐待」が82.9%と最も多く、次いで「子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」(62.1%)、「インターネット（パソコンや携帯電話）を使つてのいじめ」(47.5%)、「暴力や性など子どもにとっての有害な情報の氾濫」(32.0%)の順となっている。

【基本属性別】

問19. 子どもに関する人権上の問題

単位: %

	力保護や育児放棄などの虐待	強ず、大人が子どもの意見を聞き強制的に	大人が理由で子どもを尊重しないこと	い、無視などの仲間はずれ	め、無視などの仲間はずれ	じやインターネット(携帯電話)を使つてのいじめ	教師などによる言葉の暴力や体罰	暴力や性など子どもにとって有害な情報の氾濫	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(N=1774)	82.9	22.8	13.8	62.1	47.5	20.1	32.0	1.0	1.9	3.3	2.0	
性別	男性(n=799)	81.5	21.8	15.5	59.2	41.6	29.3	1.1	2.1	3.5	1.9	
	女性(n=962)	84.4	23.6	12.3	64.6	52.6	34.2	0.9	1.8	3.2	1.9	
性・年齢別	男性20～29歳(n=55)	83.6	25.5	14.5	56.4	54.5	9.1	23.6	3.6	0.0	3.6	0.0
	30～39歳(n=108)	80.6	19.4	12.0	69.4	52.8	14.8	28.7	1.9	1.9	0.9	0.0
	40～49歳(n=116)	80.2	16.4	13.8	57.8	51.7	18.1	22.4	3.4	3.4	1.7	0.0
	50～59歳(n=123)	84.6	19.5	13.0	65.9	42.3	22.0	24.4	0.8	0.8	1.6	0.0
	60～69歳(n=214)	81.8	22.4	19.2	58.9	35.5	17.8	30.4	0.0	2.3	3.7	4.7
	70歳以上(n=181)	79.6	25.4	16.6	50.8	31.5	14.9	37.6	0.0	2.8	7.2	2.8
	女性20～29歳(n=76)	93.4	36.8	22.4	73.7	71.1	22.4	42.1	1.3	0.0	0.0	1.3
	30～39歳(n=166)	90.4	18.7	10.2	69.9	62.7	22.3	39.2	1.8	0.6	0.6	1.8
	40～49歳(n=172)	88.4	25.6	12.2	72.1	69.2	22.1	38.4	1.7	0.0	2.3	0.0
	50～59歳(n=144)	92.4	20.8	12.5	70.8	60.4	27.8	40.3	0.0	0.7	2.1	0.7
60～69歳(n=233)	83.7	22.7	12.0	64.8	39.5	24.5	27.5	0.0	1.3	3.9	1.3	
70歳以上(n=165)	64.2	24.2	10.3	41.8	29.1	17.6	25.5	1.2	6.7	8.5	6.1	
居住地別	旧七宝町(n=504)	82.9	23.6	13.1	63.3	47.8	21.4	31.0	1.0	1.8	3.2	2.6
	旧美和町(n=512)	83.8	23.8	13.7	58.6	44.7	17.6	32.8	0.6	1.4	3.3	2.9
	旧基目寺町(n=637)	83.7	21.4	14.8	64.4	49.1	21.5	32.5	1.1	2.0	3.3	0.6
職業別	自営業、経営者、役員(n=242)	81.8	26.9	14.5	62.4	42.1	20.2	31.8	1.2	1.7	3.7	1.2
	公務員、教員(n=59)	83.1	15.3	8.5	72.9	54.2	20.3	28.8	1.7	1.7	3.4	0.0
	民間企業・団体(100人未満)(n=180)	83.3	17.8	13.3	67.8	44.4	22.8	28.3	1.1	1.1	1.1	1.7
	民間企業・団体(100人以上)(n=230)	82.2	20.4	11.7	63.9	53.5	10.9	27.4	1.7	1.7	1.3	0.0
	臨時雇、パート、派遣(n=264)	87.9	28.4	17.8	63.3	53.8	21.6	34.5	0.4	0.8	2.7	0.4
	その他の有業者(n=20)	85.0	25.0	20.0	80.0	55.0	25.0	25.0	5.0	5.0	0.0	0.0
	家事専業(n=366)	85.2	20.8	10.1	65.0	52.2	26.0	36.1	1.1	2.2	2.7	1.6
	学生、無職(n=374)	81.3	23.3	16.3	53.2	39.8	17.6	32.6	0.3	2.1	5.9	4.8
その他(n=21)	61.9	28.6	14.3	52.4	52.4	14.3	28.6	4.8	4.8	9.5	4.8	

《性別》でみると、女性は「インターネット(パソコンや携帯電話)を使つてのいじめ」「教師などによる言葉の暴力や体罰」で男性に比べやや多くなっている。

《性・年齢別》では、男女ともに若い年齢層ほど「インターネット(パソコンや携帯電話)を使つてのいじめ」が多い傾向がみられる。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「その他の有業者」で「子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」が他の職業に比べ多くなっている。

問19. 子どもに関する人権上の問題

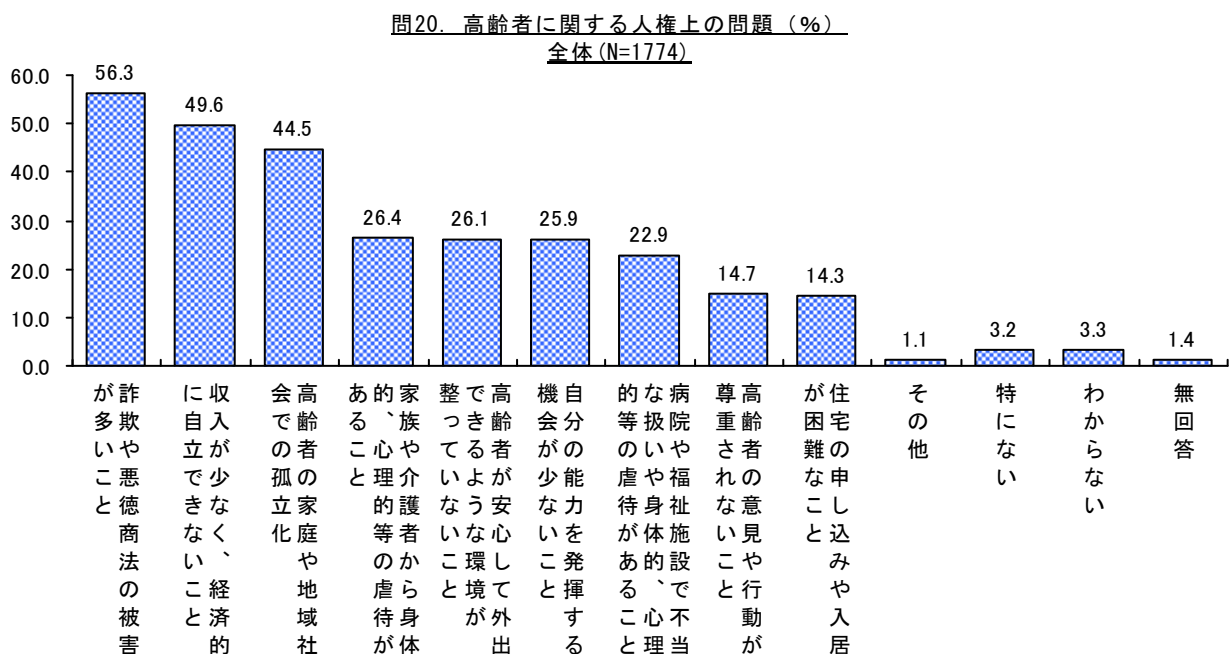
単位: %

	暴力や性など子どもにとっての有害な情報の氾濫	教師などによる言葉の暴力	インターネット(携帯電話)を使ってのいじめ	子どもによる暴力、仲間はずれ	大人が「子どもだから」という理由で、子どもを尊重しないこと	大人が子どもの意見を聞かずに、自分の意見を子どもに強制すること	保護者による子どもへの暴力や育児放棄などの虐待	その他	特になし	わからない	無回答
全体(n=1508)	31.7	19.7	46.2	61.2	13.1	21.8	83.1	0.9	2.0	3.6	2.0
末子学齢別											
就学前の子どもがいる(n=190)	30.5	20.0	55.8	69.5	10.0	18.4	87.9	3.2	2.1	0.5	0.0
小学生の子どもがいる(n=156)	34.6	19.2	59.0	64.1	10.3	23.1	87.2	1.9	0.6	1.3	1.3
中学生の子どもがいる(n=49)	30.6	26.5	59.2	63.3	14.3	22.4	85.7	0.0	0.0	2.0	0.0
高校生以上の子どもがいる(n=710)	31.0	22.0	45.6	62.5	13.2	21.5	85.4	0.4	2.1	3.0	0.8
子どもはいない(n=183)	39.3	14.2	40.4	56.3	14.2	23.0	79.2	0.0	2.7	6.6	3.3

《末子学齢別》では、「子どもはいない」で「暴力や性など子どもにとっての有害な情報の氾濫」が他の層に比べやや多くなっている。

11. 高齢者に関する人権上の問題

問 20. 高齢者に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)



高齢者に関する人権上の問題については、「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」が 56.3%と最も多く、次いで「収入が少なく、経済的に自立できないこと」(49.6%)、「高齢者の家庭や地域社会での孤立化」(44.5%)の順となっている。

【基本属性別】

問20. 高齢者に関する人権上の問題

単位：%

	立入 できが 少なく 、 経済 的に 自	自 分の 能力 を 発 揮 す る 機 会	高 齢 者 の 意 見 や 行 動 が 尊 重	家 族 や 介 護 者 か ら 身 体 的 、 心 理 的 等 の 虐 待 が あ る こ と	病 院 や 福 祉 施 設 で 不 当 な 扱 い が あ る こ と	詐 欺 や 悪 徳 商 法 の 被 害 が 多 い こ と	住 宅 の 申 し 込 み や 入 居 が 困 難 な こ と	高 齢 者 が 安 心 し て 外 出 で き な い こ と	高 齢 者 の 家 庭 や 地 域 社 会 で の 孤 立 化	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体(N=1774)	49.6	25.9	14.7	26.4	22.9	56.3	14.3	26.1	44.5	1.1	3.2	3.3	1.4	
性別	男性(n=799)	50.2	26.2	13.4	22.7	17.6	55.1	12.0	25.8	1.4	2.8	3.9	1.3	
	女性(n=962)	49.4	25.8	15.6	29.7	27.4	57.5	16.0	26.4	0.8	3.5	2.9	1.5	
性・年齢別	男性20～29歳(n=55)	41.8	23.6	12.7	32.7	21.8	49.1	12.7	25.5	0.0	0.0	9.1	0.0	
	30～39歳(n=108)	47.2	29.6	10.2	28.7	20.4	60.2	19.4	29.6	0.0	4.6	1.9	0.0	
	40～49歳(n=116)	46.6	25.0	10.3	18.1	21.6	50.9	15.5	25.0	0.9	1.7	4.3	0.0	
	50～59歳(n=123)	56.1	26.8	7.3	26.0	19.5	52.8	12.2	24.4	3.3	2.4	1.6	0.8	
	60～69歳(n=214)	55.6	31.8	15.4	19.6	13.6	54.2	7.9	24.3	1.9	0.5	4.2	3.3	
	70歳以上(n=181)	47.0	18.8	19.3	19.9	15.5	58.6	9.9	27.1	1.1	6.1	4.4	1.1	
	女性20～29歳(n=76)	40.8	27.6	21.1	50.0	38.2	71.1	15.8	38.2	76.3	0.0	1.3	1.3	0.0
	30～39歳(n=166)	50.0	27.7	13.9	35.5	34.3	59.0	19.3	25.3	48.2	1.8	0.0	4.8	1.8
	40～49歳(n=172)	48.3	29.1	11.6	30.2	37.2	53.5	16.3	26.2	52.9	1.7	1.2	5.2	0.0
	50～59歳(n=144)	54.2	30.6	11.8	35.4	31.9	64.6	24.3	26.4	52.1	0.0	1.4	2.1	0.0
60～69歳(n=233)	53.2	26.6	19.7	24.5	19.3	58.8	14.6	20.6	39.9	0.0	3.4	1.3	1.7	
70歳以上(n=165)	43.6	13.9	17.0	17.6	13.3	46.1	7.3	30.3	29.1	1.2	12.7	2.4	4.2	
居住地別	旧七宝町(n=504)	47.6	27.6	13.9	24.6	20.4	55.4	12.7	25.8	1.6	4.8	1.4	1.6	
	旧美和町(n=512)	49.4	25.0	12.7	26.4	22.9	57.0	11.9	24.6	0.8	2.9	4.1	2.1	
	旧基日寺町(n=637)	52.0	24.3	16.5	27.8	24.0	56.5	16.0	26.2	1.1	2.5	4.4	0.5	
職業別	自営業、経営者、役員(n=242)	47.9	25.6	12.0	21.1	21.5	53.7	12.0	27.3	1.7	3.3	2.5	1.7	
	公務員、教員(n=59)	37.3	32.2	11.9	37.3	25.4	57.6	13.6	32.2	69.5	1.7	3.4	0.0	
	民間企業・団体(100人未満)(n=180)	58.3	27.8	13.9	26.1	21.1	51.1	18.9	21.1	44.4	1.7	2.2	5.6	
	民間企業・団体(100人以上)(n=230)	45.2	26.5	10.9	30.0	22.2	57.8	14.8	28.3	50.4	1.3	0.9	2.2	
	臨時雇、パート、派遣(n=264)	50.0	26.1	14.4	33.0	30.7	51.9	15.5	26.1	51.1	0.0	0.8	2.7	
	その他の有業者(n=20)	55.0	35.0	10.0	40.0	30.0	50.0	15.0	20.0	40.0	0.0	0.0	5.0	
	家事専業(n=366)	54.6	26.0	16.1	29.8	27.6	63.7	16.9	23.5	41.5	0.8	4.6	2.5	
	学生、無職(n=374)	46.8	23.5	18.7	17.9	15.5	56.7	10.2	27.5	40.4	1.1	4.5	4.3	
	その他(n=21)	61.9	33.3	19.0	33.3	23.8	52.4	9.5	52.4	42.9	4.8	4.8	4.8	

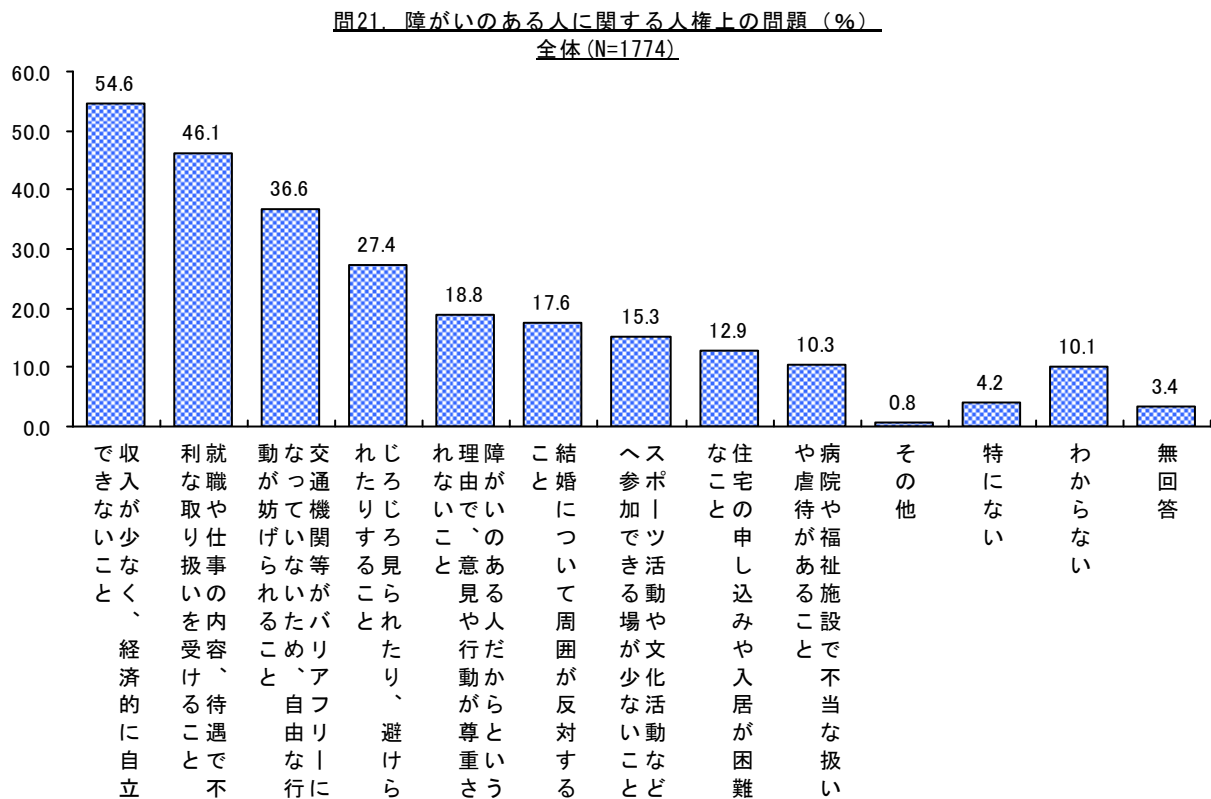
《性別》では、女性で「家族や介護者から身体的、心理的等の虐待があること」「病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的等の虐待があること」が男性に比べ多くなっている。

《性・年齢別》では、女性20歳代で「家族や介護者から身体的、心理的等の虐待があること」「高齢者の家庭や地域社会での孤立化」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「公務員、教員」で「高齢者の家庭や地域社会での孤立化」、「家事専業」で「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」が他の職業に比べ多くなっている。

12. 障がいのある人に関する人権上の問題

問 21. 障がいのある人に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)



障がいのある人に関する人権上の問題については、「収入が少なく、経済的に自立できないこと」が54.6%と最も多く、次いで「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」(46.1%)、「交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」(36.6%)の順となっている。

【基本属性別】

問21. 障がいのある人に関する人権上の問題

単位：%

	結婚について周囲が反対する	立入りが少なく、経済的に自立できないこと	不利な取り扱いを受けること	就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること	重労働、重い見や行動が尊重されないこと	障がいのある人だからという理由で、見や行動が尊重されないこと	な行動が妨げられること	交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること	いや虐待がある施設で不当な扱いや虐待があること	住宅の申し込みや入居が困難なこと	じろろ見られたり、避けられたりすること	スポーツ活動や文化活動などへ参加できる場が少ないこと	その他	特にない	わからない	無回答
全体(N=1774)	17.6	54.6	46.1	18.8	36.6	10.3	12.9	27.4	15.3	0.8	4.2	10.1	3.4			
性別	男性(n=799)	18.6	54.9	45.8	15.5	31.3	8.4	10.5	25.8	16.6	1.0	5.0	9.0	3.1		
	女性(n=962)	16.9	54.8	46.7	21.5	41.1	12.0	14.9	29.0	14.3	0.7	3.4	11.1	3.3		
性・年齢別	男性20～29歳(n=55)	16.4	49.1	38.2	10.9	27.3	9.1	3.6	36.4	14.5	3.6	3.6	14.5	0.0		
	30～39歳(n=108)	18.5	51.9	46.3	15.7	35.2	9.3	11.1	32.4	16.7	1.9	5.6	5.6	0.0		
	40～49歳(n=116)	14.7	56.0	49.1	14.7	35.3	8.6	10.3	36.2	10.3	0.9	3.4	5.2	0.0		
	50～59歳(n=123)	22.8	56.9	55.3	17.1	33.3	8.1	13.0	21.1	17.9	0.8	4.1	8.1	1.6		
	60～69歳(n=214)	18.2	58.4	45.3	16.8	29.0	7.9	10.3	20.1	17.8	0.5	5.1	8.9	5.6		
	70歳以上(n=181)	19.3	52.5	39.2	14.9	29.3	8.3	11.0	21.0	19.3	0.6	6.6	12.7	6.1		
	女性20～29歳(n=76)	23.7	55.3	65.8	35.5	50.0	23.7	18.4	63.2	15.8	2.6	0.0	2.6	0.0		
	30～39歳(n=166)	12.7	50.6	48.8	27.1	53.0	14.5	12.7	36.7	10.2	0.6	1.2	10.2	1.8		
	40～49歳(n=172)	14.0	57.0	52.3	20.3	47.1	13.4	17.4	29.1	16.3	1.7	0.6	8.1	1.2		
	50～59歳(n=144)	22.2	66.0	50.0	18.1	43.8	14.6	20.1	23.6	15.3	0.0	1.4	10.4	0.7		
60～69歳(n=233)	15.9	58.8	42.9	21.0	33.5	7.3	12.9	21.5	14.6	0.0	5.2	13.7	3.0			
70歳以上(n=165)	18.2	40.6	32.1	15.2	28.5	7.3	10.3	21.2	14.5	0.6	9.7	15.8	11.5			
居住地別	旧七宝町(n=504)	18.7	53.8	45.8	17.7	36.3	10.1	9.9	25.4	17.1	1.2	4.6	10.7	4.2		
	旧美和町(n=512)	16.4	55.1	45.9	18.2	37.7	9.0	11.3	26.0	15.8	0.2	3.9	10.2	4.3		
	旧甚目寺町(n=637)	18.8	57.6	46.8	20.4	35.3	11.5	16.2	29.0	13.5	1.3	3.8	9.6	1.6		
職業別	自営業、経営者、役員(n=242)	17.8	57.9	41.3	16.1	32.2	10.7	11.6	22.7	14.9	2.5	5.4	7.0	4.5		
	公務員、教員(n=59)	15.3	57.6	62.7	16.9	45.8	16.9	10.2	27.1	15.3	3.4	3.4	3.4	1.7		
	民間企業・団体(100人未満)(n=180)	20.6	53.3	47.8	18.3	31.1	10.0	13.3	33.9	17.8	1.1	4.4	10.6	2.2		
	民間企業・団体(100人以上)(n=230)	16.5	50.0	53.9	19.6	35.7	10.9	12.2	28.7	10.9	0.4	2.6	8.7	0.0		
	臨時雇、パート、派遣(n=264)	16.3	58.7	50.8	20.5	42.0	8.3	13.3	28.8	14.0	0.4	2.7	9.5	0.4		
	その他の有業者(n=20)	20.0	40.0	40.0	10.0	25.0	10.0	5.0	15.0	15.0	0.0	15.0	5.0	0.0		
	家事専業(n=366)	19.1	56.8	47.3	21.3	42.3	9.8	17.2	27.6	15.8	0.3	3.8	12.0	3.3		
学生、無職(n=374)	17.6	52.7	38.2	18.2	34.0	10.4	10.7	25.9	18.4	0.0	4.5	13.1	6.4			
その他(n=21)	9.5	71.4	61.9	9.5	38.1	19.0	14.3	42.9	4.8	9.5	0.0	9.5	4.8			

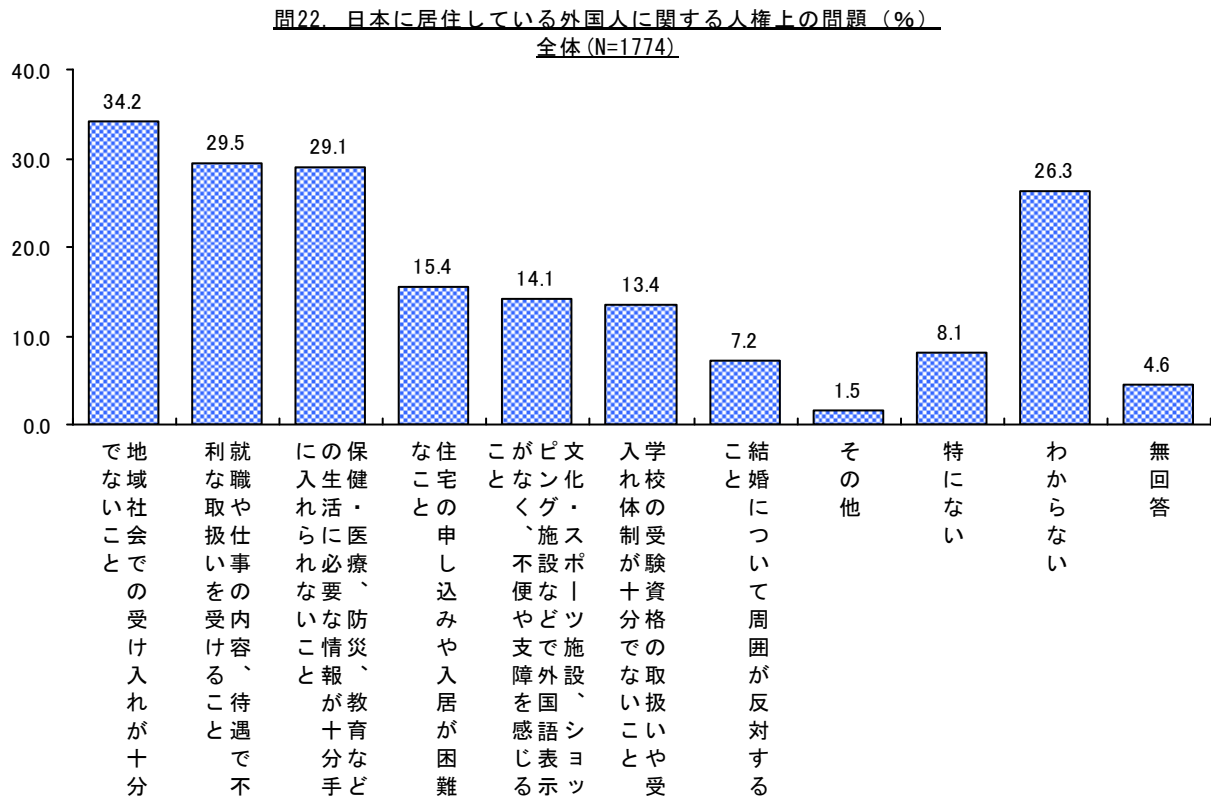
《性別》でみると、女性は男性に比べ「交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」が多くなっている。

《性・年齢別》では、女性20歳代で「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」「じろろ見られたり、避けられたりすること」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「公務員、教員」で「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」、「公務員、教員」「臨時雇、パート、派遣」「家事専業」で「交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」が他の職業に比べ多くなっている。

13. 日本に居住している外国人に関する人権上の問題

問 22. 日本に居住している外国人に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)



日本に居住している外国人に関する人権上の問題については、「地域社会での受け入れが十分でないこと」が 34.2%と最も多く、次いで「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」(29.5%)、「保健・医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分手に入れないこと」(29.1%)の順となっている。

【基本属性別】

問22. 日本に居住している外国人に関する人権上の問題

単位：％

	な地域社会での受け入れが十分でないこと	住宅の申し込みや入居が困難なこと	保健・医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分に手に入れないこと	就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること	学校の受験資格の取扱いや入校体制が十分でないこと	文化・スポーツ施設、ショッピング施設などで外国語表示がなく、不便や支障を感じることに	結婚について周囲が反対すること	その他	特にな	わからない	無回答
全体(N=1774)	34.2	15.4	29.1	29.5	13.4	14.1	7.2	1.5	8.1	26.3	4.6
性別											
男性(n=799)	36.5	16.1	29.7	28.9	14.0	14.9	7.9	1.5	9.9	22.8	3.9
女性(n=962)	32.3	15.0	28.9	30.2	12.8	13.6	6.5	1.6	6.7	29.3	5.0
性・年齢別											
男性20～29歳(n=55)	34.5	12.7	21.8	36.4	10.9	21.8	12.7	3.6	5.5	20.0	0.0
30～39歳(n=108)	35.2	16.7	25.9	25.0	20.4	18.5	6.5	3.7	12.0	17.6	2.8
40～49歳(n=116)	34.5	19.0	28.4	26.7	18.1	12.1	11.2	0.0	13.8	17.2	0.9
50～59歳(n=123)	39.8	17.9	27.6	30.1	8.9	14.6	5.7	0.0	11.4	22.8	1.6
60～69歳(n=214)	36.4	18.2	35.0	29.9	12.6	16.8	4.7	2.3	7.5	23.4	6.1
70歳以上(n=181)	36.5	11.0	29.8	27.6	13.3	10.5	10.5	0.6	9.4	29.8	6.6
女性20～29歳(n=76)	40.8	15.8	42.1	38.2	23.7	30.3	9.2	3.9	6.6	15.8	0.0
30～39歳(n=166)	28.9	23.5	31.3	31.3	13.3	15.1	5.4	2.4	5.4	25.9	1.8
40～49歳(n=172)	37.2	16.9	33.1	41.3	11.0	14.0	5.2	1.2	3.5	25.0	1.7
50～59歳(n=144)	45.1	20.1	31.3	33.3	16.0	14.6	8.3	1.4	6.3	23.6	2.1
60～69歳(n=233)	27.9	9.0	26.2	27.0	12.0	10.3	5.6	0.4	6.4	36.9	5.6
70歳以上(n=165)	21.8	7.9	18.2	16.4	7.9	7.9	7.9	1.8	11.5	37.6	15.2
居住地別											
旧七宝町(n=504)	37.3	13.5	29.2	28.2	14.1	15.9	5.6	1.6	9.3	25.0	5.6
旧美和町(n=512)	33.2	13.1	29.5	27.1	12.1	14.1	6.8	1.2	6.8	28.9	5.1
旧甚目寺町(n=637)	33.3	18.1	29.0	33.0	13.3	12.9	8.8	1.9	8.0	25.0	3.1
職業別											
自営業、経営者、役員(n=242)	35.1	17.4	29.8	26.4	12.8	13.6	6.6	1.2	8.7	22.3	6.2
公務員、教員(n=59)	44.1	16.9	37.3	45.8	16.9	18.6	6.8	1.7	10.2	15.3	0.0
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	35.0	18.3	30.0	33.3	16.1	13.9	6.7	2.2	8.9	20.0	3.3
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	39.6	16.1	28.7	31.3	12.2	17.0	7.8	0.4	10.9	18.3	0.4
臨時雇、パート、派遣(n=264)	36.7	18.6	31.8	33.0	14.8	15.9	6.1	1.5	6.1	24.2	1.9
その他の有業者(n=20)	45.0	20.0	20.0	30.0	15.0	10.0	10.0	0.0	15.0	20.0	0.0
家事専業(n=366)	30.9	15.3	28.7	30.1	11.7	11.7	6.8	2.2	5.7	33.9	5.7
学生、無職(n=374)	29.9	9.6	27.3	24.6	13.9	13.9	8.8	1.3	8.6	32.1	7.5
その他(n=21)	28.6	28.6	28.6	23.8	9.5	19.0	4.8	0.0	9.5	38.1	4.8

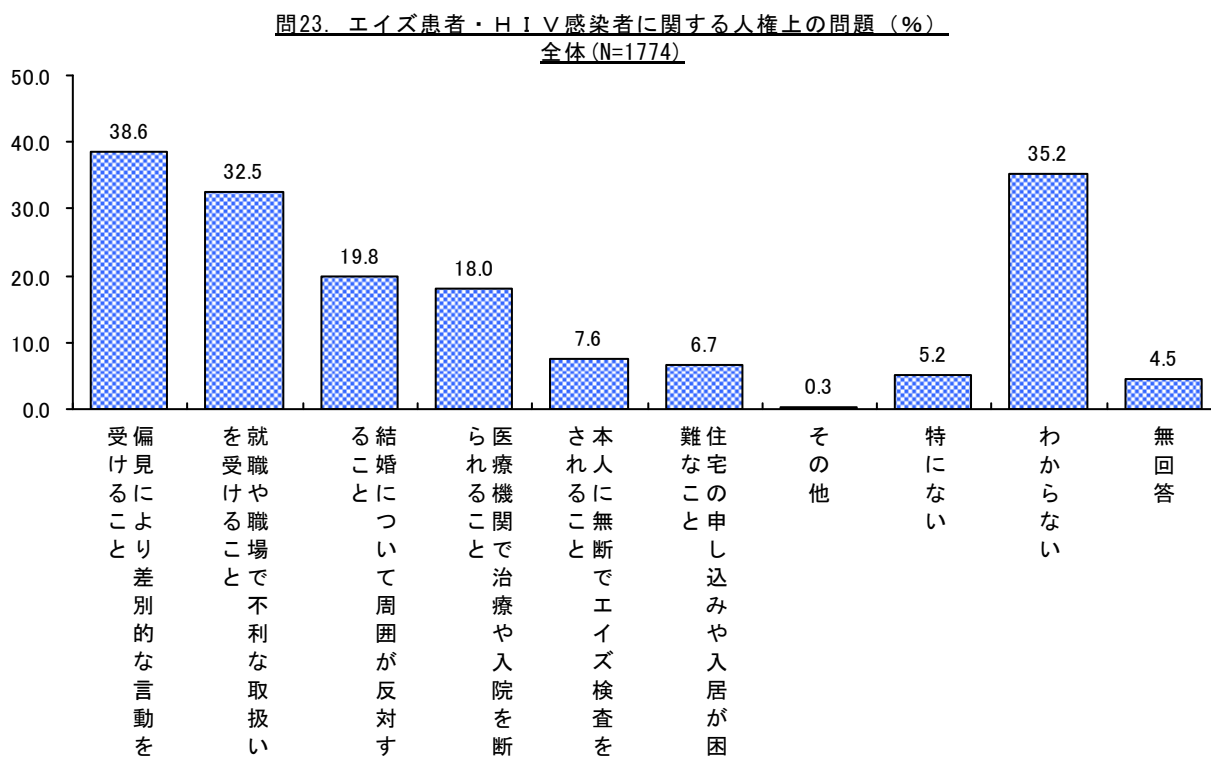
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、女性20歳代で「文化・スポーツ施設、ショッピング施設などで外国語表示がなく、不便や支障を感じることに」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》では、「旧甚目寺町」で「住宅の申し込みや入居が困難なこと」「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」が他の居住地に比べやや多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」で「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」が他の職業に比べ多くなっている。

14. エイズ患者・HIV感染者に関する人権上の問題

問 23. エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（〇印いくつでも）



エイズ患者・HIV感染者に関する人権上の問題については、「偏見により差別的な言動を受けること」が 38.6%と最も多く、次いで多い「わからない」(35.2%) の他では「就職や職場で不利な取扱いを受けること」(32.5%)、「結婚について周囲が反対すること」(19.8%)、「医療機関で治療や入院を断られること」(18.0%) の順となっている。

【基本属性別】

問23. エイズ患者・HIV感染者に関する人権上の問題

単位：%

	を就職や職場で不利な取扱いを受けること	医療機関で治療や入院を断られること	本人に無断でエイズ検査をされること	偏見により差別的な言動を受けること	住宅の申し込みや入居が困難なこと	結婚について周囲が反対すること	その他	特にない	わからない	無回答
全体(N=1774)	32.5	18.0	7.6	38.6	6.7	19.8	0.3	5.2	35.2	4.5
性別										
男性(n=799)	34.4	15.8	6.4	35.7	6.5	20.3	0.0	7.0	34.4	3.9
女性(n=962)	31.2	19.8	8.7	41.3	6.9	19.5	0.5	3.8	36.0	4.7
性・年齢別										
男性20～29歳(n=55)	20.0	16.4	5.5	47.3	5.5	25.5	0.0	5.5	34.5	0.0
30～39歳(n=108)	31.5	14.8	9.3	47.2	9.3	15.7	0.0	8.3	28.7	1.9
40～49歳(n=116)	33.6	22.4	11.2	38.8	6.0	16.4	0.0	7.8	32.8	0.0
50～59歳(n=123)	35.8	19.5	4.9	39.0	4.9	19.5	0.0	5.7	34.1	2.4
60～69歳(n=214)	37.9	12.6	4.2	29.4	6.5	20.6	0.0	5.6	36.4	8.4
70歳以上(n=181)	36.5	13.3	5.5	28.2	6.6	24.3	0.0	8.8	36.5	4.4
女性20～29歳(n=76)	32.9	34.2	11.8	65.8	7.9	23.7	1.3	0.0	18.4	0.0
30～39歳(n=166)	34.3	18.1	11.4	48.2	6.0	17.5	0.6	4.8	29.5	1.8
40～49歳(n=172)	37.8	21.5	8.7	47.7	7.6	16.9	0.0	0.6	35.5	1.2
50～59歳(n=144)	36.8	24.3	9.7	50.7	9.0	24.3	0.7	4.9	31.3	1.4
60～69歳(n=233)	27.0	15.0	5.6	33.5	6.0	19.7	0.9	5.2	42.5	5.2
70歳以上(n=165)	21.8	15.8	7.9	20.0	6.1	18.2	0.0	5.5	44.8	15.2
居住地別										
旧七宝町(n=504)	31.2	14.9	7.5	35.9	5.6	19.6	0.0	5.4	37.5	5.4
旧美和町(n=512)	31.6	17.4	6.3	37.9	6.1	18.8	0.2	4.1	37.1	5.1
旧基目寺町(n=637)	34.4	20.6	8.2	41.1	8.0	20.9	0.6	6.1	32.8	3.1
職業別										
自営業、経営者、役員(n=242)	33.1	17.4	7.4	32.2	5.8	18.2	0.0	7.0	36.4	5.8
公務員、教員(n=59)	47.5	30.5	6.8	50.8	5.1	27.1	0.0	3.4	25.4	1.7
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	31.7	17.2	8.9	43.9	6.7	18.9	0.0	5.0	33.9	3.3
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	34.8	21.7	8.7	49.1	8.3	16.1	0.0	5.2	28.7	0.0
臨時雇、パート、派遣(n=264)	33.0	14.4	9.1	42.0	4.9	19.3	0.4	4.5	35.6	2.3
その他の有業者(n=20)	40.0	20.0	5.0	40.0	10.0	20.0	0.0	20.0	20.0	5.0
家事専業(n=366)	32.2	22.4	7.7	39.3	7.9	22.4	1.1	3.6	36.1	6.0
学生、無職(n=374)	30.5	13.1	6.1	30.2	6.7	20.9	0.0	5.9	39.6	6.4
その他(n=21)	23.8	14.3	4.8	33.3	4.8	19.0	0.0	4.8	42.9	4.8

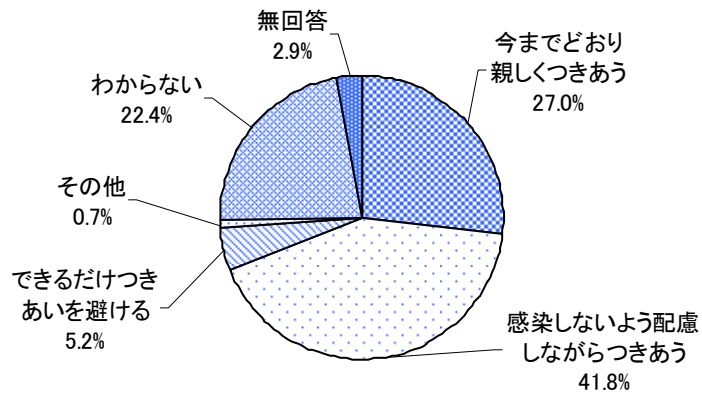
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、女性20歳代で「医療機関で治療や入院を断られること」「偏見により差別的な言動を受けること」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「公務員、教員」で「就職や職場で不利な取扱いを受けること」「医療機関で治療や入院を断られること」「偏見により差別的な言動を受けること」が他の職業に比べ多くなっている。「偏見により差別的な言動を受けること」は「民間企業・団体(100人以上)」でも他の職業に比べやや多くなっている。

15. HIV感染者とのつきあいについて

問 24. 仮に、あなたが職場や地域などで日ごろ親しくつきあっている人がHIV感染者であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(○印1つ)

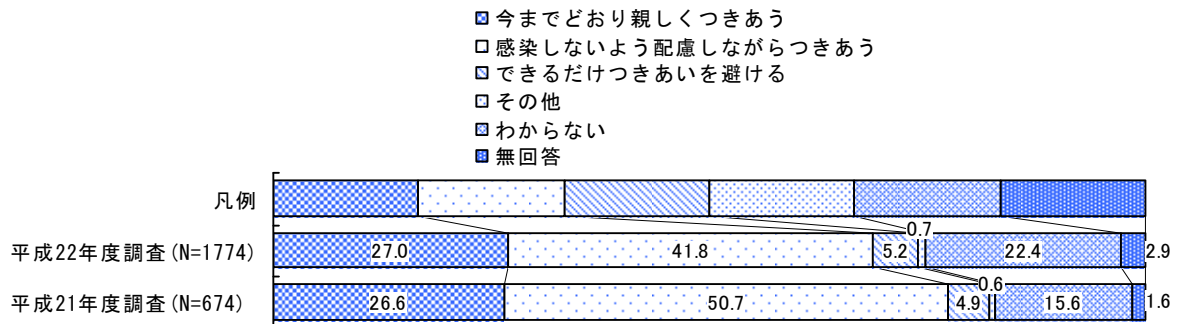
問24. HIV感染者とのつきあいについて (%)
全体 (N=1774)



HIV感染者とのつきあいについては、「感染しないよう配慮しながらつきあう」が41.8%と最も多く、次いで「今までどおり親しくつきあう」(27.0%)、「わからない」(22.4%)、「できるだけつきあいを避ける」(5.2%)の順となっている。

【時系列比較】

問24. HIV感染者とのつきあいについて (%) 時系列比較

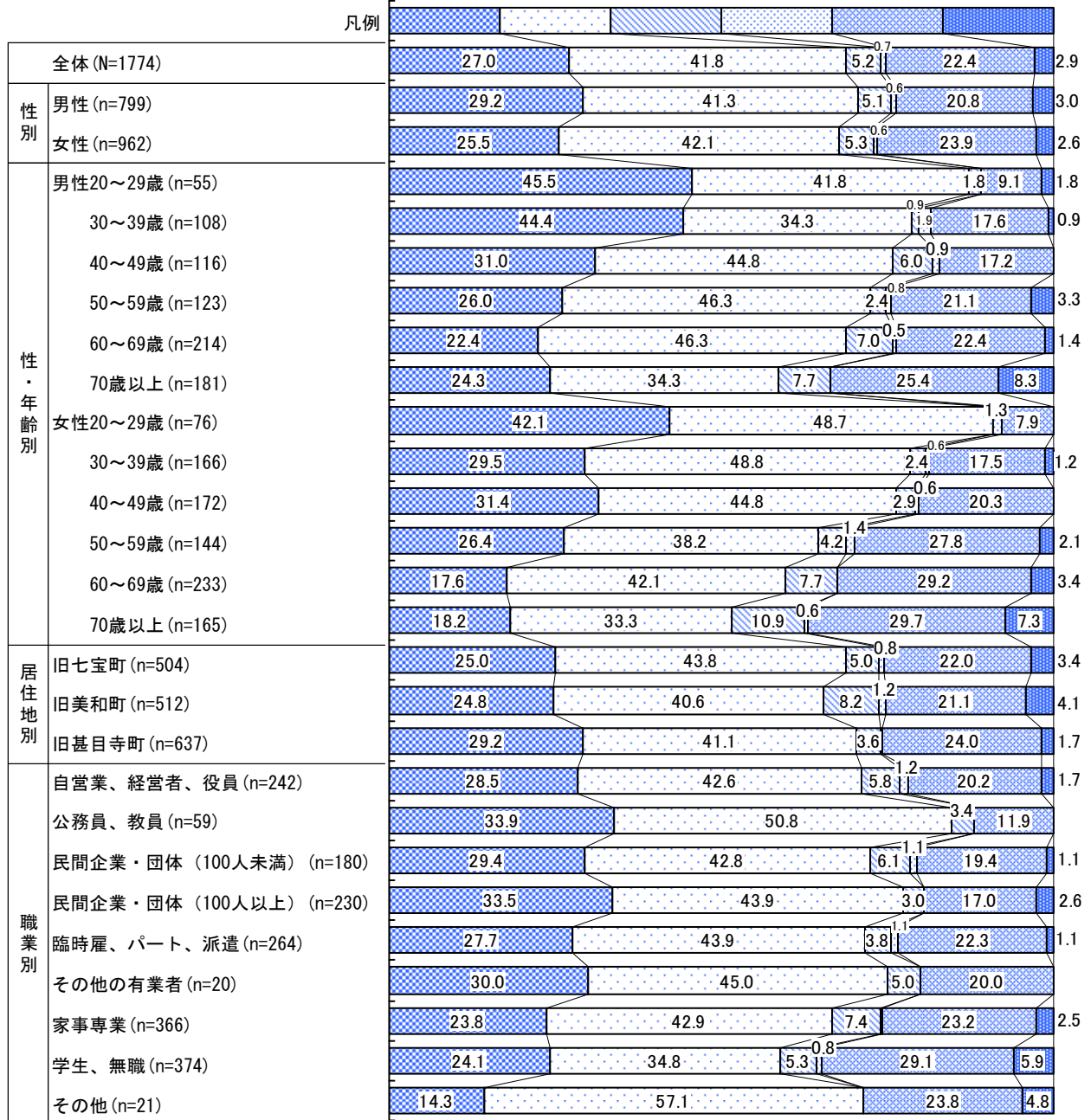


平成21年度調査に比べ「感染しないよう配慮しながらつきあう」が減少し、「わからない」が増加している。

【基本属性別】

問24. HIV感染者とのつきあいについて (%)

- 今までどおり親しくつきあう
- 感染しないよう配慮しながらつきあう
- できるだけつきあいを避ける
- その他
- わからない
- 無回答



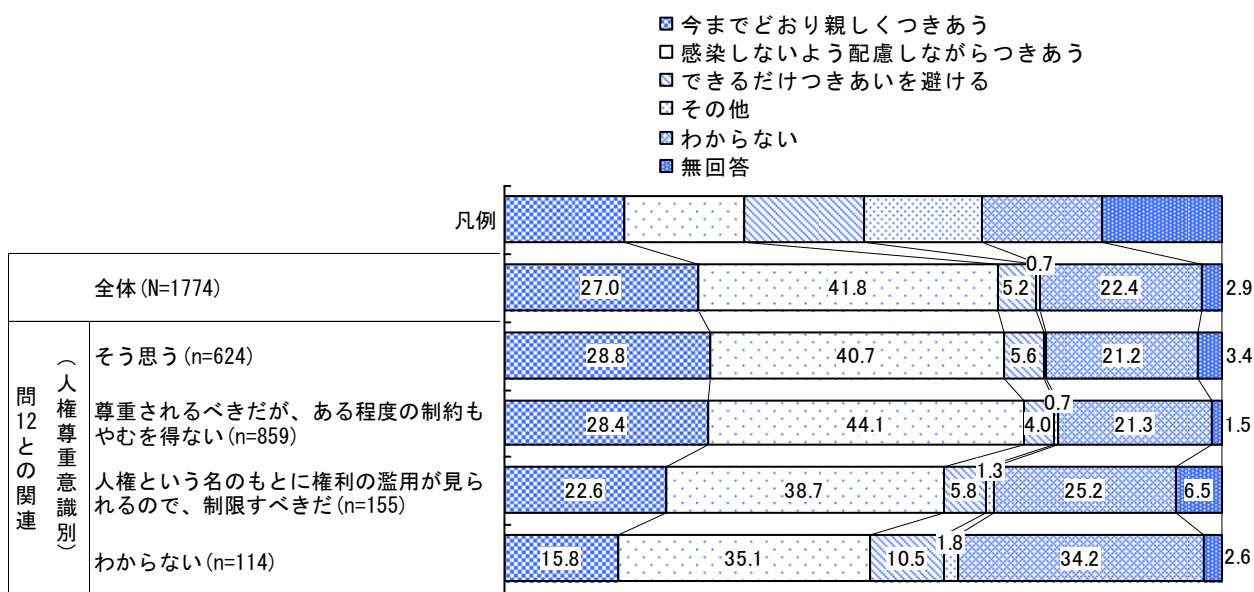
《性別》では、女性に比べ男性で「今までどおり親しくつきあう」がやや多くなっている。

《性・年齢別》では、男女ともに年齢が若いほど「今までどおり親しくつきあう」が多い傾向がみられる。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「公務員、教員」で「感染しないよう配慮しながらつきあう」が他の職業に比べやや多く、約半数を占めている。

【問 24 と問 12 との関連】

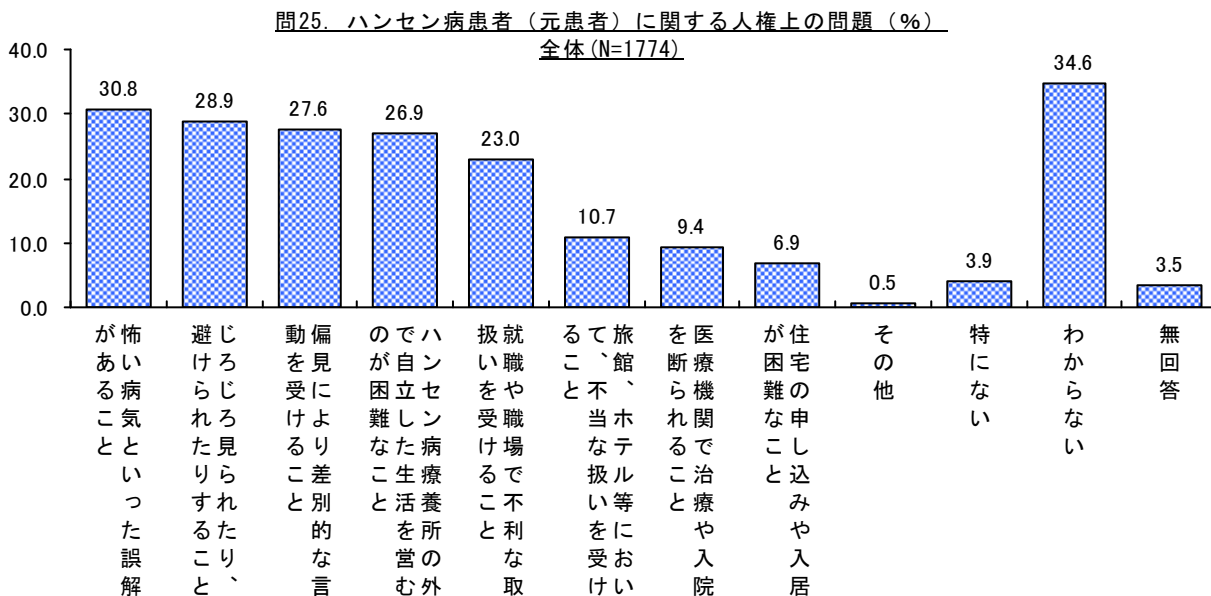
問24. HIV感染者とのつきあいについて (%)



問 12 《人権尊重意識別》との関連をみると、「わからない」で「できるだけつきあいを避ける」が他の層に比べやや多くなっている。

16. ハンセン病患者（元患者）に関する人権上の問題

問 25. ハンセン病患者（元患者）に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（○印いくつでも）



ハンセン病患者（元患者）に関する人権上の問題については、「わからない」が 34.6%と最も多いが、意識されている問題としては、「怖い病気といった誤解があること」が 30.8%と最も多く、次いで「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(28.9%)、「偏見により差別的な言動を受けること」(27.6%)、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」(26.9%) の順となっている。

【基本属性別】

問25. ハンセン病患者(元患者)に関する人権上の問題

単位: %

	らじろじろ見られたり、避けられたりすること	就職や職場で不利な取扱いを受けること	医療機関で治療や入院を断られること	立ちこたした生活を営むのが困難なこと	ハンセン病療養所の外で自立的な生活を送ることが困難なこと	偏見により差別的な言動を受けること	住宅の申し込みや入居が困難なこと	旅館、ホテル等において、不当な扱いを受けること	怖い病気といった誤解があること	その他	特になし	わからない	無回答
全体(N=1774)	28.9	23.0	9.4	26.9	27.6	6.9	10.7	30.8	0.5	3.9	34.6	3.5	
性別													
男性(n=799)	30.5	22.9	9.3	25.0	25.0	7.1	11.6	28.9	0.4	5.1	32.5	3.1	
女性(n=962)	27.8	23.3	9.6	28.6	29.9	6.9	10.1	32.4	0.5	2.9	36.2	3.6	
性・年齢別													
男性20～29歳(n=55)	20.0	20.0	9.1	18.2	21.8	3.6	7.3	20.0	1.8	1.8	54.5	1.8	
30～39歳(n=108)	28.7	17.6	12.0	25.0	30.6	6.5	13.9	29.6	0.0	6.5	35.2	0.9	
40～49歳(n=116)	34.5	23.3	11.2	25.0	30.2	5.2	6.0	31.0	0.0	7.8	28.4	0.0	
50～59歳(n=123)	36.6	26.8	8.9	30.9	30.9	9.8	14.6	22.0	0.8	3.3	30.9	3.3	
60～69歳(n=214)	27.1	22.4	7.5	25.7	22.9	5.1	12.6	32.2	0.5	3.3	31.3	3.3	
70歳以上(n=181)	32.6	24.9	8.8	22.7	18.2	10.5	12.2	30.9	0.0	7.2	28.7	6.6	
女性20～29歳(n=76)	35.5	30.3	15.8	19.7	43.4	7.9	13.2	35.5	1.3	2.6	28.9	2.6	
30～39歳(n=166)	28.9	22.9	10.2	28.3	30.1	3.0	9.0	25.9	0.6	0.0	43.4	1.2	
40～49歳(n=172)	28.5	24.4	9.9	30.2	34.3	11.0	11.0	34.3	0.6	1.2	37.2	0.0	
50～59歳(n=144)	29.9	27.1	9.7	31.9	36.1	11.1	14.6	34.7	0.0	2.1	31.3	3.5	
60～69歳(n=233)	27.5	23.2	7.7	33.9	30.5	5.2	9.9	36.9	0.4	2.6	36.1	3.9	
70歳以上(n=165)	21.2	16.4	8.5	21.2	13.3	4.8	5.5	28.5	0.6	9.1	34.5	10.3	
居住地別													
旧七宝町(n=504)	29.4	22.6	9.5	26.6	26.8	8.1	10.9	29.6	1.4	4.2	34.3	4.4	
旧美和町(n=512)	26.6	23.8	10.2	25.0	28.9	4.1	9.6	32.8	0.0	3.5	33.8	4.3	
旧基目寺町(n=637)	30.5	23.1	9.6	28.4	27.5	8.2	11.5	30.6	0.0	4.2	34.1	2.2	
職業別													
自営業、経営者、役員(n=242)	30.2	25.6	8.7	29.3	27.3	8.7	10.7	31.0	1.2	6.2	27.3	2.5	
公務員、教員(n=59)	44.1	32.2	10.2	35.6	33.9	10.2	20.3	42.4	0.0	3.4	20.3	1.7	
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	33.3	22.8	8.9	26.7	30.0	7.2	12.2	29.4	0.0	2.8	36.7	1.1	
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	29.1	23.5	10.9	23.5	31.7	4.3	9.6	25.2	0.4	3.5	35.7	2.6	
臨時雇、パート、派遣(n=264)	26.9	22.3	10.6	31.4	26.9	7.2	12.1	28.4	0.4	3.0	34.5	1.9	
その他の有業者(n=20)	40.0	20.0	10.0	35.0	40.0	5.0	10.0	50.0	0.0	5.0	20.0	0.0	
家事専業(n=366)	27.9	22.4	9.0	29.5	30.1	6.8	9.3	32.5	0.5	3.3	38.5	4.1	
学生、無職(n=374)	25.9	21.7	8.0	21.4	21.1	6.7	10.2	32.1	0.3	4.0	36.6	6.1	
その他(n=21)	28.6	23.8	19.0	14.3	33.3	14.3	9.5	42.9	0.0	4.8	38.1	4.8	

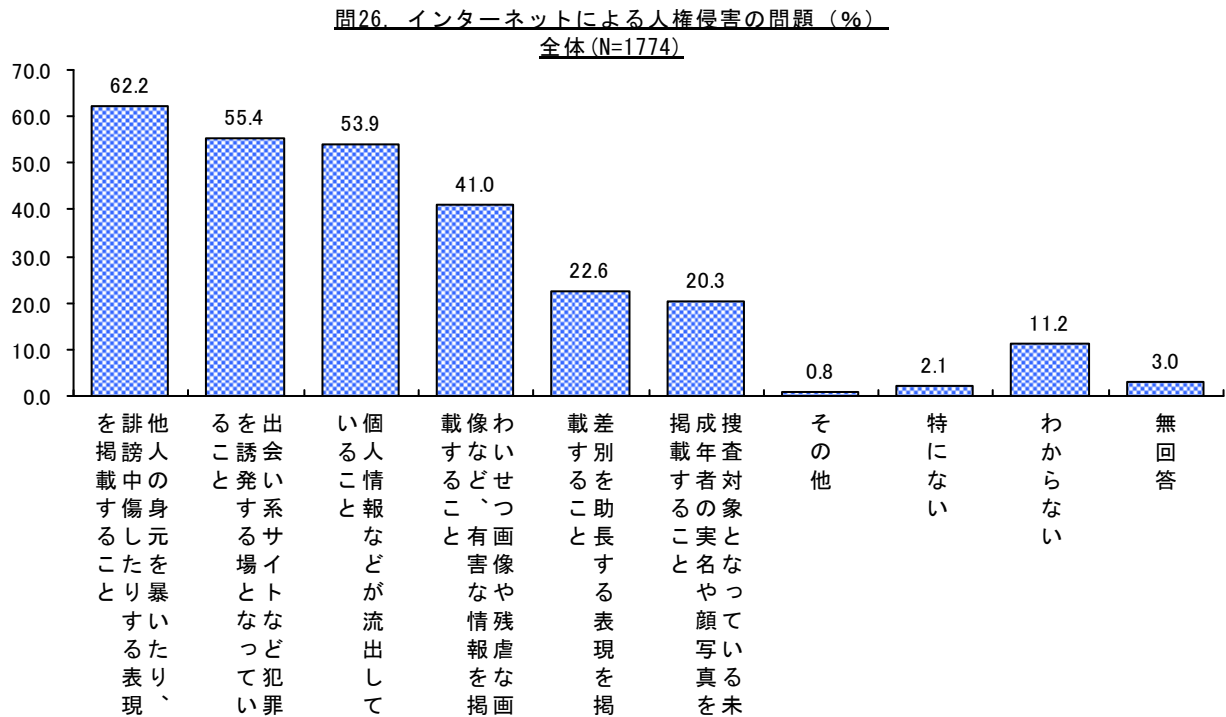
《性別》では大きな差はみられない。

《性・年齢別》では、女性で年齢層が若いほど「じろじろ見られたり、避けられたりすること」「医療機関で治療や入院を断られること」が多い傾向がみられる。

《居住地別》での大きな差はみられないが、《職業別》では、「その他の有業者」で「偏見により差別的な言動を受けること」「怖い病気といった誤解があること」が他の職業に比べ多くなっている。

17. インターネットによる人権侵害の問題

問 26. インターネットによる人権侵害の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇いくつでも)



インターネットによる人権侵害の問題については、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷したりする表現を掲載すること」が 62.2%と最も多く、次いで「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(55.4%)、「個人情報などが流出していること」(53.9%)の順となっている。

【基本属性別】

問26. インターネットによる人権侵害の問題

単位：%

	載する 中傷し たりす る表 現を 掲	他人の 身元を 暴いた り、誹 謗	差別を 助長す る表 現を 掲	と誘発 する場 となっ てい るこ と	出会い 系サイ トなど 犯罪を 誘発す ること	未成年 者の実 名や顔 写真を 掲載す ること	捜査対 象とな って いる未 成年者 の顔写 真を掲 載す ること	など、 有害な 画像や 残虐な 画像を 掲載す ること	わいせ つ画像 や残虐 な画像 を掲載 すること	個人情報 などが 流出し てい ること	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(N=1774)	62.2	22.6	55.4	20.3	41.0	53.9	0.8	2.1	11.2	3.0				
性別														
男性(n=799)	61.1	25.0	53.3	16.5	37.7	50.7	0.9	2.3	10.6	2.5				
女性(n=962)	63.6	20.8	57.3	23.7	43.8	56.8	0.8	1.9	11.7	3.2				
性・年齢別														
男性20～29歳(n=55)	74.5	29.1	41.8	25.5	29.1	60.0	1.8	1.8	5.5	1.8				
30～39歳(n=108)	80.6	36.1	47.2	15.7	34.3	63.0	1.9	1.9	0.9	0.0				
40～49歳(n=116)	70.7	31.0	48.3	17.2	32.8	62.9	0.0	2.6	6.0	0.0				
50～59歳(n=123)	63.4	31.7	56.9	17.9	36.6	57.7	0.0	0.8	6.5	2.4				
60～69歳(n=214)	54.7	16.8	63.1	14.5	43.9	42.5	0.9	2.3	12.1	2.8				
70歳以上(n=181)	45.3	18.2	50.3	14.9	39.2	37.0	1.1	3.3	22.1	5.5				
女性20～29歳(n=76)	75.0	34.2	53.9	22.4	53.9	73.7	1.3	1.3	3.9	0.0				
30～39歳(n=166)	77.1	21.7	63.9	22.9	48.8	67.5	1.8	0.6	2.4	1.2				
40～49歳(n=172)	77.3	27.3	61.0	34.9	54.7	70.3	0.0	0.6	4.1	0.0				
50～59歳(n=144)	72.9	25.0	64.6	29.9	50.7	61.8	0.7	0.0	6.9	2.8				
60～69歳(n=233)	52.4	13.3	58.8	21.5	39.5	46.4	0.9	2.1	18.0	3.4				
70歳以上(n=165)	38.2	13.3	40.6	12.1	24.2	33.9	0.6	6.1	27.3	10.3				
居住地別														
旧七宝町(n=504)	60.5	19.8	54.8	19.4	41.5	49.4	1.0	1.4	13.7	4.0				
旧美和町(n=512)	59.0	20.9	54.5	18.0	38.5	52.7	0.6	2.7	11.9	3.9				
旧甚目寺町(n=637)	65.3	25.4	57.0	23.5	42.4	58.2	1.1	1.9	9.3	1.4				
職業別														
自営業、経営者、役員(n=242)	56.6	22.3	58.3	18.2	39.7	48.3	1.2	3.7	9.9	1.7				
公務員、教員(n=59)	79.7	35.6	52.5	22.0	45.8	62.7	0.0	1.7	3.4	0.0				
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	68.9	24.4	56.1	20.0	40.0	62.2	0.0	0.6	6.7	0.6				
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	68.3	33.5	50.4	19.1	36.5	59.1	0.9	2.2	5.2	1.7				
臨時雇、パート、派遣(n=264)	67.4	20.5	61.4	22.7	44.3	54.9	0.8	0.8	8.7	1.5				
その他の有業者(n=20)	80.0	25.0	60.0	20.0	40.0	70.0	0.0	5.0	5.0	0.0				
家事専業(n=366)	64.8	18.0	60.1	28.7	47.3	57.4	0.8	2.2	13.1	3.0				
学生、無職(n=374)	51.3	19.8	50.3	13.4	37.7	44.7	1.3	2.1	17.9	6.1				
その他(n=21)	57.1	23.8	33.3	14.3	19.0	57.1	0.0	4.8	23.8	9.5				

《性別》での大きな差はみられないが、男性 60 歳代で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」、女性 40 歳代で「捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」が他の年齢層に比べ多くなっている。

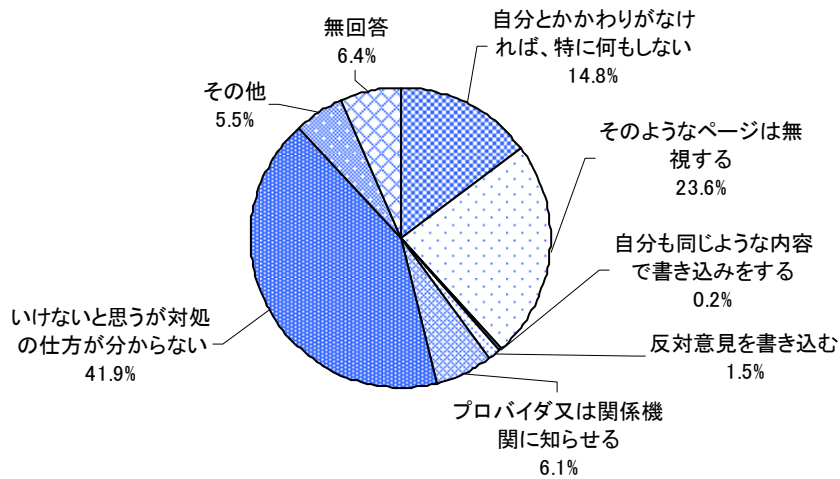
《居住地別》では、「旧甚目寺町」で「個人情報などが流出していること」が他の居住地に比べやや多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」で「差別を助長する表現を掲載すること」、「その他の有業者」で「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷したりする表現を掲載すること」「個人情報などが流出していること」が他の職業に比べ多くなっている。

18. インターネット上での人権侵害について

問 27. インターネット上で人権侵害と思われるようなページを発見した場合、あなたはどのようにしますか。(○印 1つ)

問27. インターネット上での人権侵害について (%)
全体 (N=1774)

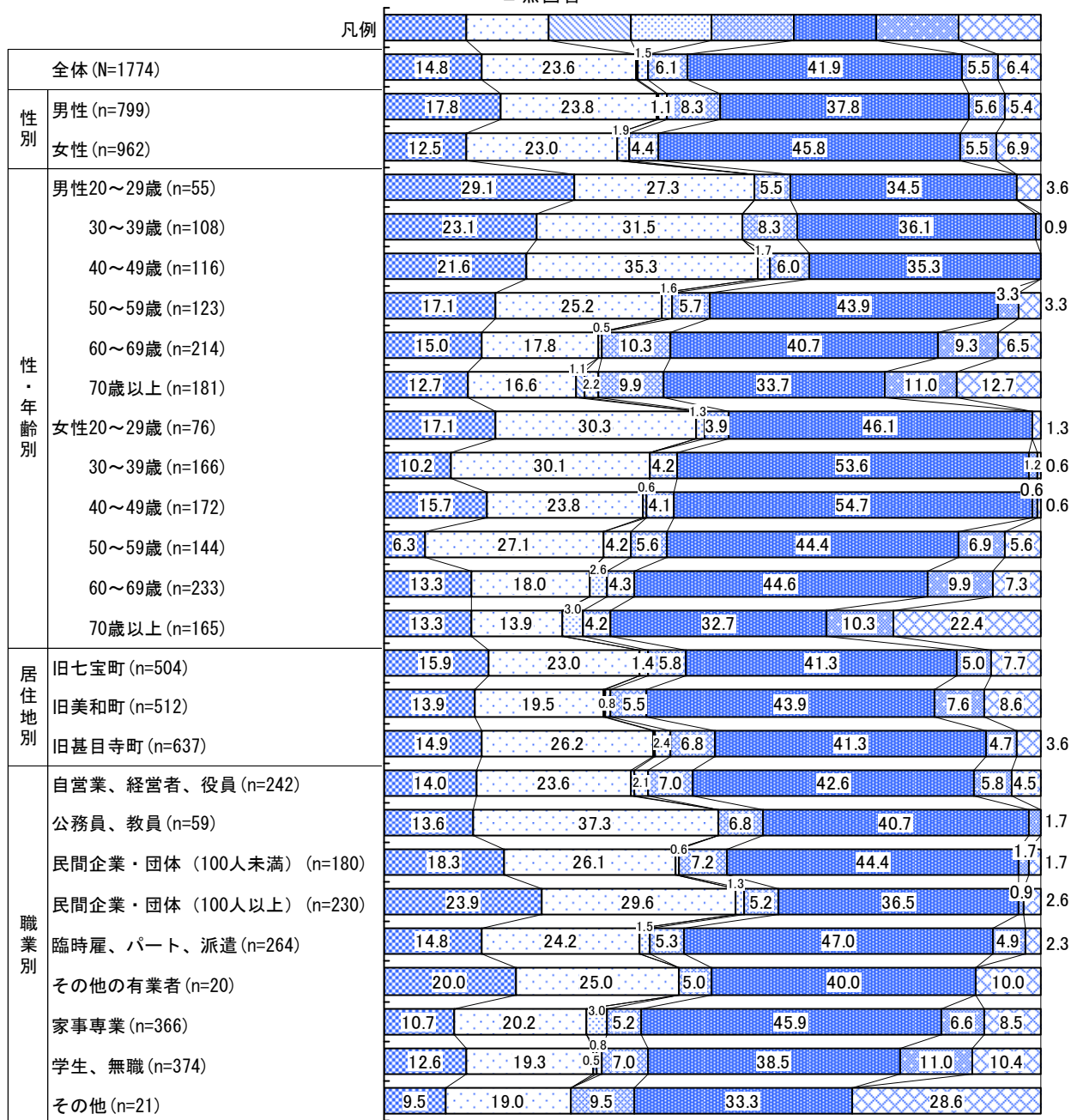


インターネット上での人権侵害については、「いけないと思うが対処の仕方が分からない」が 41.9%と最も多く、次いで「そのようなページは無視する」(23.6%)、「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」(14.8%)の順となっている。

【基本属性別】

問27. インターネット上での人権侵害について（％）

- 自分とかかわりがなければ、特に何もしない
- そのようなページは無視する
- 自分も同じような内容で書き込みをする
- 反対意見を書き込む
- プロバイダ又は関係機関に知らせる
- いけないと思うが対処の仕方が分からない
- その他
- 無回答



《性別》では、男性に比べ女性で「いけないと思うが対処の仕方が分からない」が多くなっている。

《性・年齢別》では、男性で年齢が若いほど「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」が多く、女性は30～40歳代で「いけないと思うが対処の仕方が分からない」が過半数を占めている。

《居住地別》では、「旧甚目寺町」で「そのようなページは無視する」がやや多いが、大きな差はみ

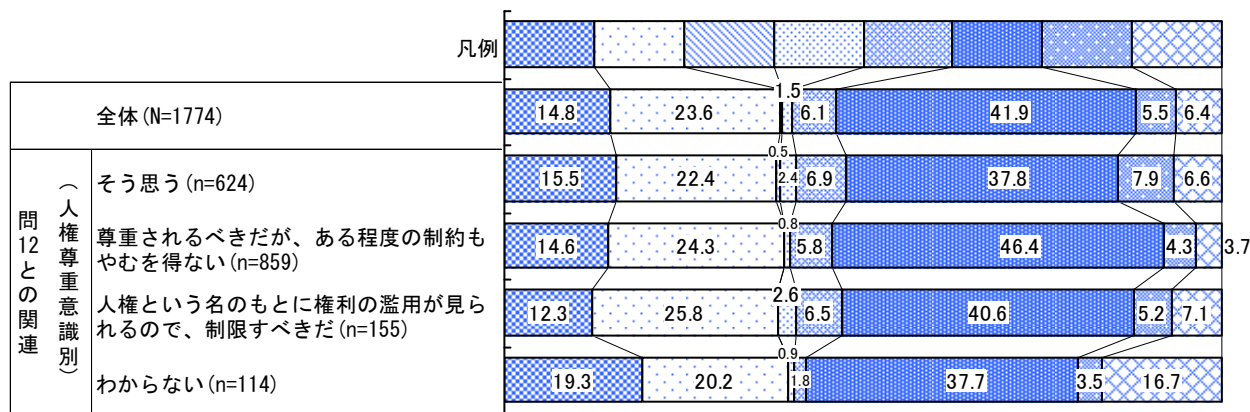
られない。

《職業別》では、「公務員、教員」で「そのようなページは無視する」が4割近くを占め、「民間企業・団体（100人以上）」で「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」が2割を超え、他の職業に比べ多くなっている。

【問27と問12との関連】

問27. インターネット上での人権侵害について (%)

- 自分とかかわりがなければ、特に何もしない
- そのようなページは無視する
- ▨ 自分も同じような内容で書き込みをする
- ▩ 反対意見を書き込む
- プロバイダ又は関係機関に知らせる
- いけないと思うが対処の仕方が分からない
- その他
- 無回答

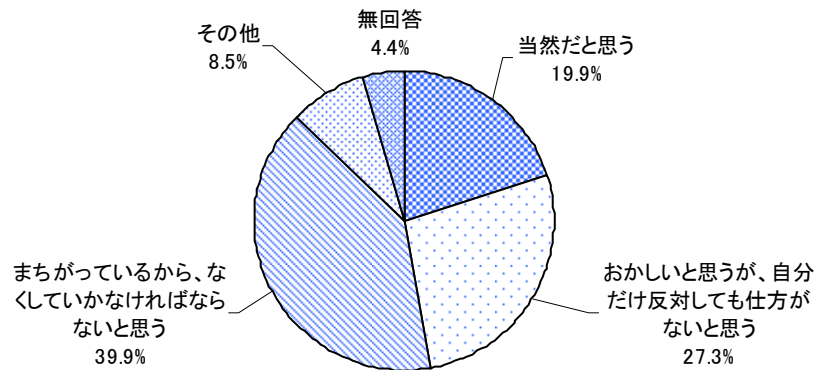


問12《人権尊重意識別》との関連では、大きな差はみられない。

19. 結婚時の家柄や血筋の問題について

問 28. 結婚相手を決める時、家柄とか血筋を問題にする風習について、あなたはどのように思いますか。(○印1つ)

問28. 結婚時の家柄や血筋の問題について (%)
全体 (N=1774)

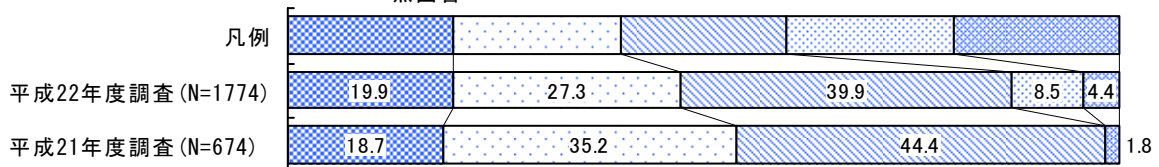


結婚時の家柄や血筋の問題については、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が 39.9%と最も多く、次いで「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」(27.3%)、「当然だと思う」(19.9%)の順となっている。

【時系列比較】

問28. 結婚時の家柄や血筋の問題について (%) 時系列比較

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他 (※)
- 無回答



※ 平成21年度調査(甚目寺町)は「その他」の項目なし

平成 21 年度調査に比べ「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が減少している。

【基本属性別】

問28. 結婚時の家柄や血筋の問題について (%)

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- ▨ まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他
- 無回答

凡例		当然だと思う	おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う	まちがっているから、なくしていかなければならないと思う	その他	無回答	
全体 (N=1774)		19.9	27.3	39.9	8.5		4.4
性別	男性 (n=799)	19.1	24.8	44.2	7.8		4.1
	女性 (n=962)	20.5	29.4	36.4	9.1		4.6
性・年齢別	男性20～29歳 (n=55)	18.2	27.3	41.8	10.9		1.8
	30～39歳 (n=108)	11.1	30.6	41.7	14.8		1.9
	40～49歳 (n=116)	13.8	29.3	41.4	13.8		1.7
	50～59歳 (n=123)	19.5	27.6	43.1	5.7	4.1	
	60～69歳 (n=214)	18.7	21.5	51.9	2.8	5.1	
	70歳以上 (n=181)	28.2	19.9	39.8	5.5	6.6	
	女性20～29歳 (n=76)	11.8	38.2	40.8	6.6		2.6
	30～39歳 (n=166)	15.7	32.5	34.3	14.5		3.0
	40～49歳 (n=172)	18.6	30.2	34.3	14.5		2.3
	50～59歳 (n=144)	20.8	24.3	39.6	9.7	5.6	
	60～69歳 (n=233)	21.5	31.3	38.6	5.2		3.4
	70歳以上 (n=165)	29.1	23.6	32.1	4.8	10.3	
居住地別	旧七宝町 (n=504)	21.0	24.6	40.1	10.3		4.0
	旧美和町 (n=512)	22.1	31.4	33.6	7.2	5.7	
	旧基目寺町 (n=637)	18.4	25.4	45.5	6.9		3.8
職業別	自営業、経営者、役員 (n=242)	26.9	23.1	36.4	10.7		2.9
	公務員、教員 (n=59)	15.3	18.6	52.5	11.9		1.7
	民間企業・団体 (100人未満) (n=180)	12.2	31.1	40.6	12.8		3.3
	民間企業・団体 (100人以上) (n=230)	15.7	27.8	45.2	9.1		2.2
	臨時雇、パート、派遣 (n=264)	18.2	30.7	39.0	8.3		3.8
	その他の有業者 (n=20)	5.0	35.0	40.0	15.0	5.0	
	家事専業 (n=366)	19.9	29.5	39.3	6.3	4.9	
	学生、無職 (n=374)	23.8	24.3	39.6	5.6	6.7	
その他 (n=21)	19.0	23.8	23.8	19.0	14.3		
未既婚別	既婚 (n=1309)	20.7	26.8	40.1	8.3		4.1
	離死別 (n=199)	19.1	25.6	41.2	4.5	9.5	
	未婚 (n=218)	14.7	28.9	39.4	14.7		2.3

《性別》では、女性に比べ男性で「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」がやや多くなっている。

《性・年齢別》では、女性は年齢が上がるにつれ「当然だと思う」が多くなる傾向にあり、男性も

30歳以上で年齢が上がるにつれ「当然だと思う」が多くなる傾向にある。また、男性60歳代で「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が過半数を占めている。

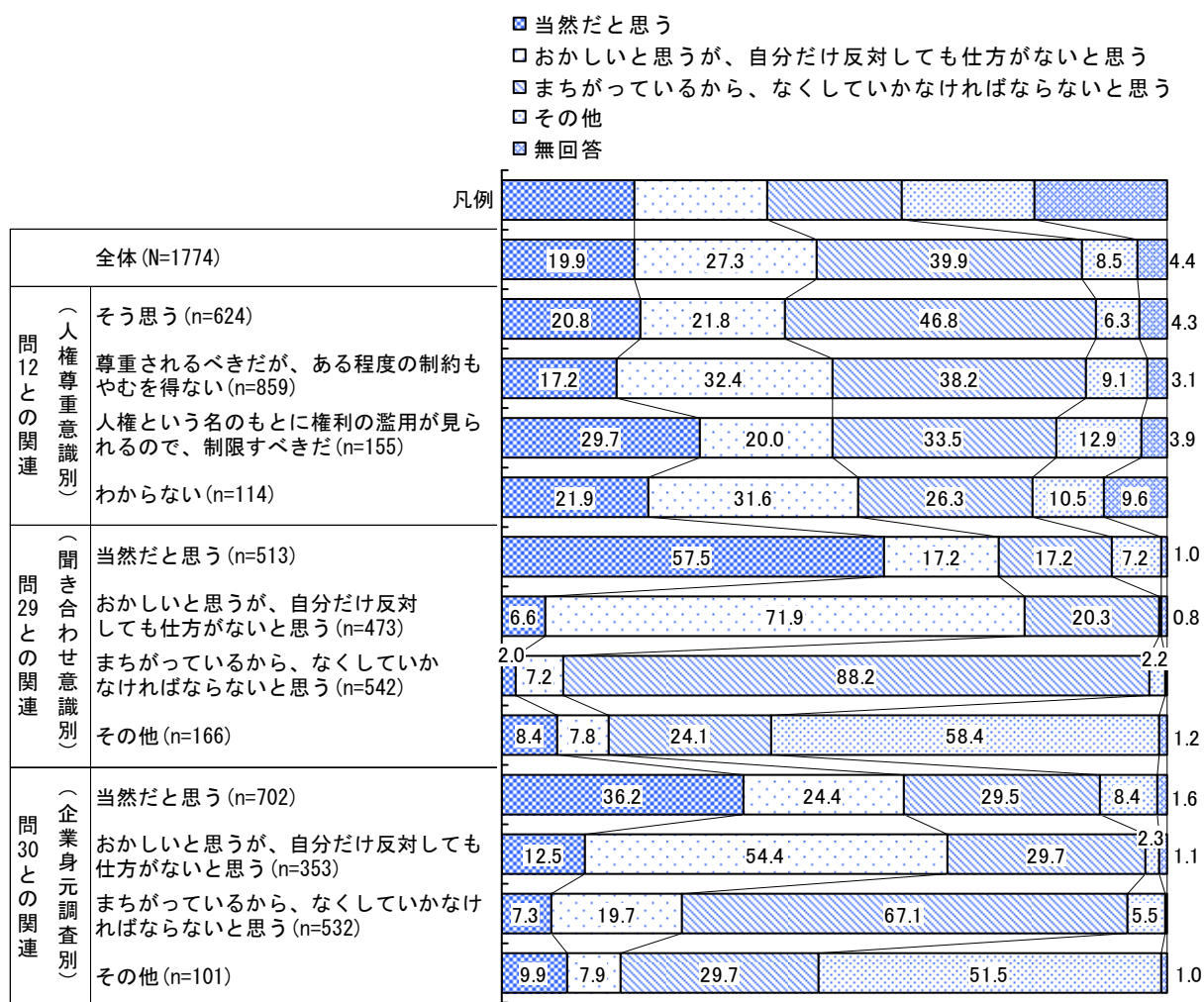
《居住地別》では、「旧甚目寺町」で「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が45.5%で、他の居住地に比べやや多くなっている。

《職業別》では、「自営業、経営者、役員」で「当然だと思う」が26.9%と、他の職業に比べ多くなっている。

《未婚婚別》では、大きな差はみられない。

【問28と問12、問29、問30との関連】

問28 結婚時の家柄や血筋の問題について (%)



問12《人権尊重意識別》との関連では、「人権という名のもとに権利の濫用が見られるので、制限すべきだ」で「当然だと思う」が他の層に比べ多くなっている。

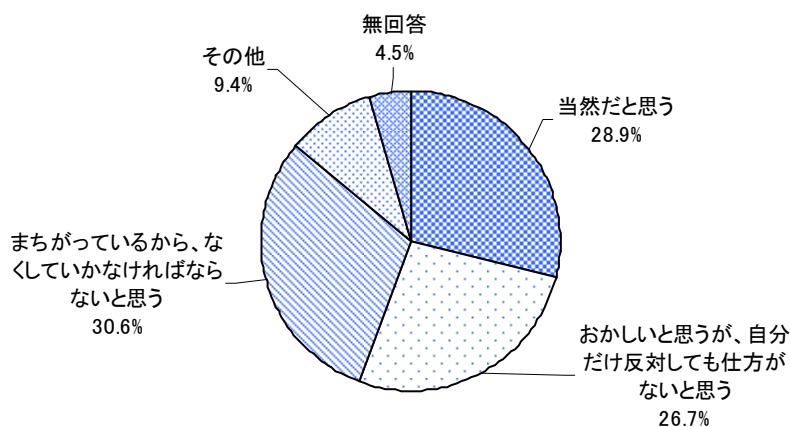
問29《聞き合わせ意識別》との関連では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」で「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が約9割を占め、他の層を大きく上回っている。

問30《企業身元調査別》との関連では、「当然だと思う」で「当然だと思う」が他の層に比べ多くなっている。これらの結果から、結婚時の家柄や血筋の問題について「当然だと思う」層では、聞き合わせ意識や企業身元調査で、「当然だと思う」割合が高くなる傾向にある。

20. 結婚時の家柄や家族状況を調べることについて

問 29. 結婚にあたり家柄や家族状況を調べること（聞き合わせ）について、あなたはどのように
 思いますか。（○印1つ）

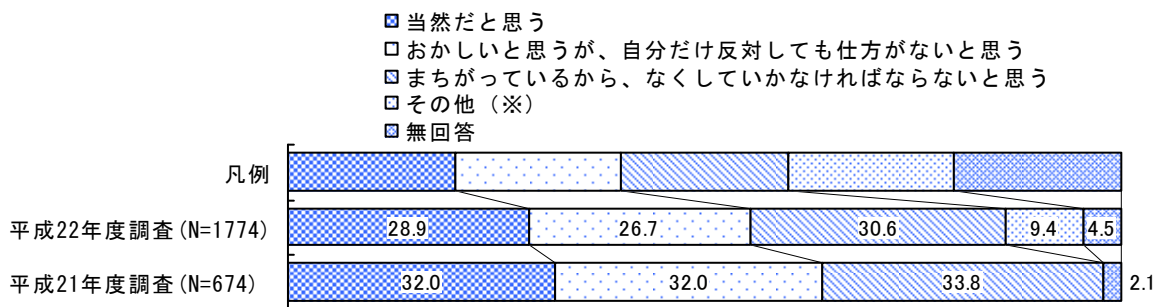
問29. 結婚時の家柄や家族状況を調べることについて（%）
 全体(N=1774)



結婚時の家柄や家族状況を調べることについては、「まちがっているから、なくしていかねばならないと思う」が 30.6%と最も多く、次いで「当然だと思う」(28.9%)、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」(26.7%) の順となっている。

【時系列比較】

問29. 結婚時の家柄や家族状況を調べることについて（%）時系列比較



※ 平成21年度調査(甚目寺町)は「その他」の項目なし

平成 21 年度調査に比べ「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」「まちがっているから、なくしていかねばならないと思う」が減少している。

【基本属性別】

問29. 結婚時の家柄や家族状況を調べることにについて (%)

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他
- 無回答

		凡例				
		当然だと思う	おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う	まちがっているから、なくしていかなければならないと思う	その他	無回答
全体 (N=1774)		28.9	26.7	30.6	9.4	4.5
性別	男性 (n=799)	31.2	24.3	32.2	7.9	4.5
	女性 (n=962)	27.2	28.7	29.1	10.6	4.4
性・年齢別	男性20～29歳 (n=55)	29.1	25.5	30.9	12.7	1.8
	30～39歳 (n=108)	25.9	27.8	28.7	15.7	1.9
	40～49歳 (n=116)	24.1	28.4	36.2	10.3	0.9
	50～59歳 (n=123)	22.0	32.5	34.1	6.5	4.9
	60～69歳 (n=214)	33.6	21.0	35.0	4.7	5.6
	70歳以上 (n=181)	43.1	17.7	27.1	4.4	7.7
	女性20～29歳 (n=76)	32.9	35.5	23.7	6.6	1.3
	30～39歳 (n=166)	19.9	28.9	32.5	15.7	3.0
	40～49歳 (n=172)	25.6	26.2	29.7	15.7	2.9
	50～59歳 (n=144)	25.7	27.8	30.6	11.1	4.9
	60～69歳 (n=233)	27.9	30.9	30.5	7.3	3.4
	70歳以上 (n=165)	33.9	26.1	23.6	6.7	9.7
居住地別	旧七宝町 (n=504)	29.8	25.6	28.6	11.5	4.6
	旧美和町 (n=512)	30.9	29.5	25.8	7.0	6.8
	旧甚目寺町 (n=637)	27.5	25.6	35.9	8.3	2.7
職業別	自営業、経営者、役員 (n=242)	34.7	22.3	28.1	11.6	3.3
	公務員、教員 (n=59)	16.9	27.1	35.6	18.6	1.7
	民間企業・団体 (100人未満) (n=180)	22.8	28.9	32.2	12.8	3.3
	民間企業・団体 (100人以上) (n=230)	25.7	27.8	35.7	8.3	2.6
	臨時雇、パート、派遣 (n=264)	28.4	28.0	29.5	10.6	3.4
	その他の有業者 (n=20)	20.0	30.0	35.0	15.0	
	家事専業 (n=366)	26.2	31.4	29.0	8.7	4.6
	学生、無職 (n=374)	34.5	22.7	30.2	5.1	7.5
	その他 (n=21)	33.3	19.0	28.6	4.8	14.3
未既婚別	既婚 (n=1309)	29.0	26.3	30.9	9.5	4.4
	離死別 (n=199)	28.6	25.1	30.2	6.5	9.5
	未婚 (n=218)	30.7	27.1	28.9	11.9	1.4

《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性は70歳以上で「当然だと思う」が4割を超え他の年齢層に比べ多く、女性は20歳代、70歳以上で「当然だと思う」は3割を超え、30歳以上で年齢が上がるにつれ多くなる傾向にある。

《居住地別》で見ると、「旧甚目寺町」で「まちがっているから、なくしていかなければならない」と

思う」が3割を超え、他の居住地に比べ多くなっている。

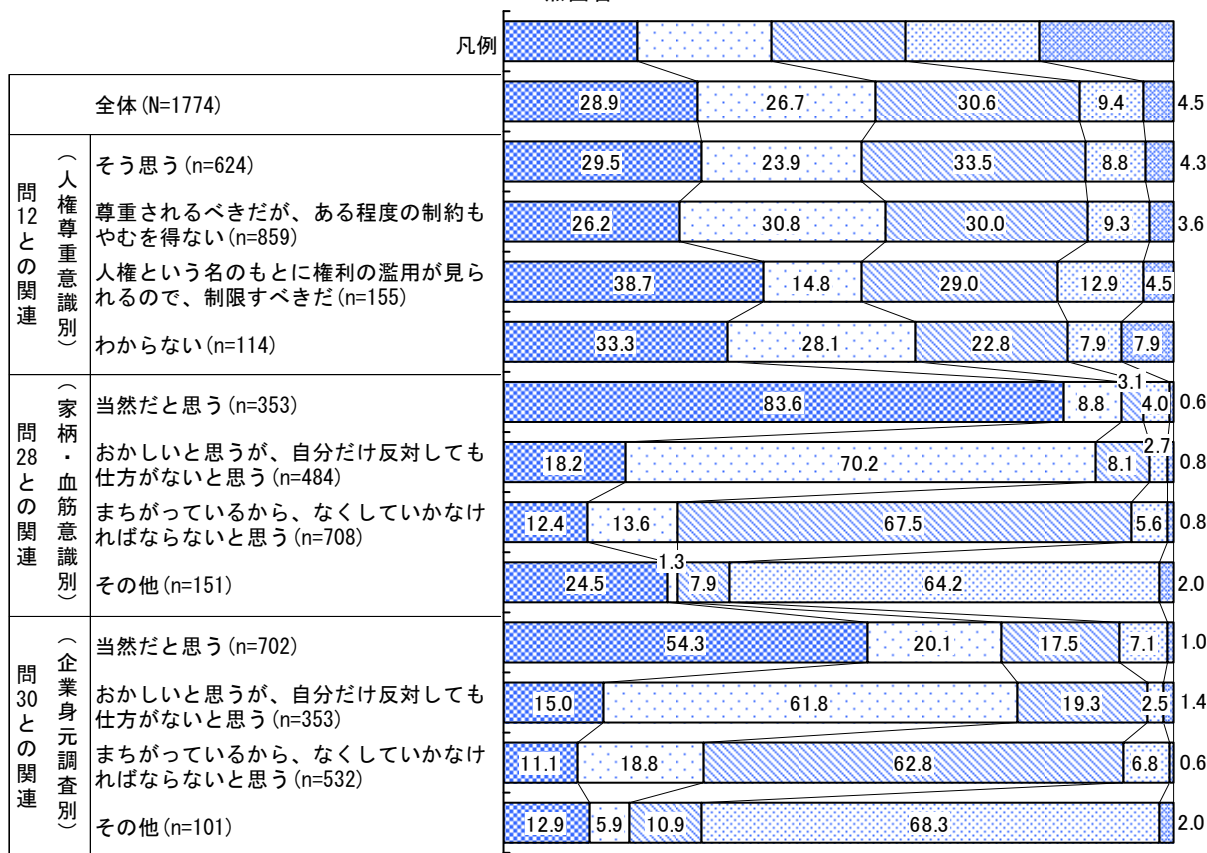
《職業別》では、「自営業、経営者、役員」「学生、無職」で「当然だと思う」が3割を超え、他の職業に比べ多くなっている。

《未婚別》では、大きな差はみられない。

【問29と問12、問28、問30との関連】

問29. 結婚時の家柄や家族状況を調べることについて (%)

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- ▨ まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他
- 無回答



問12《人権尊重意識別》との関連では、「人権という名のもとに権利の濫用が見られるので、制限すべきだ」で「当然だと思う」が他の層に比べ多くなっている。

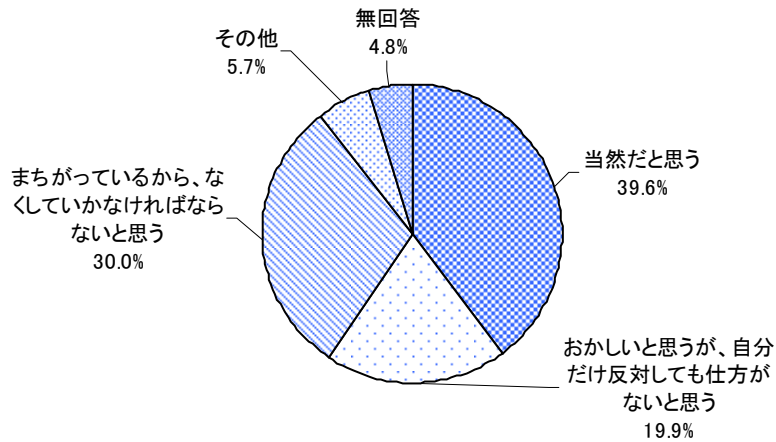
問28《聞き合わせ意識別》との関連では、「当然だと思う」で「当然だと思う」が約8割を超え、他の層を大きく上回っている。

問30《企業身元調査別》との関連では、「当然だと思う」で「当然だと思う」が他の層に比べ多くなっている。

21. 企業の採用選考時の身元調査について

問 30. 企業が採用選考のときに身元調査をすることについて、あなたはどのように思いますか。
 (○印1つ)

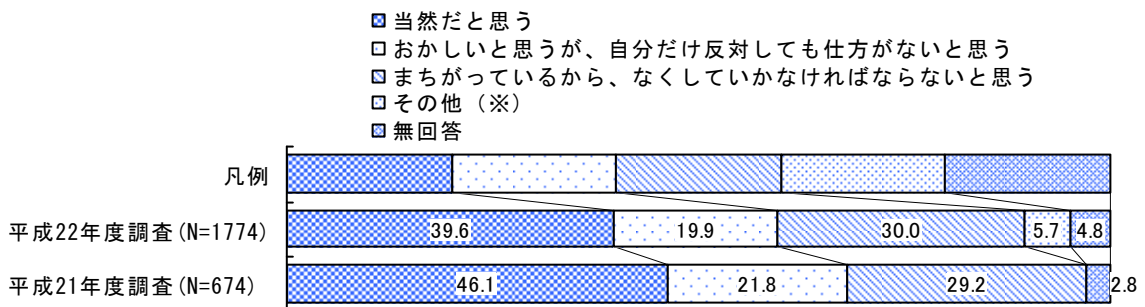
問30. 企業の採用選考時の身元調査について (%)
 全体 (N=1774)



企業の採用選考時の身元調査については、「当然だと思う」が 39.6%と最も多く、次いで「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」(30.0%)、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」(19.9%)の順となっている。

【時系列比較】

問30. 企業の採用選考時の身元調査について (%) 時系列比較



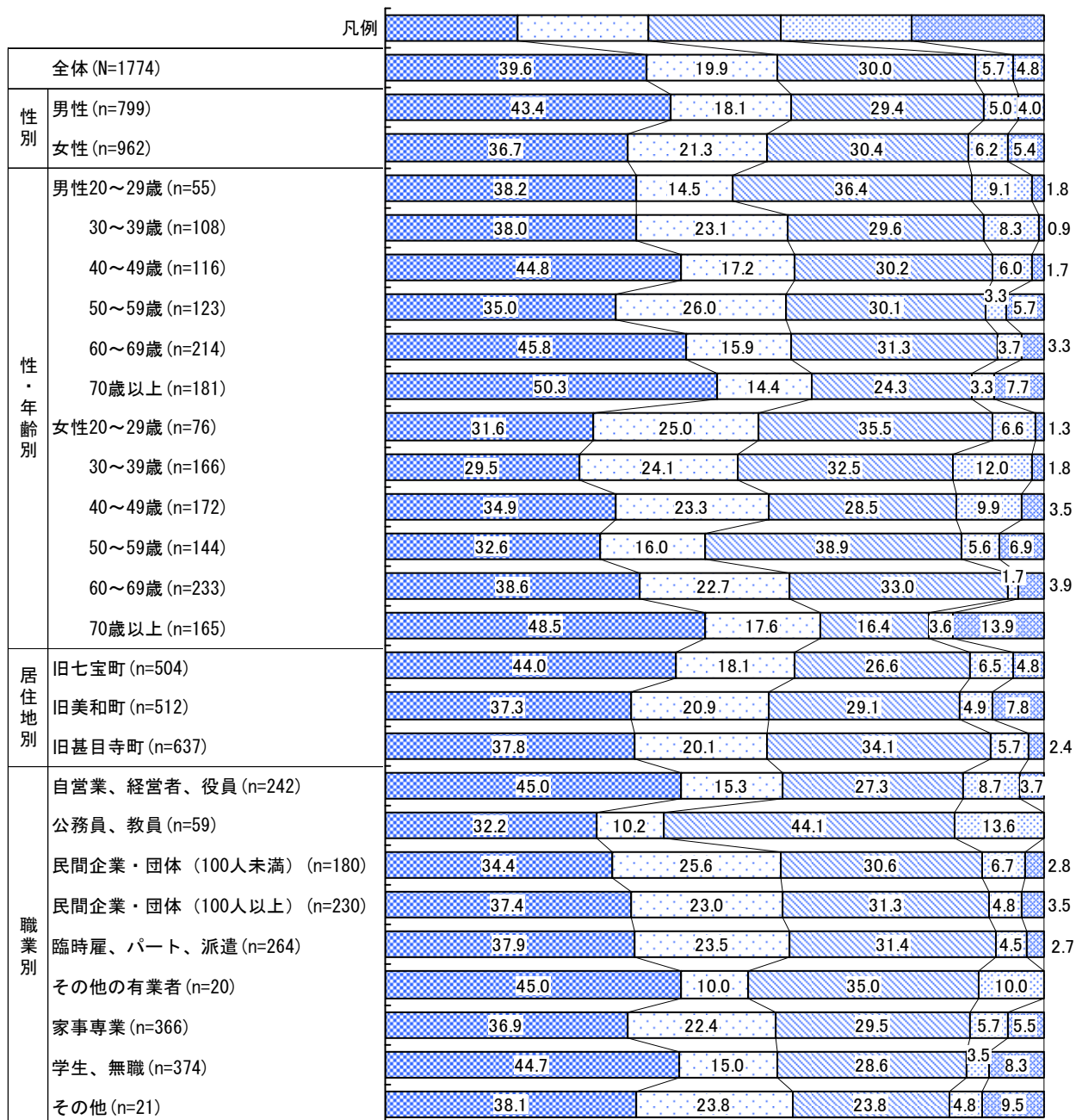
※ 平成21年度調査(甚目寺町)は「その他」の項目なし

平成 21 年度調査に比べ「当然だと思う」が減少している。

【基本属性別】

問30. 企業の採用選考時の身元調査について (%)

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他
- 無回答



《性別》では、女性に比べ男性で「当然だと思う」が多くなっている。

《性・年齢別》では、男女ともに70歳以上で「当然だと思う」が約半数を占め、男性では40歳代、60歳代で4割を超え、他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》で見ると、「旧七宝町」で「当然だと思う」が4割を超え、他の居住地に比べ多くなっている。

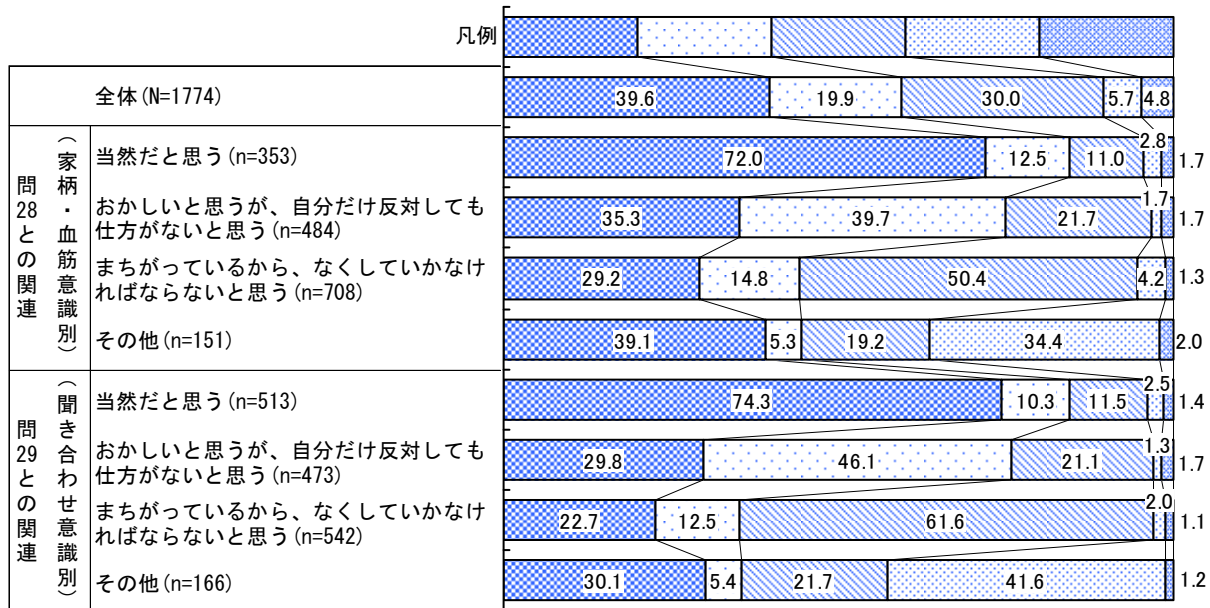
《職業別》では、「自営業、経営者、役員」「その他の有業者」「学生、無職」で「当然だと思う」が

4割を超え、他の職業に比べ多くなっている。

【問30と問28、問29との関連】

問30. 企業の採用選考時の身元調査について (%)

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う
- ▨ まちがっているから、なくしていかねばならないと思う
- ▩ その他
- 無回答



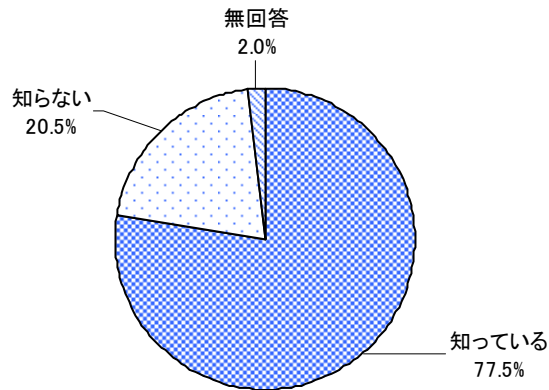
問28《家柄・血筋意識別》との関連をみると、「当然だと思う」で「当然だと思う」が7割を超え、他の層を大きく上回っている。

問29《聞き合わせ意識別》との関連でも、「当然だと思う」で「当然だと思う」が7割を超え、他の層を大きく上回っている。

22. 「同和問題」「部落問題」等の認知

問 31. あなたは、日本の社会に「同和地区」、「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「同和問題」、「部落問題」、「部落差別」といわれる問題があることを知っていますか。(○印1つ)

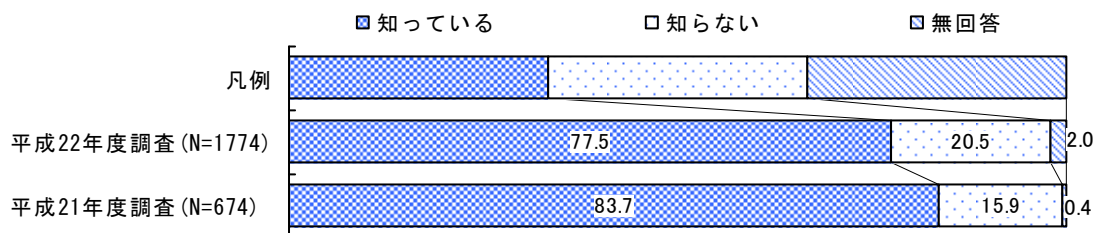
問31. 「同和問題」「部落問題」等の認知 (%)
全体(N=1774)



「同和問題」「部落問題」等の認知については、「知っている」が 77.5%、「知らない」が 20.5%となっている。

【時系列比較】

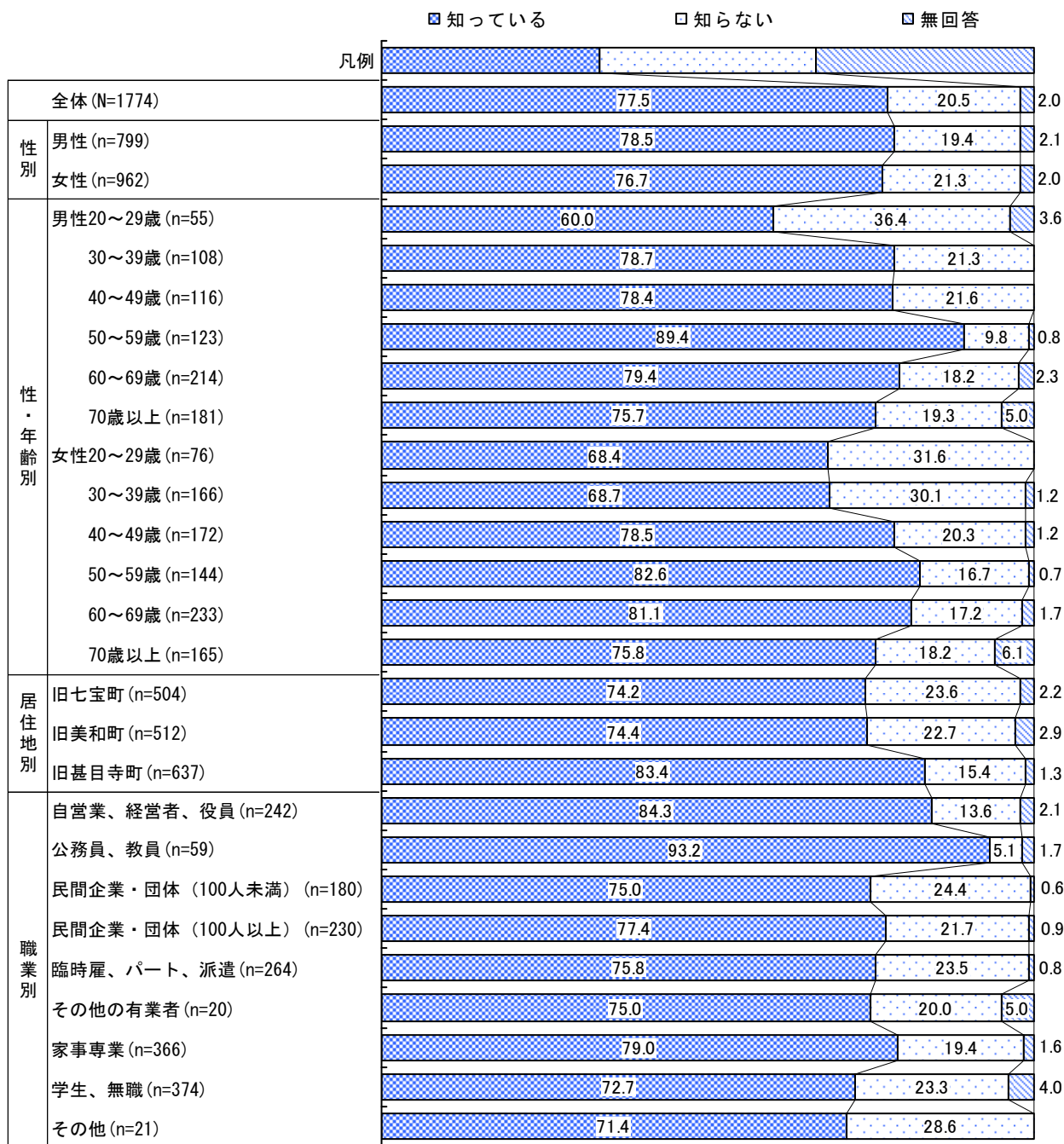
問31. 「同和問題」「部落問題」等の認知 (%) 時系列比較



平成 21 年度調査に比べ「知っている」が減少し、「知らない」が増加している。

【基本属性別】

問31. 「同和問題」「部落問題」等の認知（％）

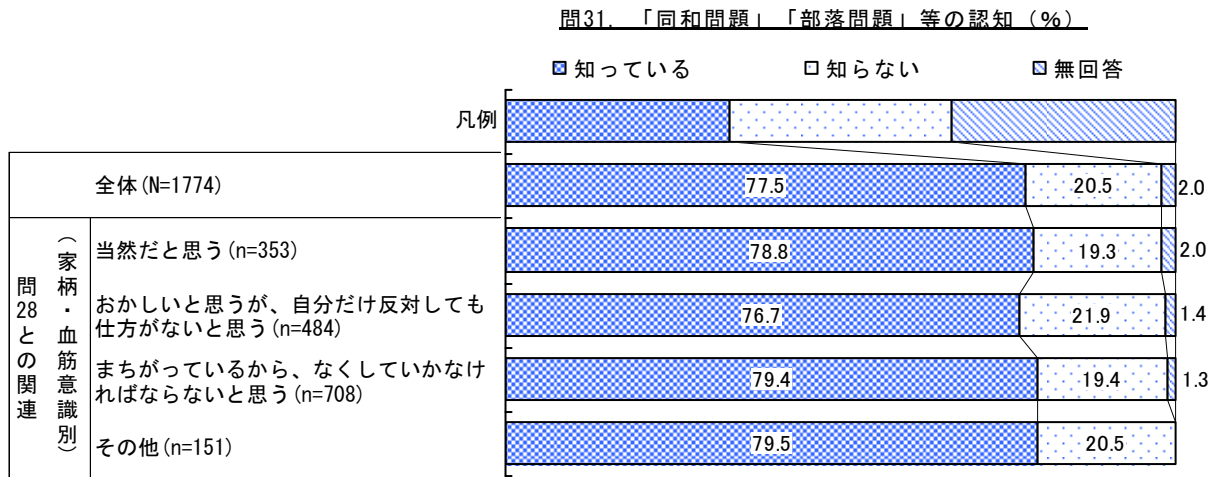


《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性 50 歳代、女性 50～60 歳代で「知っている」が 8 割を超え、多くなっている。

《居住地別》では、「旧甚目寺町」で「知っている」が 8 割を超え、他の居住地に比べ多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」で「知っている」が 9 割を超え、他の職業に比べ多くなっている。

【問 31 と問 28 との関連】

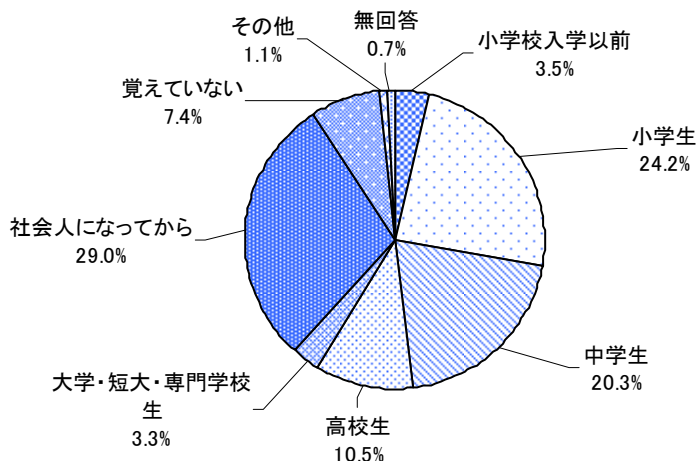


問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では大きな差はみられない。

23. 同和地区や同和問題について、はじめて知った時期

問 32. (問 31 で「1. 知っている」と回答した方に) あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったのはいつ頃ですか。(○印1つ)

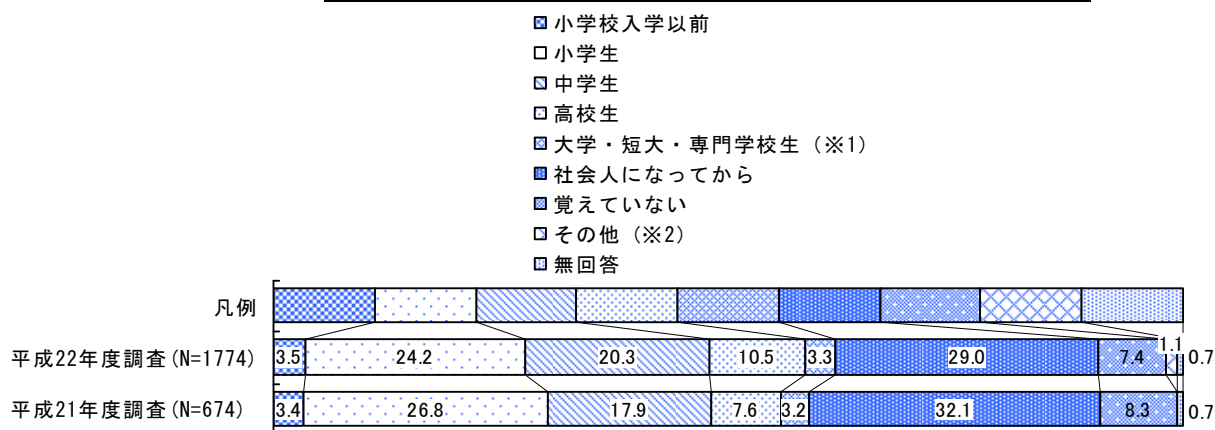
問32. 同和地区や同和問題について、はじめて知った時期 (%)
全体 (n=1375)



同和地区や同和問題について、はじめて知った時期については、「社会人になってから」が 29.0% と最も多く、次いで「小学生」(24.2%)、「中学生」(20.3%)、「高校生」(10.5%) の順となっている。

【時系列比較】

問32. 同和地区や同和問題について、はじめて知った時期 (%) 時系列比較

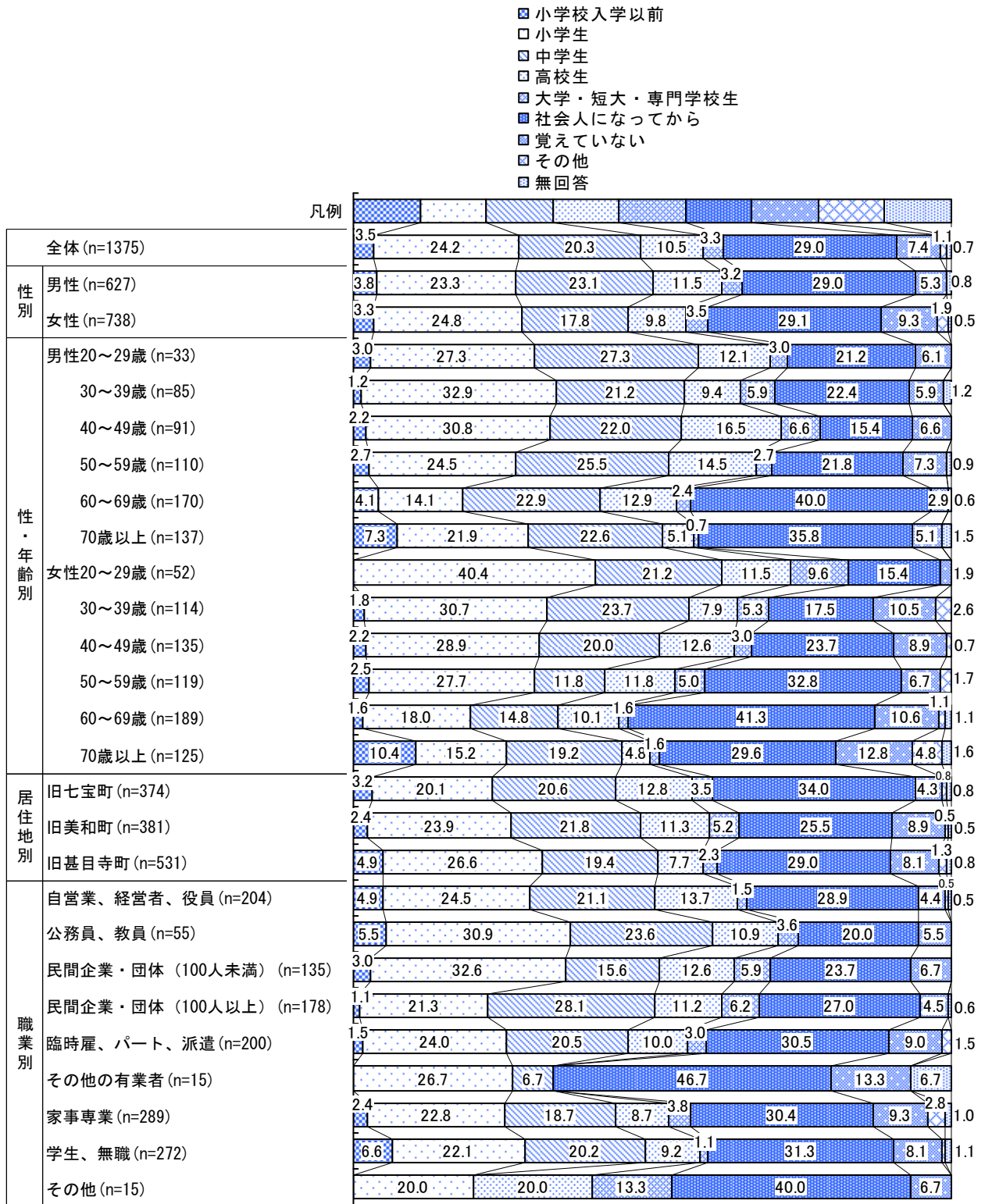


※1 平成21年度調査(基目寺町)は「大学生」
※2 平成21年度調査(基目寺町)は「その他」の項目なし

平成 21 年度調査に比べ「中学生」「高校生」がやや増加し、「小学生」「社会人になってから」がやや減少している。

【基本属性別】

問32. 同和地区や同和問題について、はじめて知った時期（％）



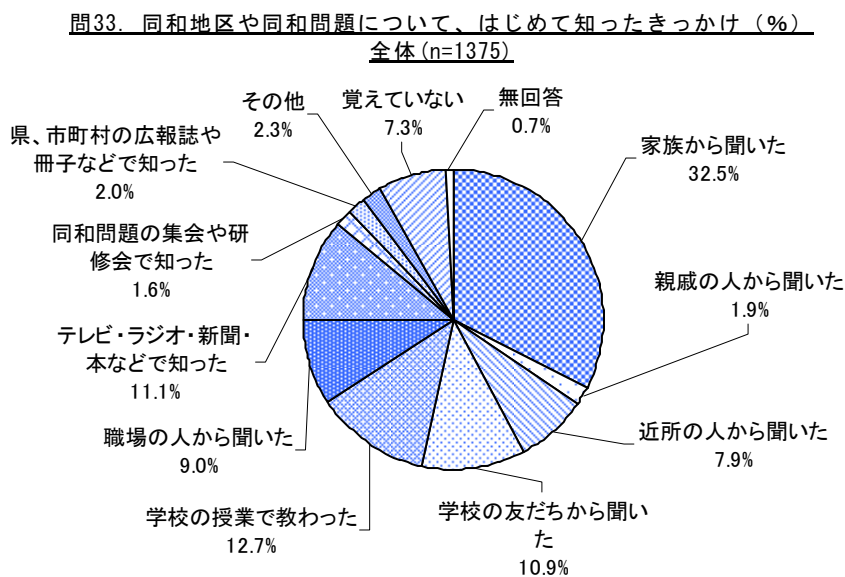
《性別》では、女性に比べ男性で「中学生」がやや多くなっている。

《性・年齢別》では、男女とも60歳代で「社会人になってから」が4割を超え、女性20歳代で「小学生」が4割を超え、それぞれ他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》で見ると、「旧七宝町」で「社会人になってから」がやや多くなっている。

24. 同和地区や同和問題について、はじめて知ったきっかけ

問 33. (問 31 で「1. 知っている」と回答した方に) あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったきっかけは何ですか。(○印 1 つ)

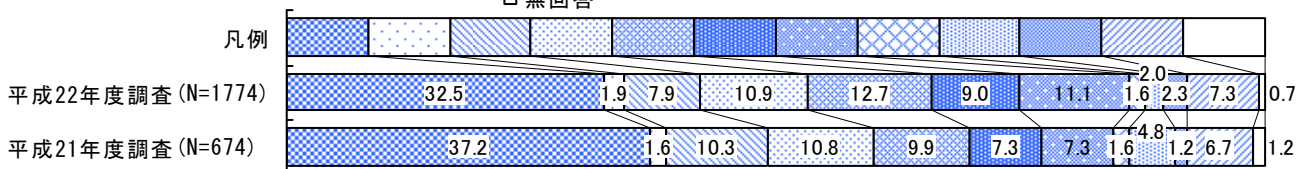


同和地区や同和問題について、はじめて知ったきっかけについては、「家族から聞いた」が 32.5% と最も多く、次いで「学校の授業で教わった」(12.7%)、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」(11.1%)、「学校の友だちから聞いた」(10.9%) の順となっている。

【時系列比較】

問33. 同和地区や同和問題について、はじめて知ったきっかけ (%)
時系列比較

- 家族から聞いた
- 学校の授業で教わった
- テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った
- 学校の友だちから聞いた
- 職場の人から聞いた
- 近所の人から聞いた
- 県、市町村の広報誌や冊子などで知った
- 親戚の人から聞いた
- 同和問題の集会や研修会で知った
- その他
- 覚えていない
- 無回答

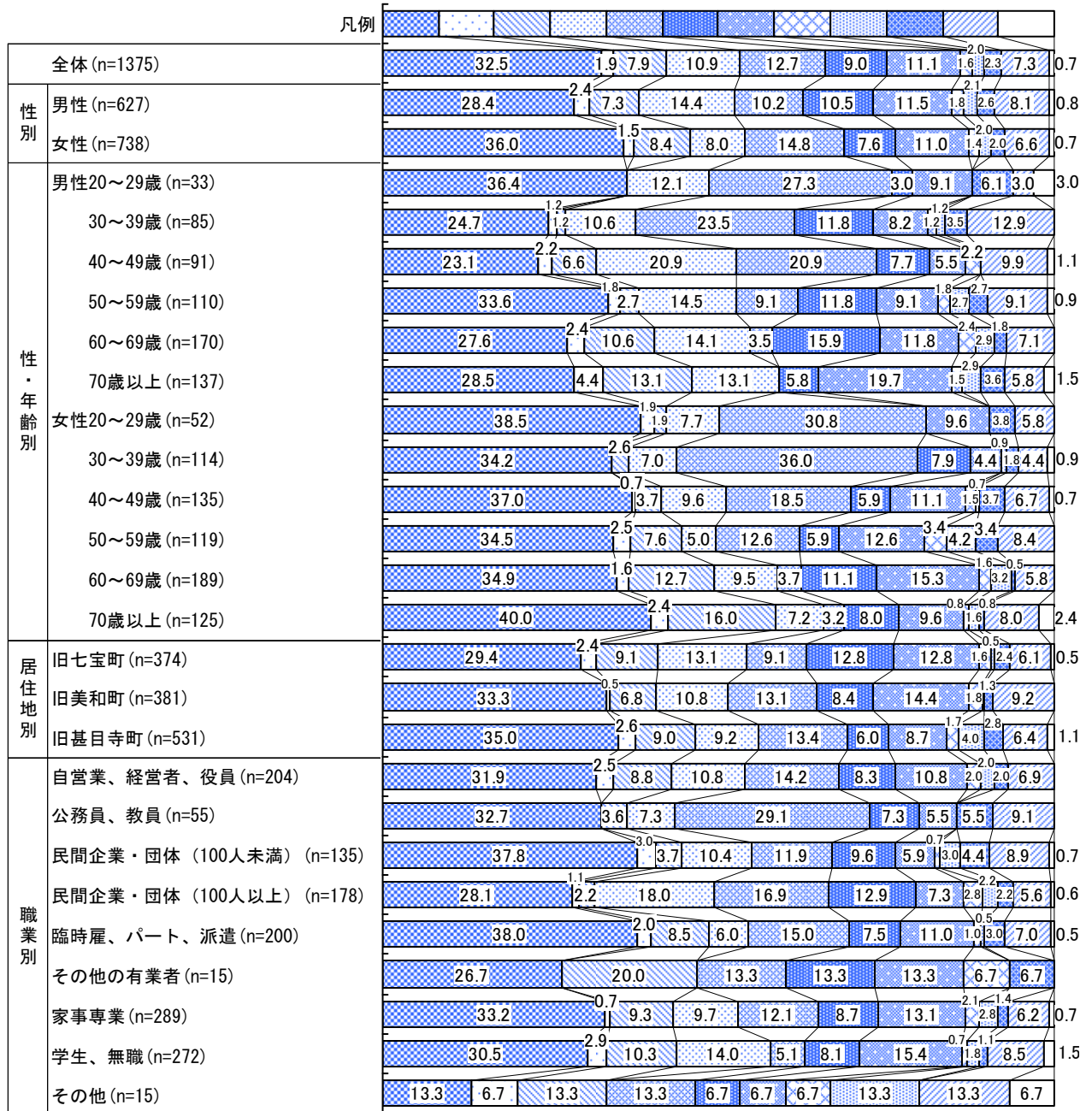


平成 21 年度調査に比べ「家族から聞いた」が減少し、「学校の授業で教わった」「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が増加している。

【基本属性別】

問33 同和地区や同和問題について、
はじめて知ったきっかけ (%)

- 家族から聞いた
- 親戚の人から聞いた
- 近所の人から聞いた
- 学校の友だちから聞いた
- 学校の授業で教わった
- 職場の人から聞いた
- テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った
- 同和問題の集会や研修会で知った
- 県、市町村の広報誌や冊子などで知った
- その他
- 覚えていない
- 無回答



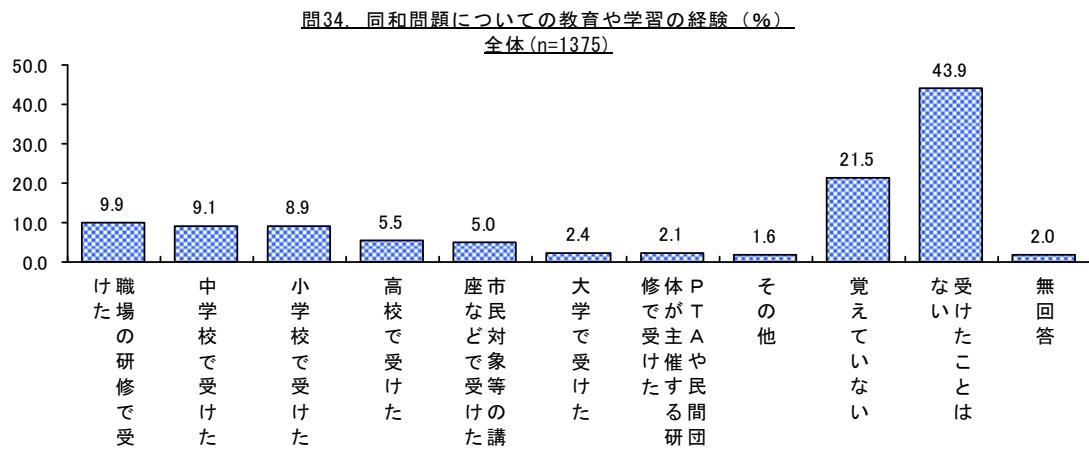
《性別》では、男性に比べ女性で「家族から聞いた」が多くなっている。

《性・年齢別》でみると、女性 30 歳代では「学校の授業で教わった」が「家族から聞いた」を上回り、他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》でみると、「旧七宝町」で「職場の人から聞いた」が他の居住地に比べやや多くなっている。

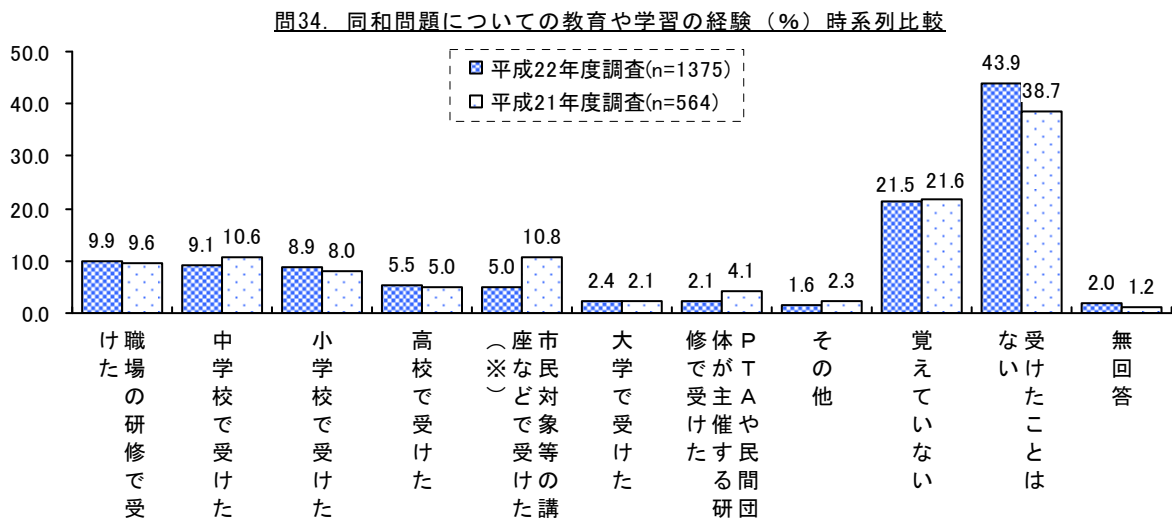
25. 同和問題についての教育や学習の経験

問 34. (問 31 で「1. 知っている」と回答した方に) あなたは、学校、職場及び地域で同和問題についての教育を受けたり、学習したりしたことがありますか。(○印いくつでも)



同和問題についての教育や学習の経験については、「受けたことはない」が 43.9%と最も多く、「覚えていない」も 21.5%みられるが、経験としては「職場での研修で受けた」が 9.9%、次いで「中学校で受けた」(9.1%)、「小学校で受けた」(8.9%)の順となっている。

【時系列比較】



※平成21年度調査(基目寺町)は「町民対象の講座などで受けた」

平成 21 年度調査に比べ「市民対象等の講座などで受けた」が減少し、「受けたことはない」が増加している。

【基本属性別】

問34. 同和問題についての教育や学習の経験

単位：％

		小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	職場の研修で受けた	PTAや民間団体が主催する研修で受けた	市民対象等の講座などで受けた	その他	覚えていない	受けたことはない	無回答
全体(n=1375)		8.9	9.1	5.5	2.4	9.9	2.1	5.0	1.6	21.5	43.9	2.0
性別	男性(n=627)	8.1	8.9	5.1	1.4	12.0	1.3	5.9	2.4	20.3	43.4	2.6
	女性(n=738)	9.5	9.2	5.8	3.3	8.1	2.7	4.3	0.9	22.8	44.3	1.6
性・年齢別	男性20～29歳(n=33)	24.2	24.2	3.0	0.0	6.1	3.0	0.0	3.0	36.4	15.2	0.0
	30～39歳(n=85)	17.6	14.1	5.9	3.5	9.4	1.2	1.2	3.5	22.4	37.6	0.0
	40～49歳(n=91)	14.3	18.7	14.3	4.4	16.5	0.0	7.7	1.1	16.5	31.9	1.1
	50～59歳(n=110)	5.5	10.0	3.6	0.0	10.9	0.9	1.8	1.8	24.5	43.6	2.7
	60～69歳(n=170)	2.9	2.9	2.4	1.2	12.4	1.8	7.6	1.8	17.6	53.5	3.5
	70歳以上(n=137)	2.9	2.2	3.6	0.0	12.4	1.5	10.2	3.6	17.5	48.2	4.4
	女性20～29歳(n=52)	25.0	23.1	11.5	7.7	5.8	0.0	1.9	0.0	28.8	21.2	0.0
	30～39歳(n=114)	21.1	18.4	8.8	8.8	9.6	0.9	0.0	0.9	28.9	26.3	0.0
	40～49歳(n=135)	12.6	11.9	9.6	3.7	11.9	3.7	6.7	0.7	25.9	33.3	0.7
	50～59歳(n=119)	9.2	9.2	5.9	2.5	14.3	5.9	5.9	1.7	21.8	37.8	0.0
60～69歳(n=189)	1.1	3.7	2.1	1.1	4.2	1.6	4.8	1.1	18.5	64.0	1.1	
70歳以上(n=125)	1.6	0.8	2.4	0.0	3.2	3.2	4.8	0.8	18.4	59.2	7.2	
居住地別	旧七宝町(n=374)	4.8	7.5	3.5	1.3	10.4	0.8	3.7	2.4	21.4	50.5	1.1
	旧美和町(n=381)	8.4	8.4	6.6	4.5	9.4	2.1	1.8	0.8	19.2	47.8	2.1
	旧甚目寺町(n=531)	10.5	9.6	6.0	2.1	10.5	3.2	9.0	1.9	23.4	36.0	2.8
職業別	自営業、経営者、役員(n=204)	8.3	10.8	5.4	2.0	3.9	3.9	6.4	0.0	15.2	50.0	2.5
	公務員、教員(n=55)	20.0	23.6	16.4	14.5	41.8	1.8	5.5	7.3	10.9	20.0	1.8
	民間企業・団体(100人未満)(n=135)	14.8	10.4	5.9	0.7	4.4	0.7	3.7	0.7	24.4	47.4	0.7
	民間企業・団体(100人以上)(n=178)	6.2	11.8	6.7	3.4	19.7	0.0	2.2	1.7	27.0	32.0	1.1
	臨時雇、パート、派遣(n=200)	10.0	9.5	5.5	3.5	10.0	1.5	3.5	0.5	23.5	43.0	0.5
	その他の有業者(n=15)	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	40.0	13.3
	家事専業(n=289)	7.6	6.6	4.8	1.0	5.9	3.1	4.5	1.4	22.8	49.1	1.4
	学生、無職(n=272)	5.9	4.8	2.9	1.5	9.9	1.8	8.5	2.9	21.3	45.2	3.3
その他(n=15)	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	53.3	0.0	

《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、「覚えていない」「受けたことはない」が男女各年代ともに多くなっており、経験としては、男女ともに若い年齢層ほど「小学校で受けた」「中学校で受けた」が多い傾向がみられる。

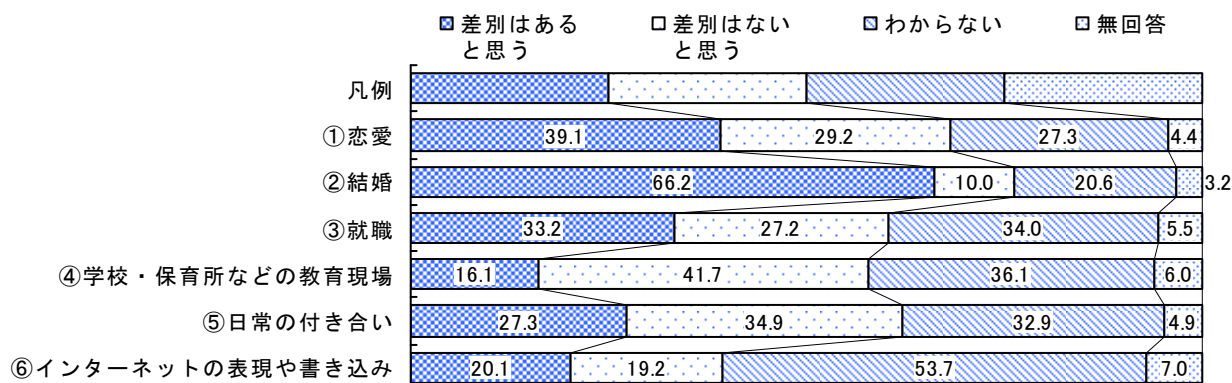
《居住地別》でみると、「覚えていない」「受けたことはない」が「旧七宝町」で最も多く、次いで「旧美和町」、「旧甚目寺町」の順となっている。また、「旧甚目寺町」で「小学校で受けた」「中学校で受けた」が他の居住地に比べやや多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」で「中学校で受けた」「高校で受けた」「大学で受けた」「職場の研修で受けた」、「自営業、経営者、役員」「家事専業」で「受けたことはない」が他の職業に比べ多くなっている。

26. 同和問題・差別問題の有無

問 35. (問 31 で「1. 知っている」と回答した方に) あなたは、次の①～⑥の分野について、今日でも同和問題、部落差別があると思いますか。(○印①～⑥の項目ごとに1つずつ)

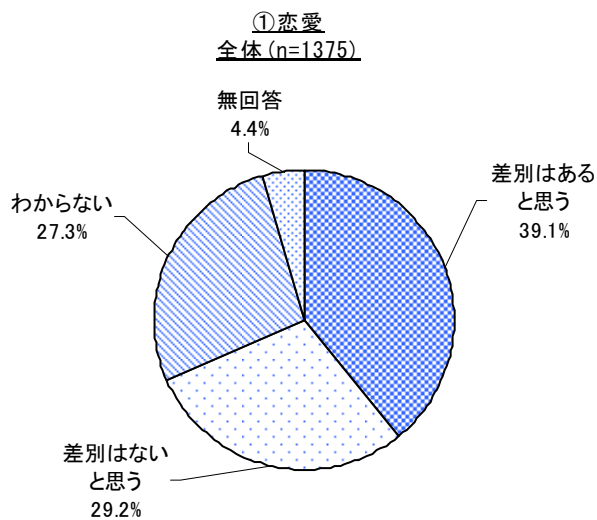
問35. 同和問題・差別問題の有無 (%)



同和問題・差別問題の有無について、「差別はあると思う」をみると「②結婚」で 66.2%と最も多く、次いで「①恋愛」(39.1%)、「③就職」(33.2%)の順となっている。「差別はないと思う」は「④学校・保育所などの教育現場」で 41.7%と最も多くなっている。

(1) 恋愛

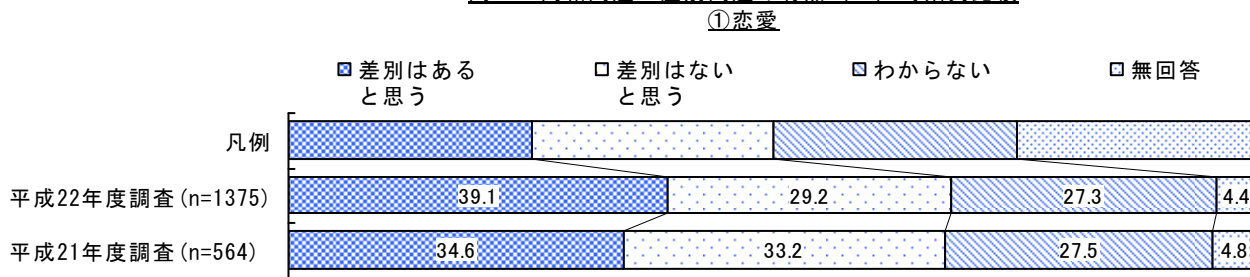
問35. 同和問題・差別問題の有無 (%)



「恋愛」では、「差別はあると思う」が 39.1%と最も多く、次いで「差別はないと思う」(29.2%)、「わからない」(27.3%)の順となっている。

【時系列比較】

問35. 同和問題・差別問題の有無 (%) 時系列比較

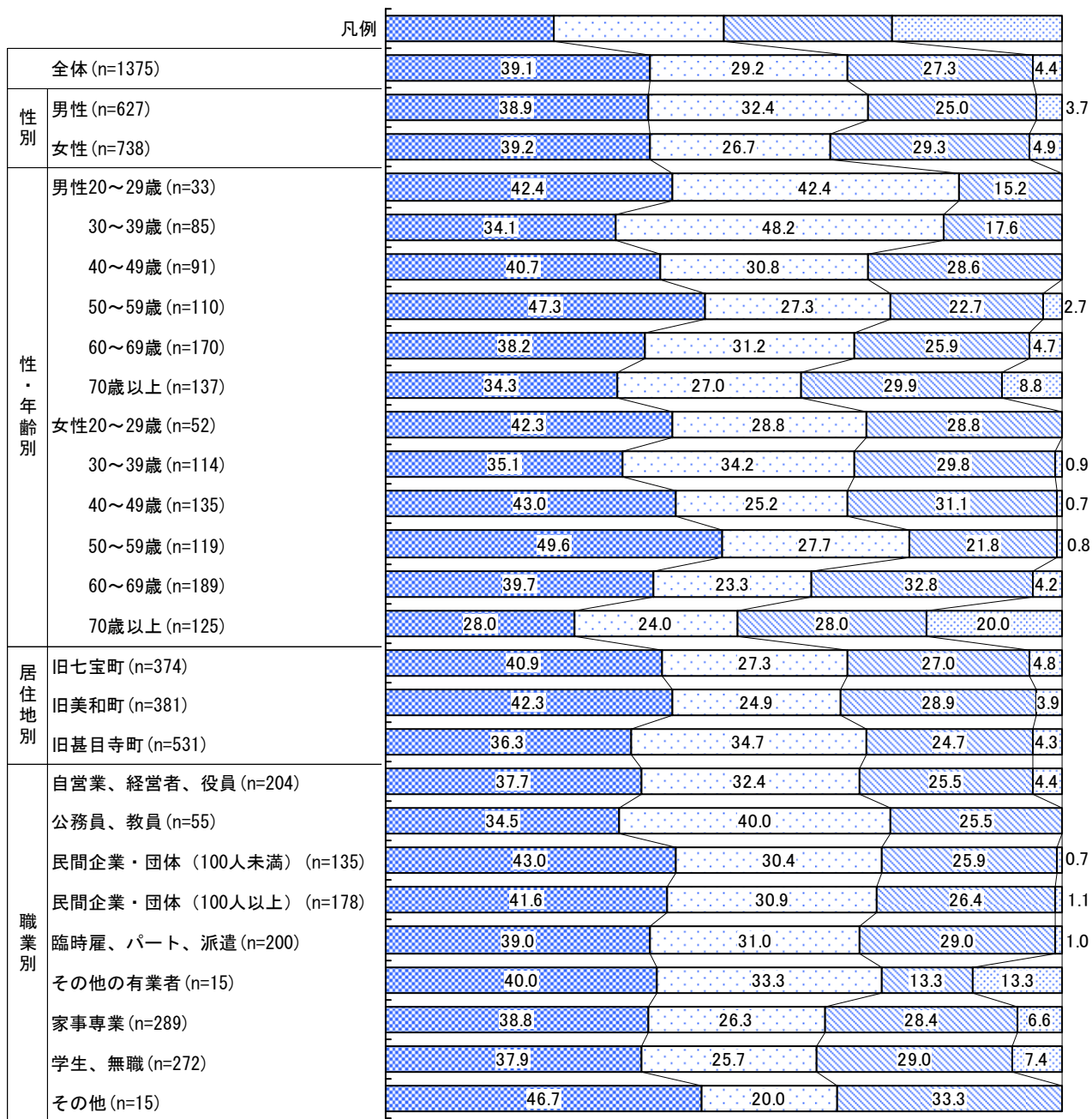


平成21年度調査に比べ「差別はあると思う」が増加し、「差別はないと思う」が減少している。

【基本属性別】

①恋愛

■ 差別はあると思う □ 差別はないと思う ▨ わからない □ 無回答



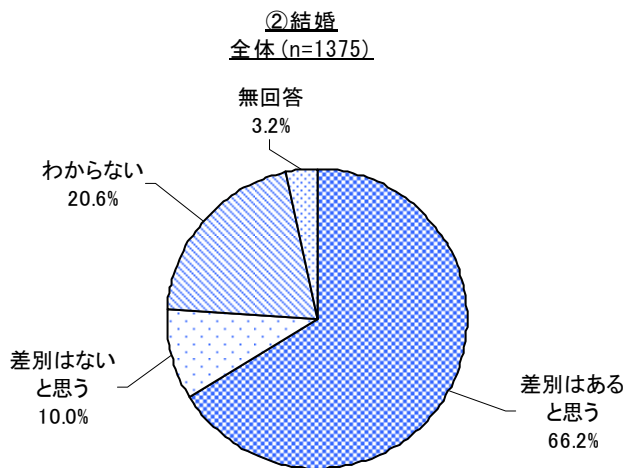
《性別》でみると、女性に比べ男性で「差別はないと思う」がやや多くなっている。

《性・年齢別》では、男女ともに50歳代で「差別はあると思う」、30歳代で「差別はないと思う」が他の年齢層に比べやや多くなっている。

《居住地別》でみると、「旧甚目寺町」で「差別はないと思う」が他の居住地に比べやや多くなっている。

(2) 結婚

問35. 同和問題・差別問題の有無 (%)

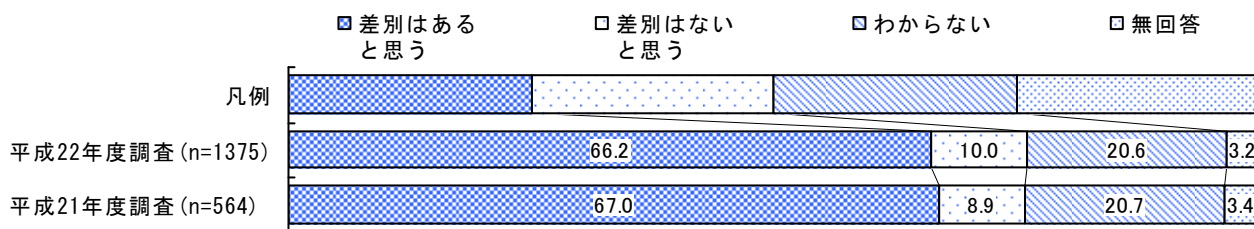


「結婚」では、「差別はあると思う」が 66.2%と最も多く、次いで「わからない」(20.6%)、「差別はないと思う」(10.0%) の順となっている。

【時系列比較】

問35. 同和問題・差別問題の有無 (%) 時系列比較

②結婚

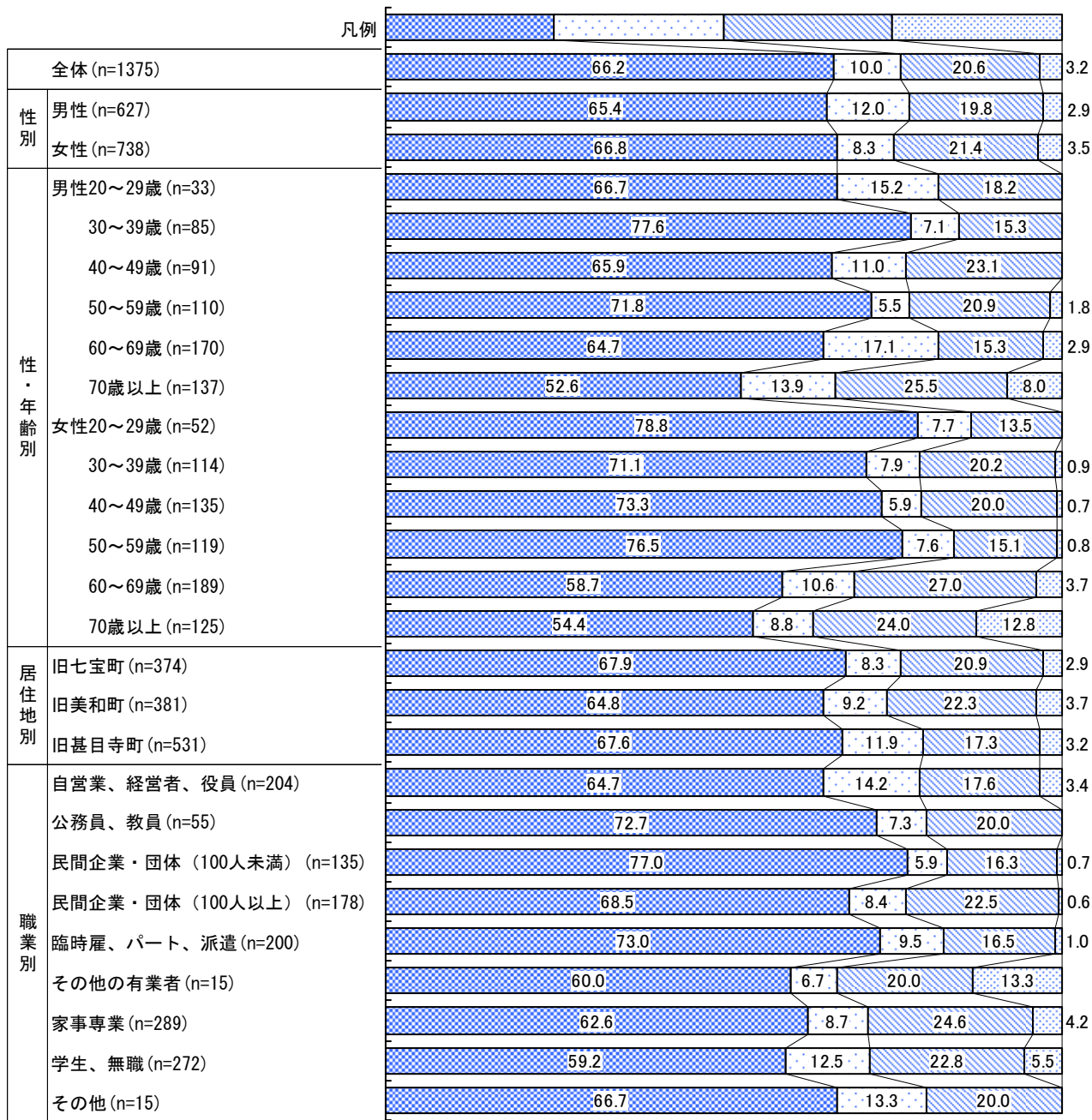


平成 21 年度調査に比べ、「差別はないと思う」がやや増加している。

【基本属性別】

②結婚

■ 差別はあると思う □ 差別はないと思う □ わからない □ 無回答



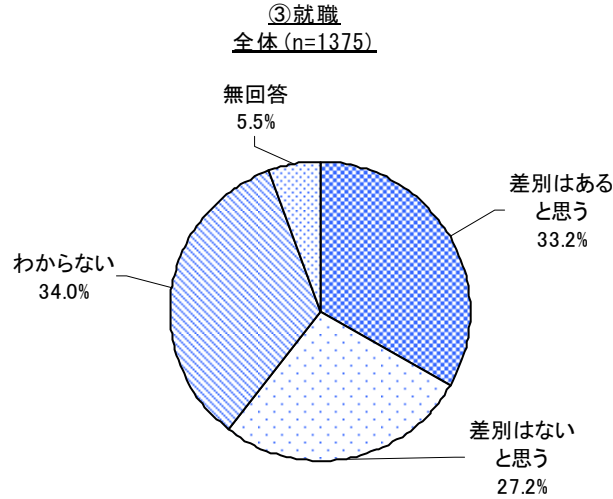
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性は30歳代で「差別はあると思う」が他の年齢層に比べ多く、女性は20歳代で「差別はあると思う」が他の年齢層に比べやや多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられない。

《職業別》では、「民間企業・団体（100人未満）」で「差別はあると思う」が他の職業に比べやや多くなっている。

(3) 就職

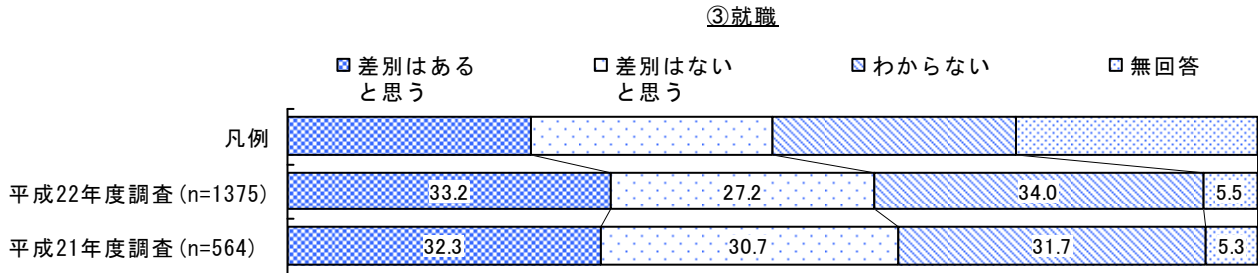
問35. 同和問題・差別問題の有無 (%)



「就職」では、「わからない」が 34.0%と最も多く、次いで「差別はあると思う」(33.2%)、「差別はないと思う」(27.2%) の順となっている。

【時系列比較】

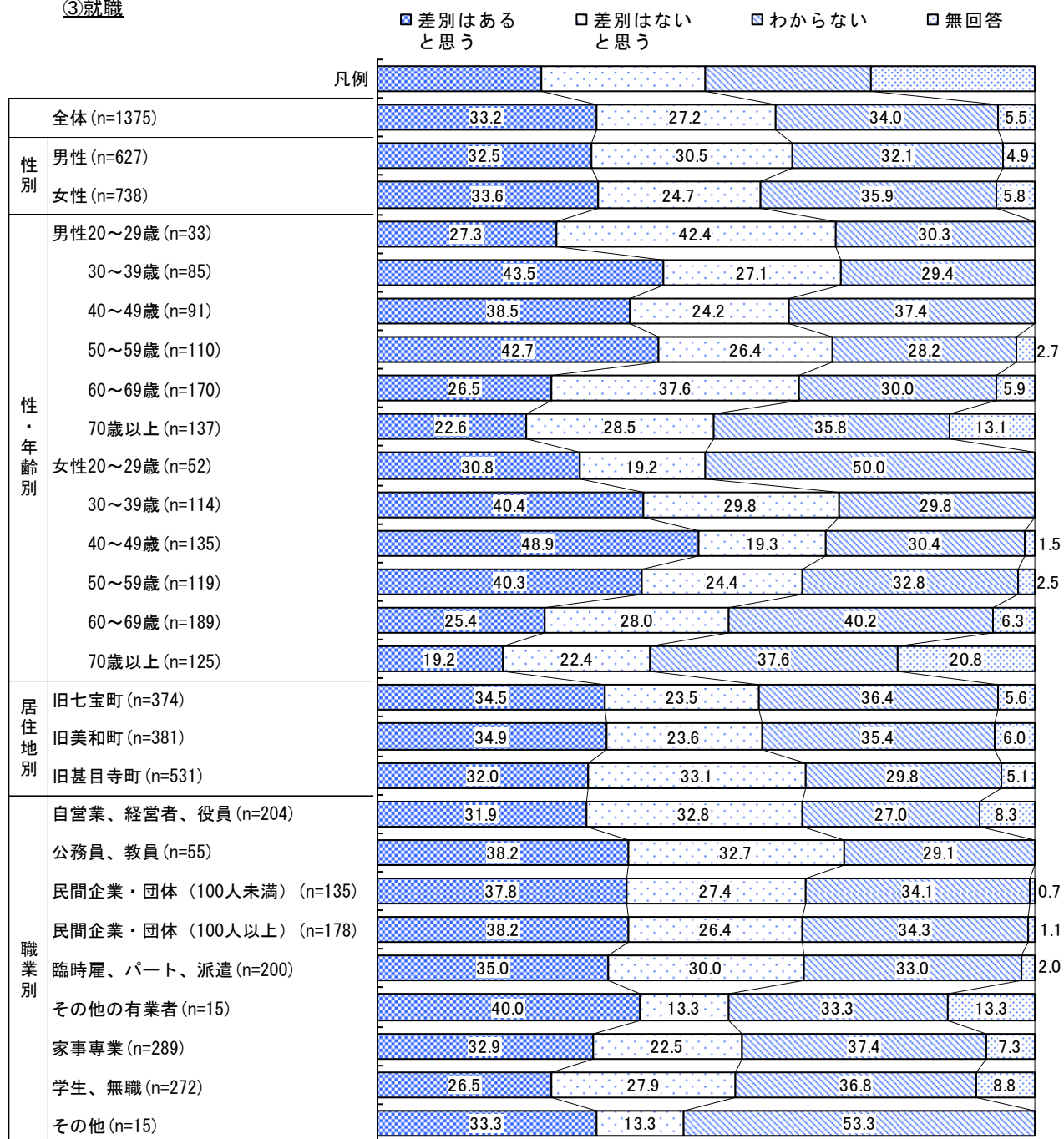
問35. 同和問題・差別問題の有無 (%) 時系列比較



平成 21 年度調査に比べ、「差別はないと思う」がやや減少し、「わからない」が増加している。

【基本属性別】

③就職



《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性は20歳代で「差別はないと思う」、女性は40歳代で「差別はあると思う」が他の年齢層に比べ多くなっている。

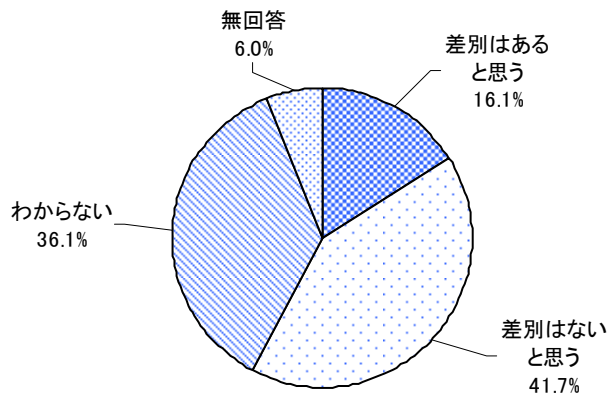
《居住地別》でみると、「旧甚目寺町」で「差別はないと思う」が他の居住地に比べ多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」「民間企業・団体 (100人未満)」「民間企業・団体 (100人以上)」で「差別はあると思う」が約4割となっており、他の職業に比べやや多くなっている。

(4) 学校・保育所などの教育現場

問35. 同和問題・差別問題の有無 (%)

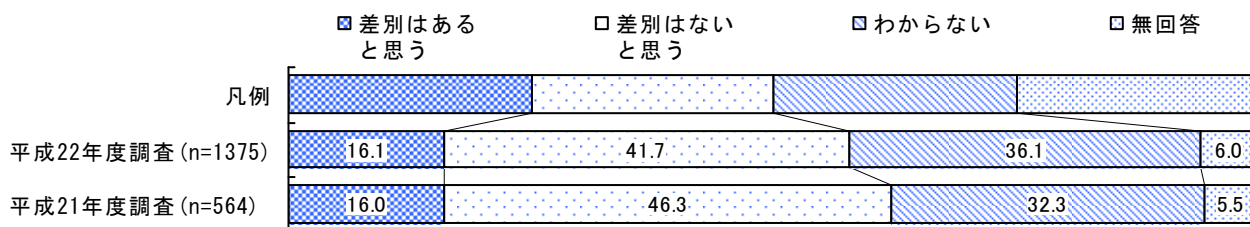
④学校・保育所などの教育現場
全体 (n=1375)



「学校・保育所などの教育現場」では、「差別はないと思う」が 41.7%と最も多く、次いで「わからない」(36.1%)、「差別はあると思う」(16.1%)の順となっている。

【時系列比較】

問35. 同和問題・差別問題の有無 (%) 時系列比較
④学校・保育所などの教育現場

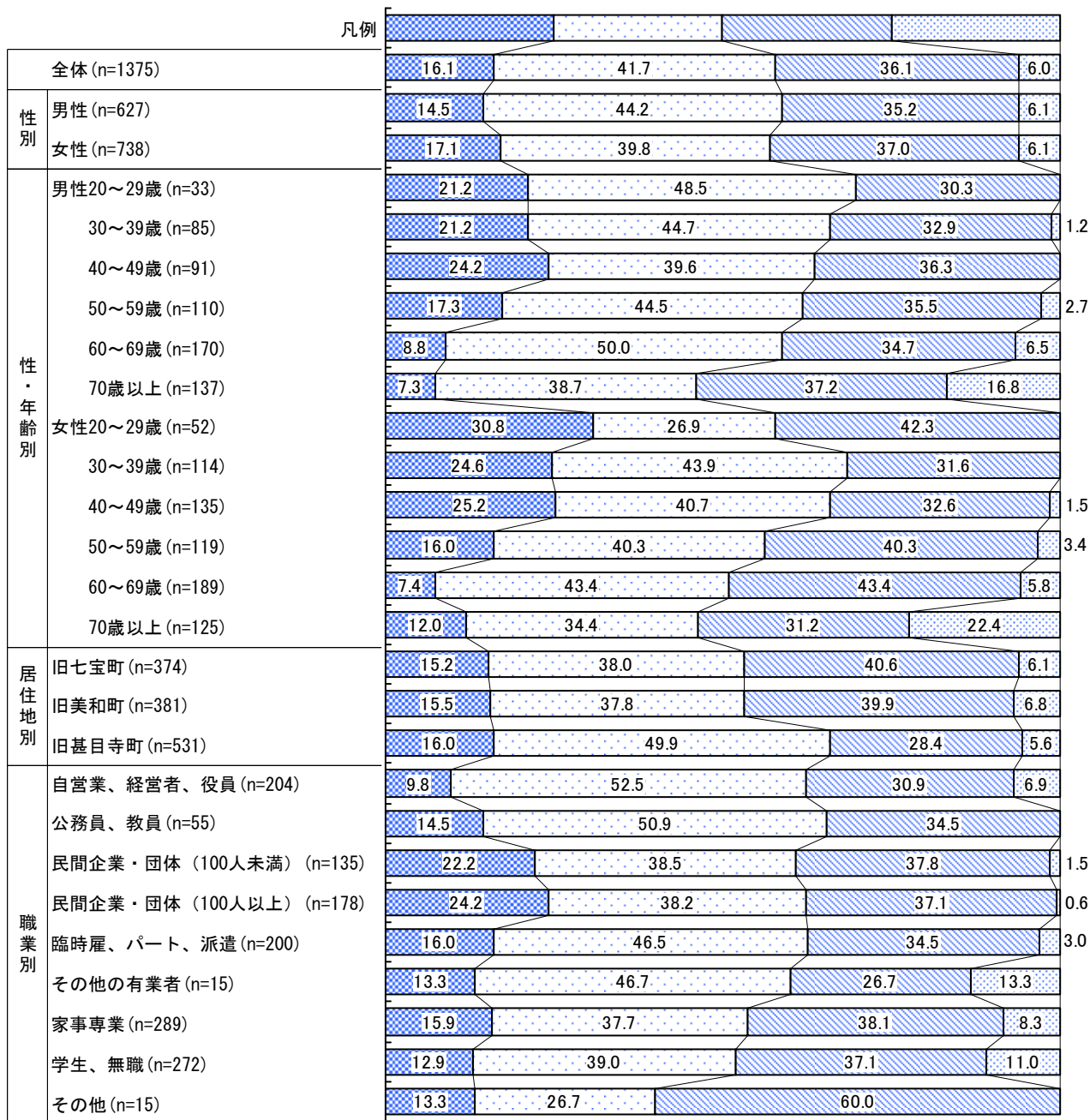


平成 21 年度調査に比べ、「差別はないと思う」が減少し、「わからない」が増加している。

【基本属性別】

④学校・保育所などの教育現場

■ 差別はあると思う □ 差別はないと思う ▨ わからない □ 無回答



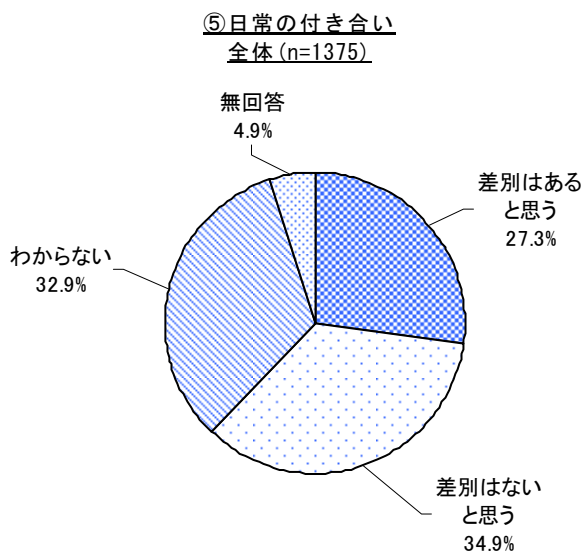
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性は20歳代、60歳代で「差別はないと思う」が約5割を占め、他の年齢層に比べやや多くなっている。また、男女とも40歳代まで「差別はあると思う」が2割を超えており、他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》での大きな差はみられない。

《職業別》では、「自営業、経営者、役員」「公務員、教員」で「差別はないと思う」が過半数を占め、他の職業に比べ多くなっている。

(5) 日常の付き合い

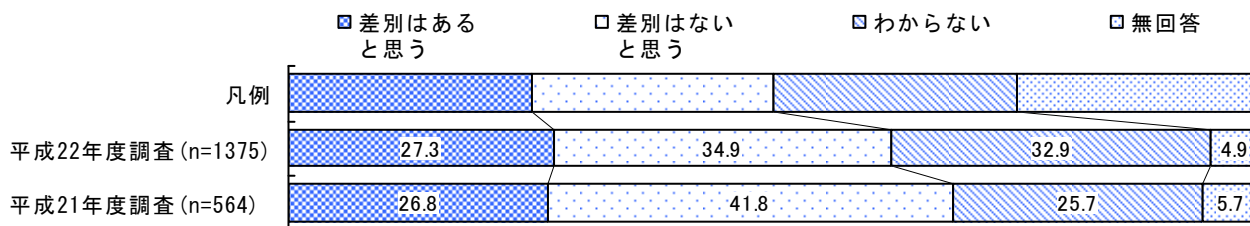
問35. 同和問題・差別問題の有無 (%)



「日常の付き合い」では、「差別はないと思う」が 34.9%と最も多く、次いで「わからない」(32.9%)、「差別はあると思う」(27.3%) の順となっている。

【時系列比較】

問35. 同和問題・差別問題の有無 (%) 時系列比較
⑤日常の付き合い

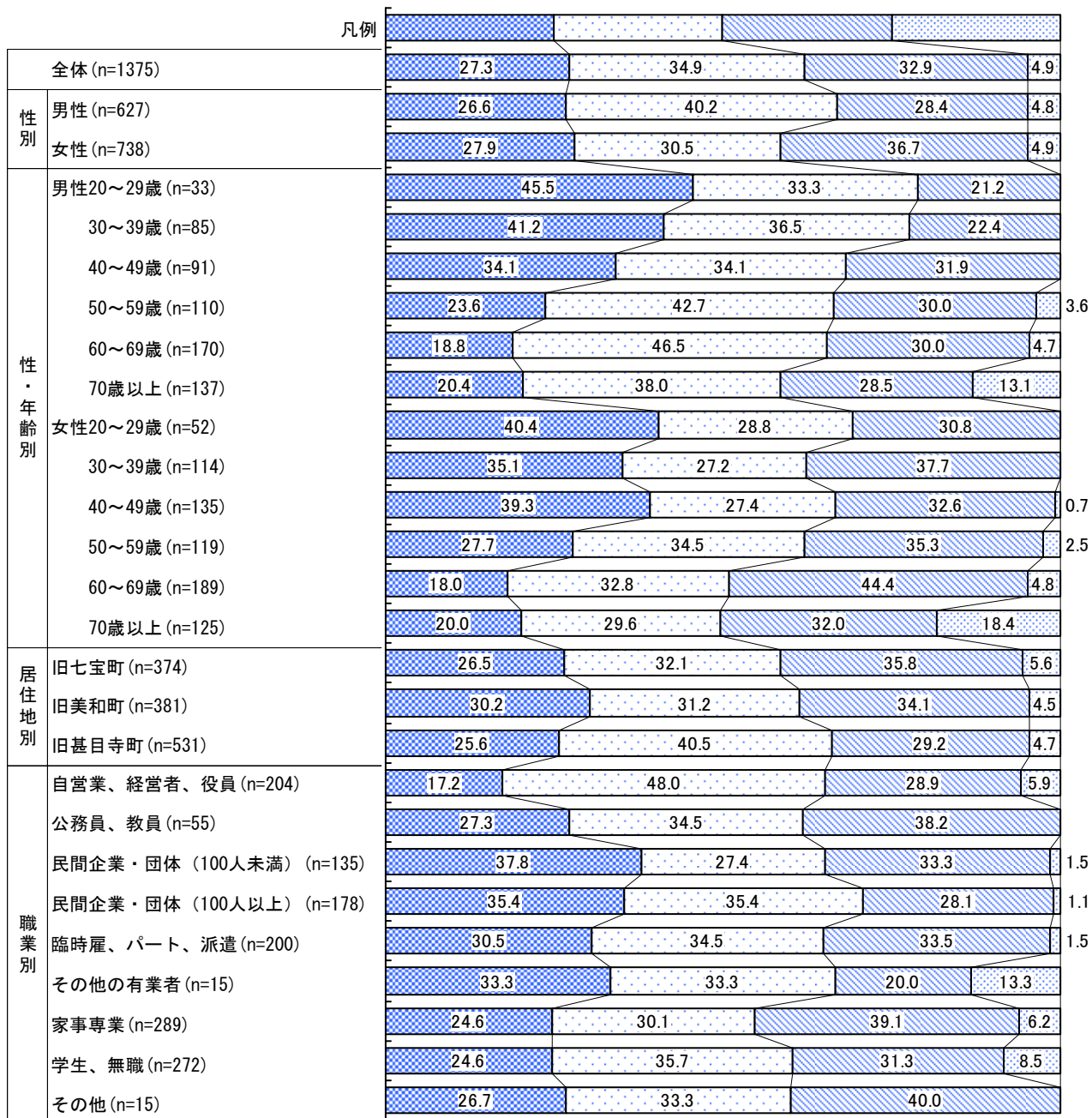


平成 21 年度調査に比べ、「差別はないと思う」が減少し、「わからない」が増加している。

【基本属性別】

⑤日常の付き合い

■ 差別はあると思う □ 差別はないと思う □ わからない □ 無回答



《性別》で見ると、女性に比べ男性で「差別はないと思う」が多くなっている。

《性・年齢別》では、男女ともに若い年齢層ほど「差別はあると思う」が多い傾向がみられる。

《居住地別》で見ると、「旧甚目寺町」で「差別はないと思う」が他の居住地に比べ多くなっている。

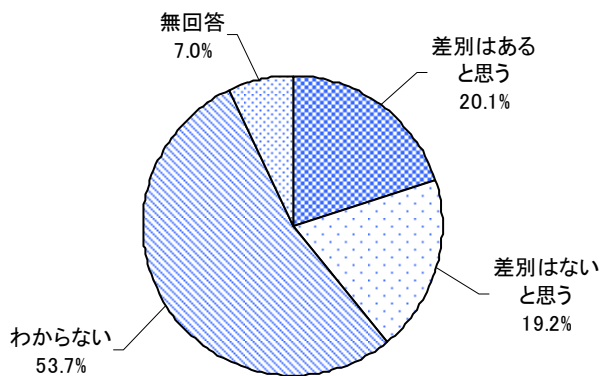
《職業別》では、「自営業、経営者、役員」で「差別はないと思う」が他の職業に比べ多くなっている。

(6) インターネットの表現や書き込み

※この設問は、インターネットの利用の有無に関わらず回答を求めています。

問35. 同和問題・差別問題の有無(%)

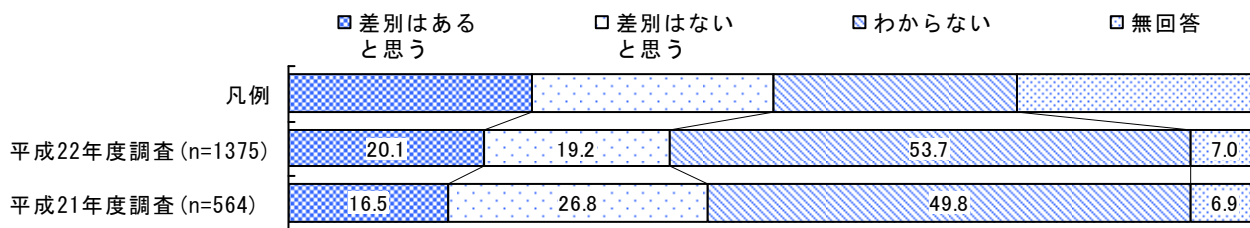
⑥インターネットの表現や書き込み
全体(n=1375)



「インターネットの表現や書き込み」では、「わからない」が 53.7%と過半数を占め最も多く、次いで「差別はあると思う」(20.1%)、「差別はないと思う」(19.2%)の順となっている。

【時系列比較】

問35. 同和問題・差別問題の有無(%) 時系列比較
⑥インターネットの表現や書き込み



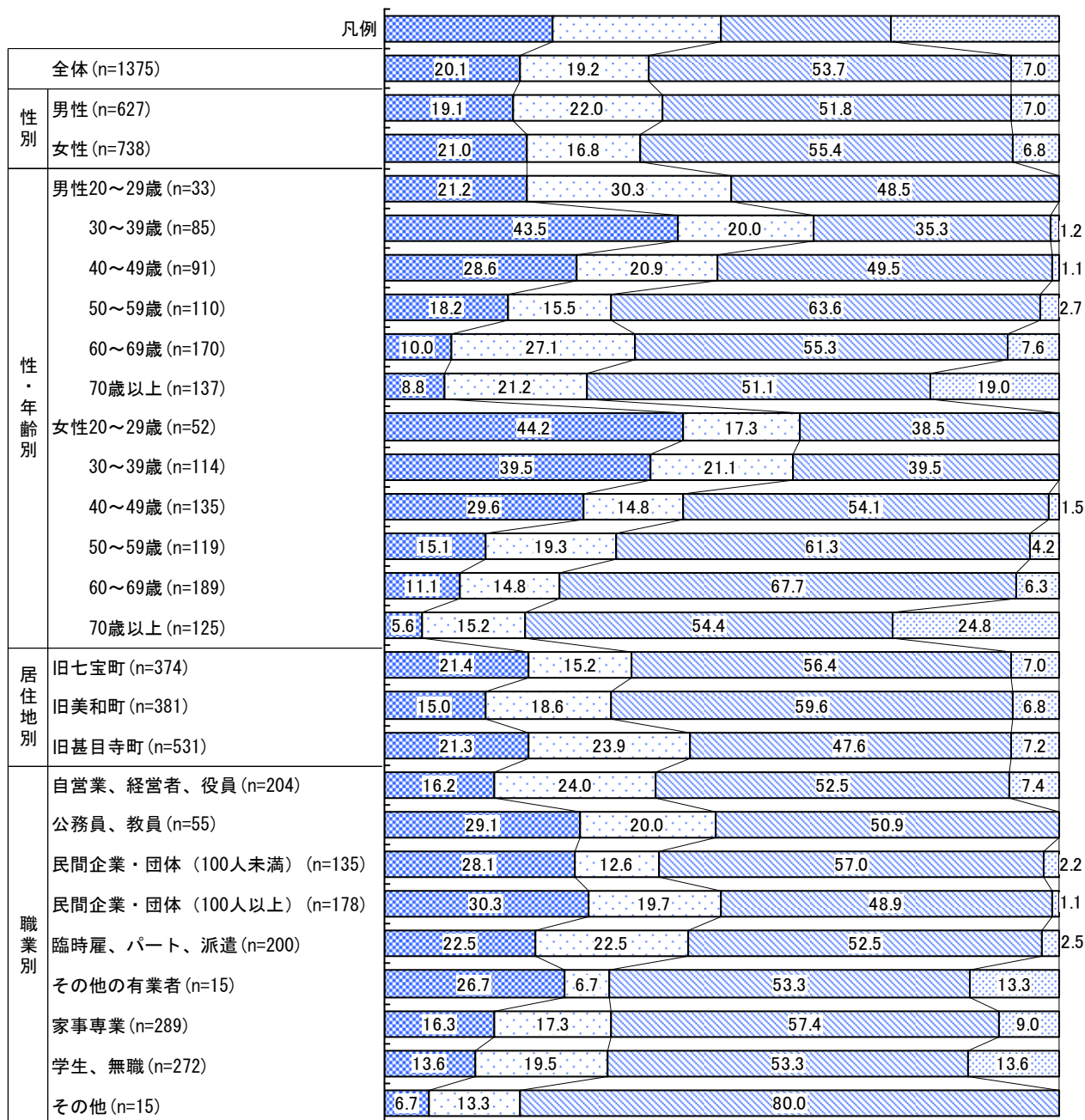
平成21年度調査に比べ、「差別はあると思う」が増加し、「差別はないと思う」が減少している。

【基本属性別】

※この設問は、インターネットの利用の有無に関わらず回答を求めています。

⑥インターネットの表現や書き込み

■ 差別はあると思う □ 差別はないと思う □ わからない □ 無回答



《性別》でみると、女性に比べ男性で「差別はないと思う」がやや多くなっている。

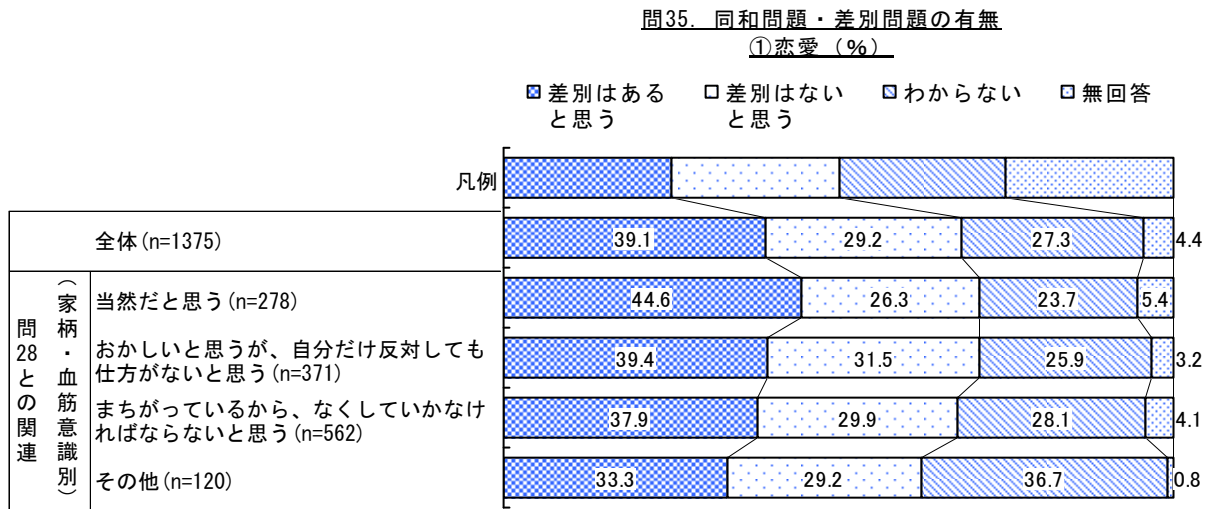
《性・年齢別》では、男性は30歳以上で「差別はあると思う」が他の年齢層に比べ多く、20歳代で「差別はないと思う」が他の年齢層に比べ多くなっている。女性は若い年齢層ほど「差別はあると思う」が多い傾向がみられる。

《居住地別》でみると、「旧甚目寺町」で「差別はないと思う」が他の居住地に比べやや多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」「民間企業・団体 (100人未満)」「民間企業・団体 (100人以上)」で「差別はあると思う」が約3割となっており、他の職業に比べやや多くなっている。

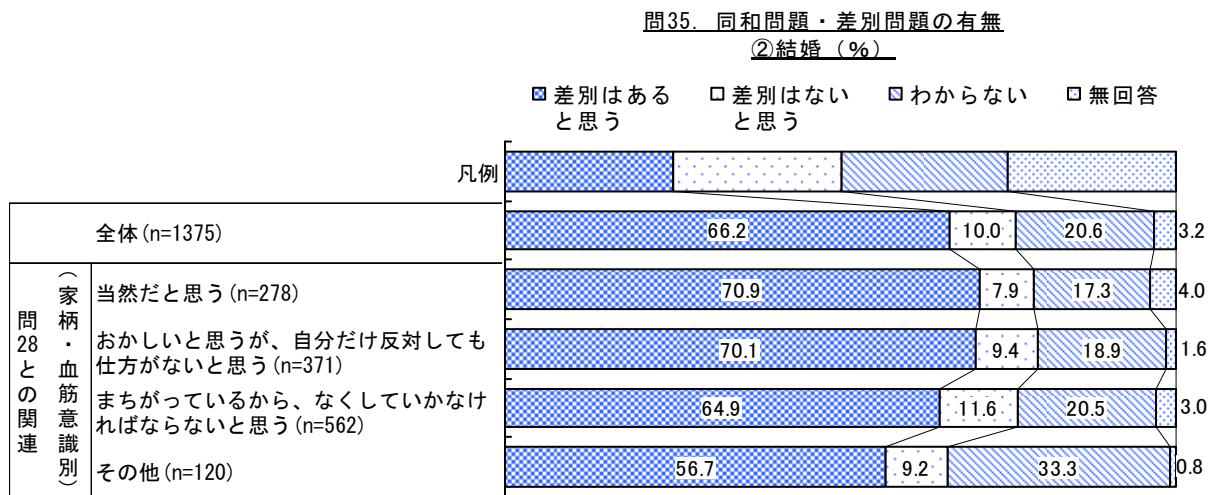
【問 35 と問 28 との関連】

(1) 恋愛



問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、「当然だと思う」で「差別はあると思う」が他の層に比べやや多くなっている。

(2) 結婚

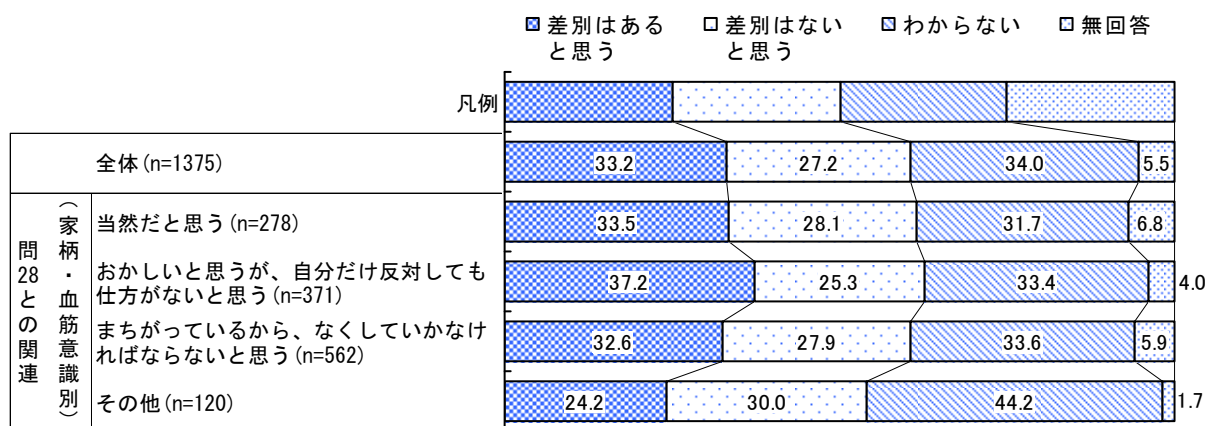


問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、大きな差はみられない。

(3) 就職

問35. 同和問題・差別問題の有無

③就職 (%)

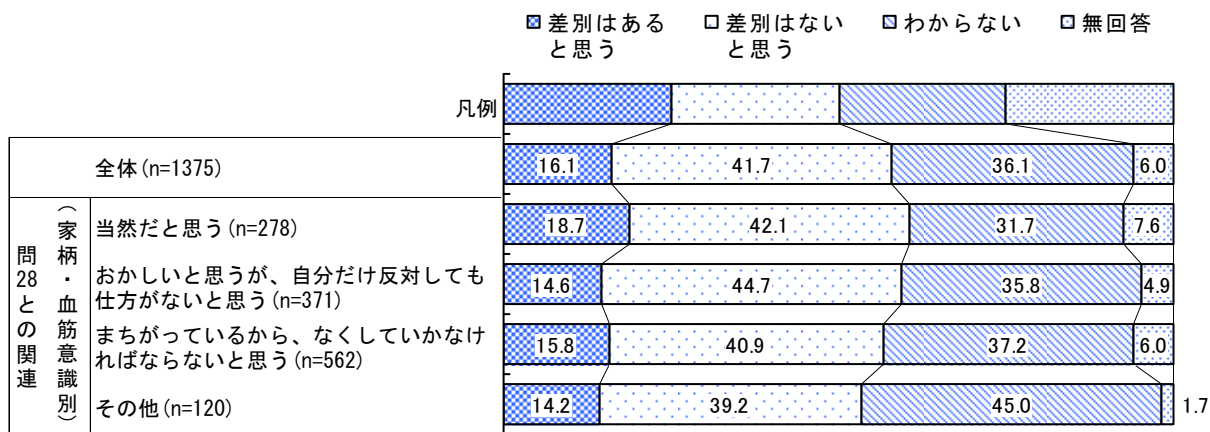


問 28《家柄・血筋意識別》との関連では、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」で「差別はあると思う」が他の層に比べやや多くなっている。

(4) 学校・保育所などの教育現場

問35. 同和問題・差別問題の有無

④学校・保育所などの教育現場 (%)

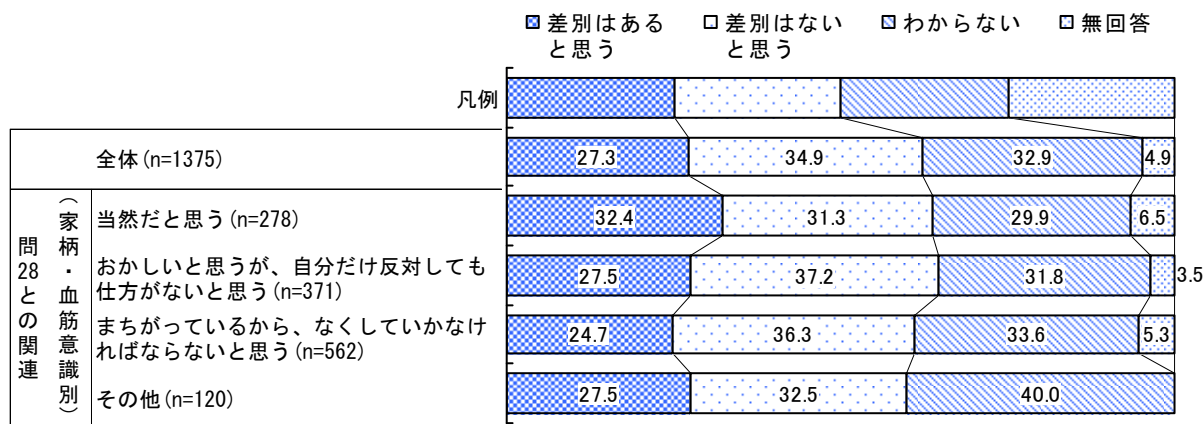


問 28《家柄・血筋意識別》との関連では、大きな差はみられない。

(5) 日常の付き合い

問35. 同和問題・差別問題の有無

⑤日常の付き合い (%)



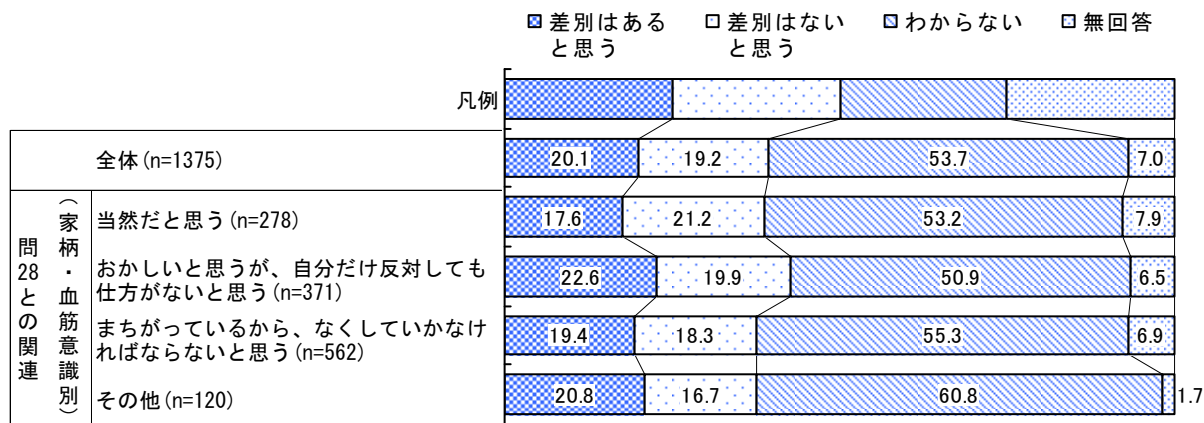
問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、「当然だと思う」で「差別はあると思う」が他の層に比べやや多くなっている。

(6) インターネットの表現や書き込み

※この設問は、インターネットの利用の有無に関わらず回答を求めています。

問35. 同和問題・差別問題の有無

⑥インターネットの表現や書き込み (%)

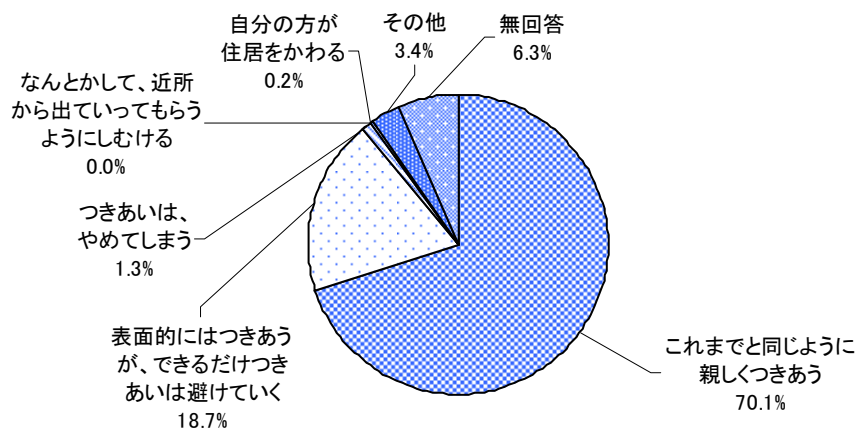


問 28 との関連 (家柄・血筋意識別) では、大きな差はみられない。

27. 同和地区出身の人とのつきあいについて

問 36. 仮に、日ごろ親しくつきあっている隣近所の人が、何かのことで同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(○印1つ)

問36. 同和地区出身の人とのつきあいについて (%)
全体 (N=1774)

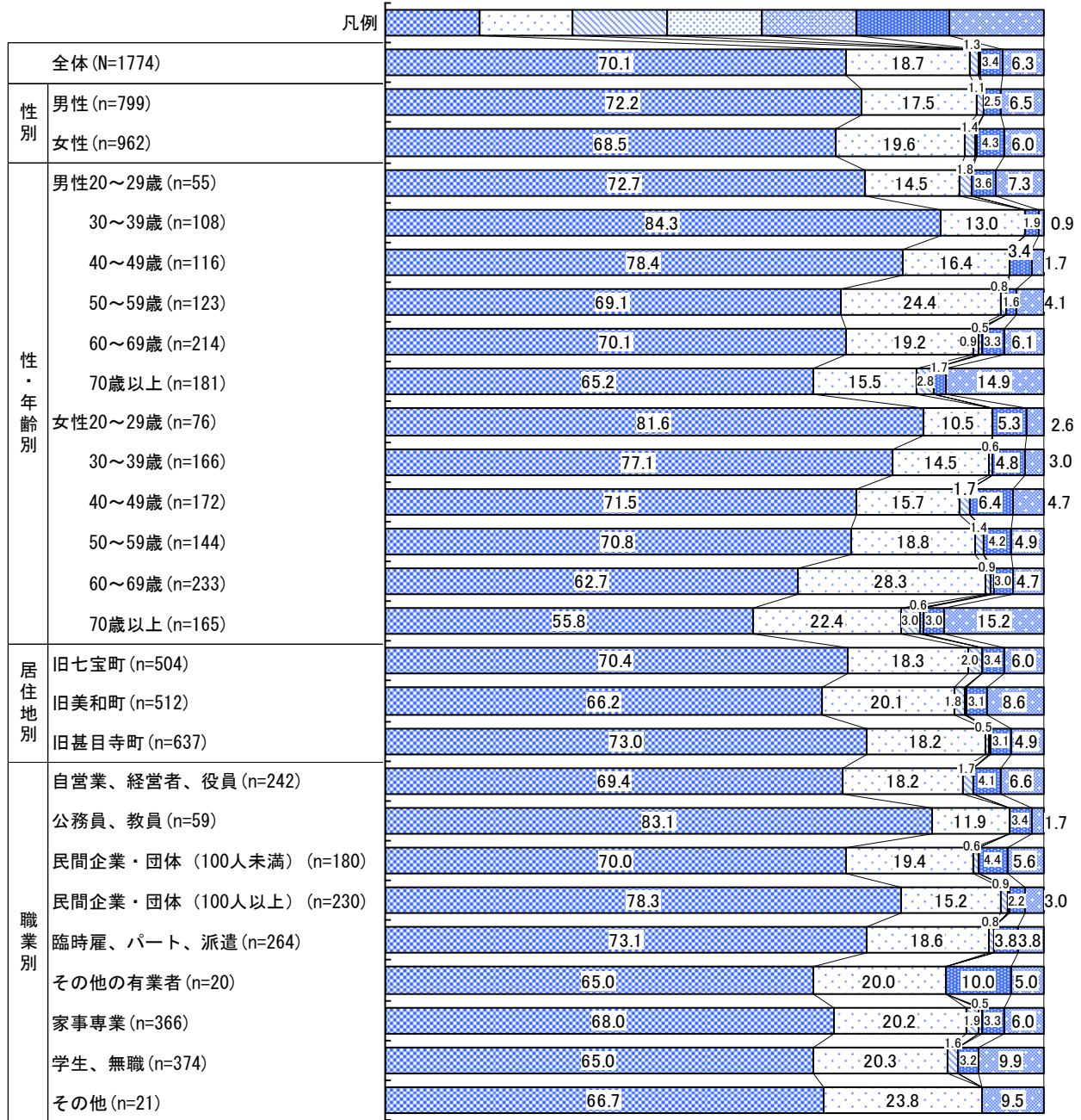


同和地区出身の人とのつきあいについては、「これまでと同じように親しくつきあう」が 70.1%と最も多く、次いで「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」(18.7%)となっており、その他の項目への回答は少ない。

【基本属性別】

問36. 同和地区出身の人とのつきあいについて (%)

- これまでと同じように親しくつきあう
- 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく
- ▨ つきあいは、やめてしまう
- ▩ なんとかして、近所から出ていってもらいようにしむける
- 自分の方が住居をかわる
- その他
- 無回答



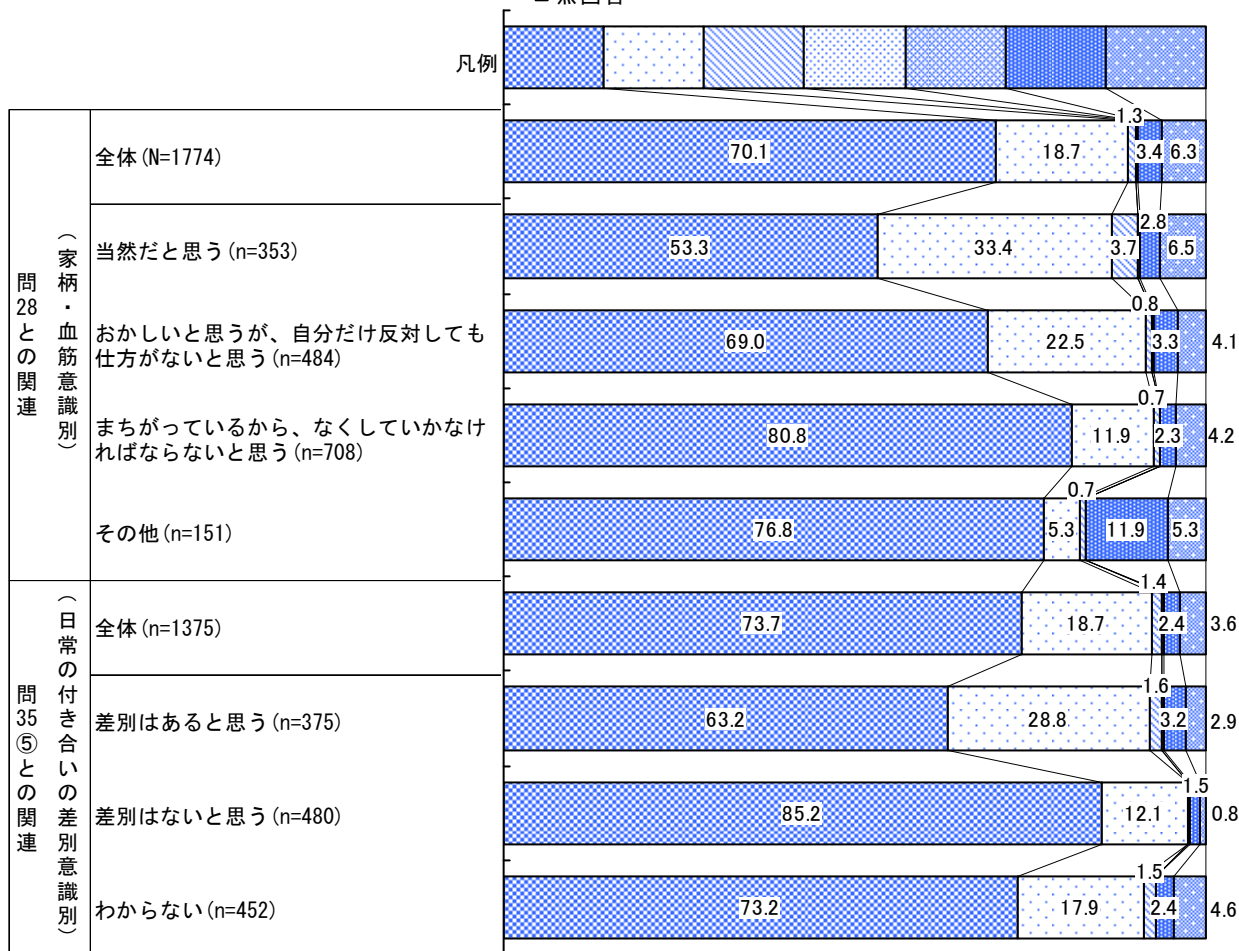
《性別》では男性で「これまでと同じように親しくつきあう」が女性に比べやや多くなっている。
 《性・年齢別》では男女ともに、年齢が若いほど「これまでと同じように親しくつきあう」が多い傾向がみられる。

《居住地別》では旧甚目寺町で「これまでと同じように親しくつきあう」が、他の居住地に比べやや多くなっている。

【問 36 と問 28、問 35⑤との関連】

問36. 同和地区出身の人とのつきあいについて (%)

- これまでと同じように親しくつきあう
- 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく
- ▨ つきあいは、やめてしまう
- ▩ なんとかして、近所から出ていってもらうようにしむける
- 自分の方が住居をかわる
- その他
- 無回答

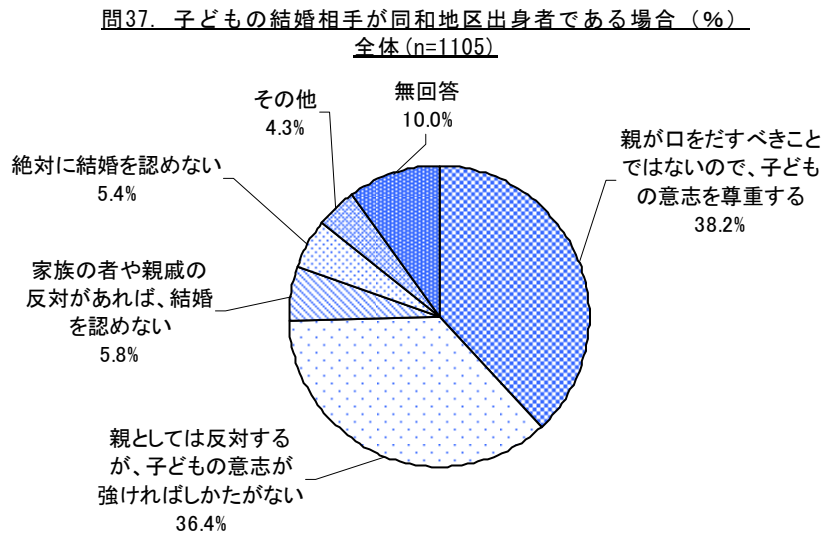


問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」で「これまでと同じように親しくつきあう」が他の層に比べ多くなっている。

問 35⑤ 《日常の付き合いの差別意識別》との関連では、「差別はないと思う」で「これまでと同じように親しくつきあう」が他の層に比べ多くなっている。

28. 子どもの結婚相手が同和地区出身者である場合

問 37. お子さんのいる方にお聞きします。お子さんのいない方は次の問 38 へお進みください。
あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたは
どうしますか。(○印1つ)

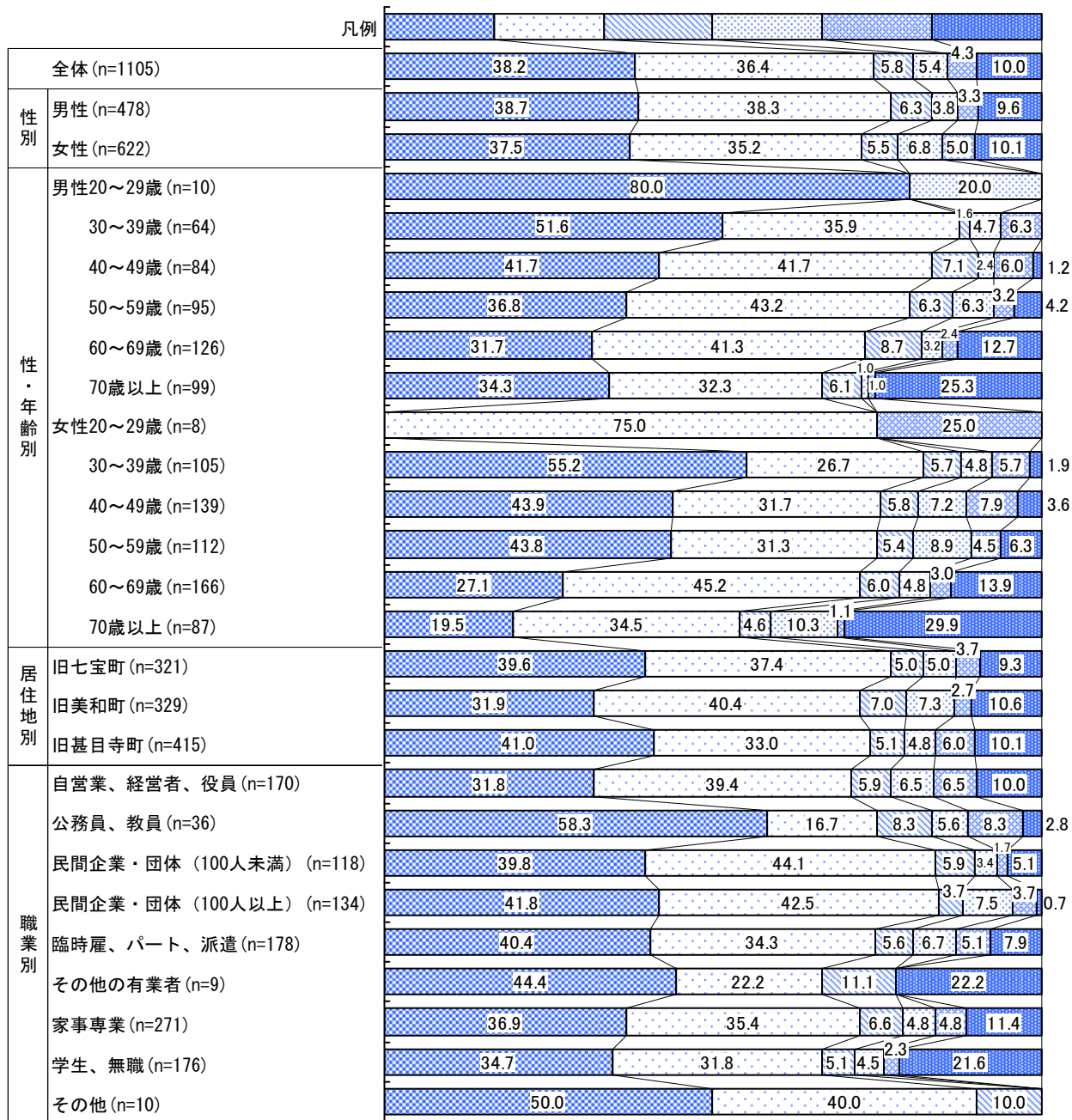


子どもの結婚相手が同和地区出身者である場合については、「親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する」が 38.2%と最も多く、次いで「親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない」(36.4%)の順となっている。

【基本属性別】

問37. 子どもの結婚相手が同和地区出身者である場合（％）

- 親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する
- 親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない
- 家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- 絶対に結婚を認めない
- その他
- 無回答



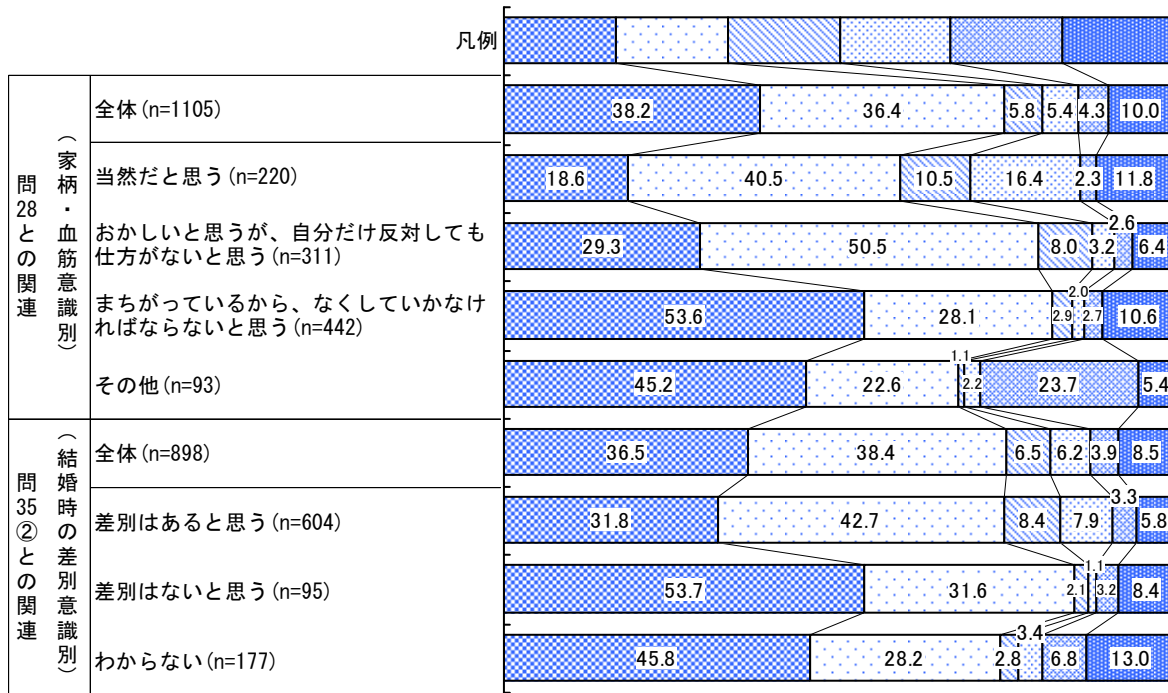
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男女ともに年齢層が若いほど「親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する」が多くなっている。

《居住地別》でみると、「旧甚目寺町」で「親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する」が約4割を占め、やや多くなっている。

【問 37 と問 28、問 35②との関連】

問37. 子どもの結婚相手が同和地区出身者である場合（％）

- 親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する
- 親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない
- ▨ 家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- 絶対に結婚を認めない
- その他
- 無回答

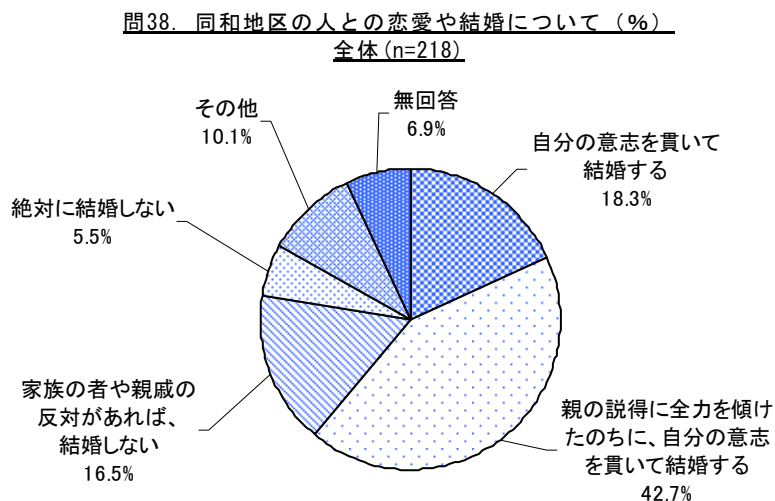


問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」で「親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する」が他の層に比べ多くなっている。

問 35② 《結婚時の差別意識別》との関連では、「差別はないと思う」で「親が口をだすべきことではないので、子どもの意志を尊重する」が他の層に比べ多くなっている。

29. 同和地区の人との恋愛や結婚について

問 38. 結婚歴のない方にお聞きします。結婚している方は次の問 39 へお進みください。あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。(○印1つ)

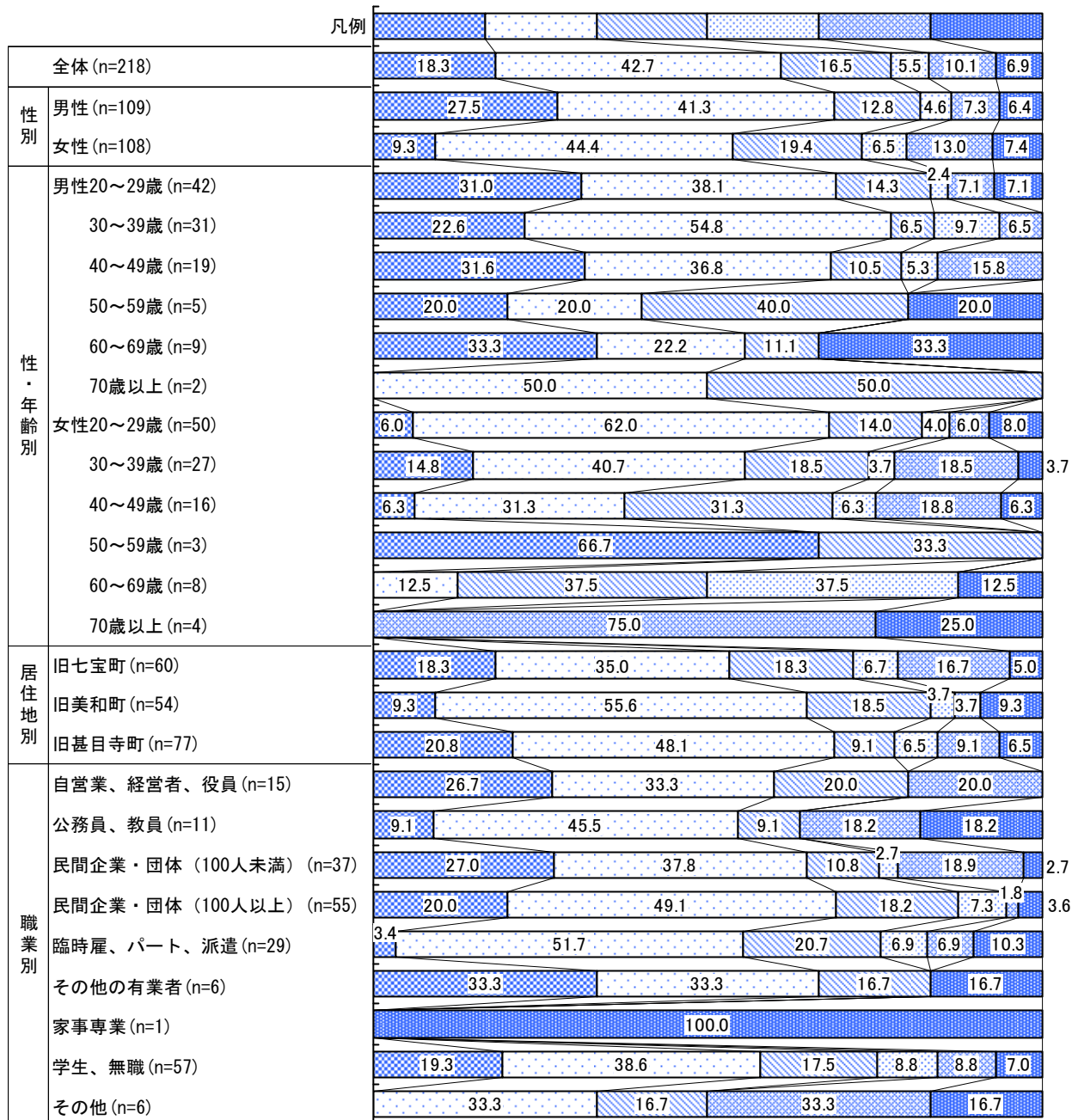


同和地区の人との恋愛や結婚については、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が 42.7%と最も多く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」(18.3%)、「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」(16.5%)の順となっている。

【基本属性別】

問38. 同和地区の人との恋愛や結婚について (%)

- 自分の意志を貫いて結婚する
- 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する
- ▨ 家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない
- ▩ 絶対に結婚しない
- その他
- 無回答



《性別》では、女性に比べ男性で「自分の意志を貫いて結婚する」が多くなっている。

《性・年齢別》では、男性 30 歳代、女性 20 歳代で「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が他の年齢層に比べ多くなっている。女性 30~40 歳代で「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」が男性に比べ多くなっている。

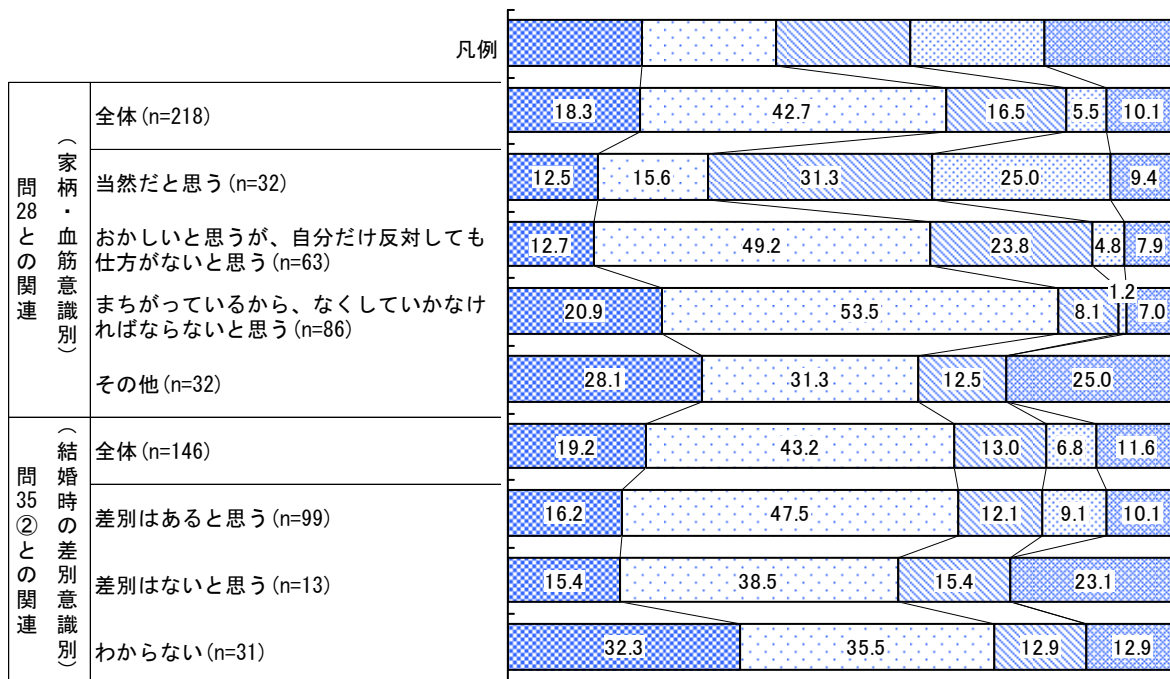
《居住地別》でみると、「旧美和町」で「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が過半数を占め、他の居住地に比べ多くなっている。一方、「旧甚目寺町」で「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」が他の居住地に比べ少なくなっている。

《職業別》では、「臨時雇、パート、派遣」で「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が過半数を占め、他の職業に比べ多くなっている。

【問 38 と問 28、問 35②との関連】

問38. 同和地区の人との恋愛や結婚について (%)

- 自分の意志を貫いて結婚する
- 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する
- 家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない
- 絶対に結婚しない
- その他

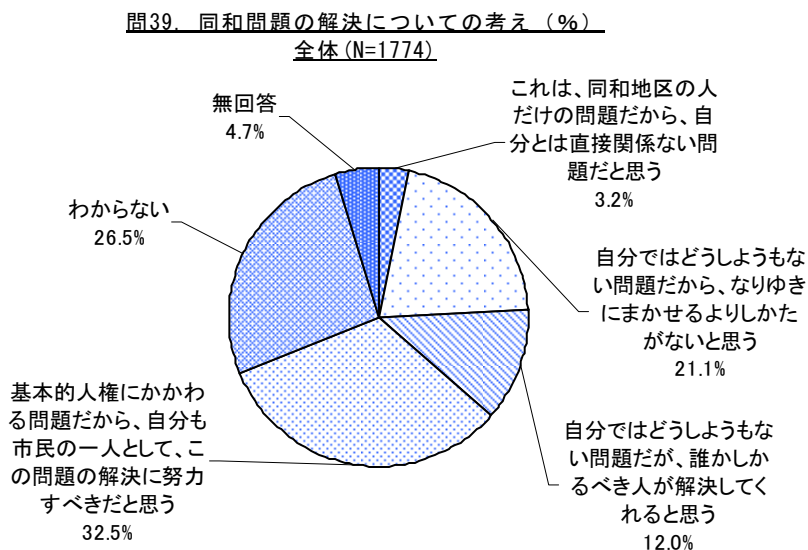


問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、「当然だと思う」で「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」が他の層に比べ多くなっている。

問 35② 《結婚時の差別意識別》との関連では、「差別はあると思う」で「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が他の層に比べ多くなっている。

30. 同和問題の解決についての考え

問 39. すべての方にお聞きします。同和問題の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。(○印1つ)

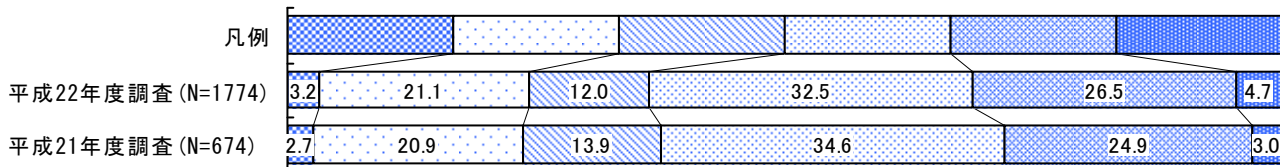


同和問題の解決についての考えは、「基本的な人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が 32.5%と最も多く、次いで「わからない」(26.5%)、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」(21.1%)の順となっている。

【時系列比較】

問39. 同和問題の解決についての考え (%) 時系列比較

- これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う
- 自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う
- 自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 基本的な人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う
- わからない
- 無回答

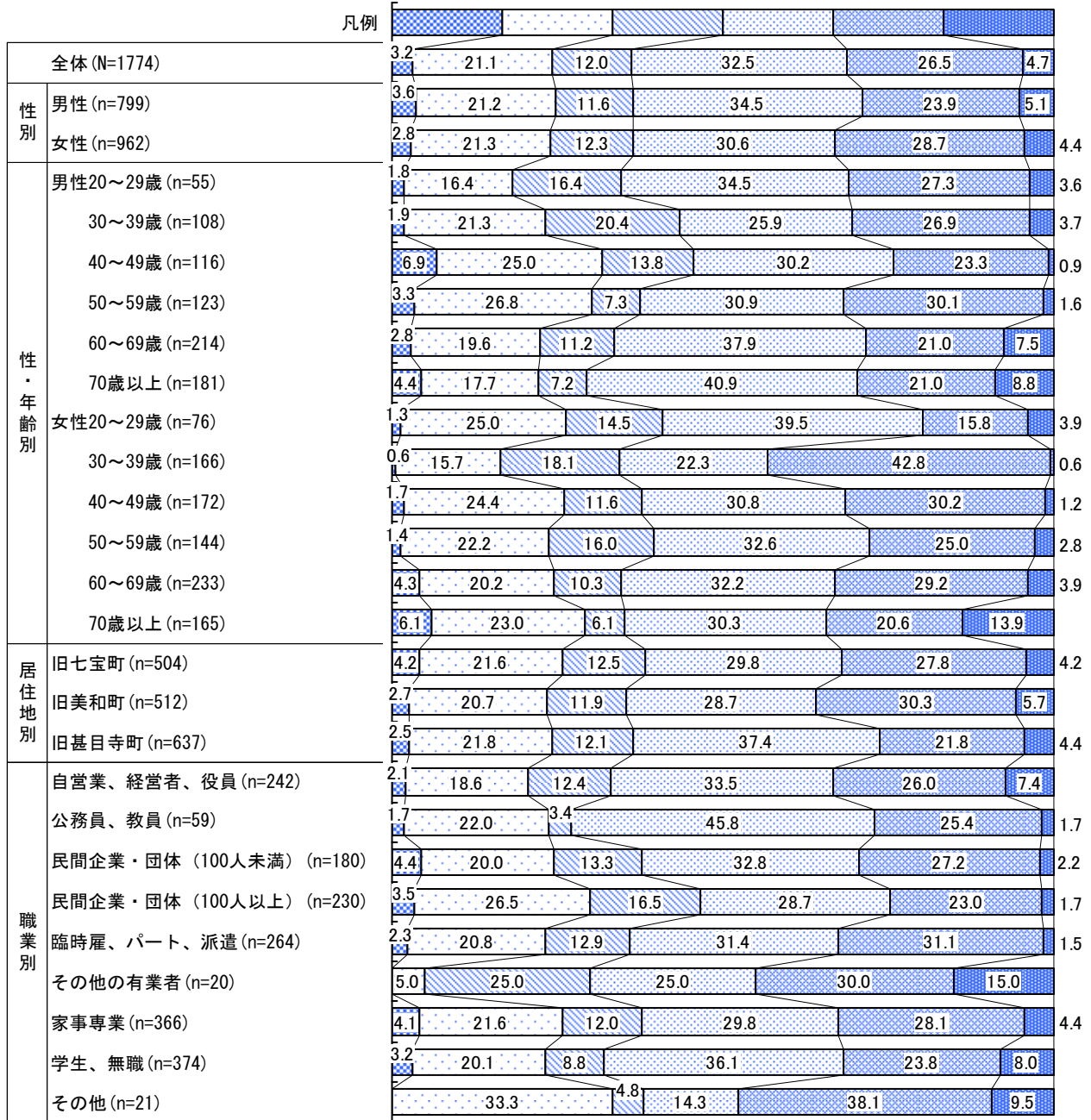


平成 21 年度調査に比べ大きな差はみられない。

【基本属性別】

問39. 同和問題の解決についての考え (%)

- これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う
- 自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う
- 自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う
- わからない
- 無回答



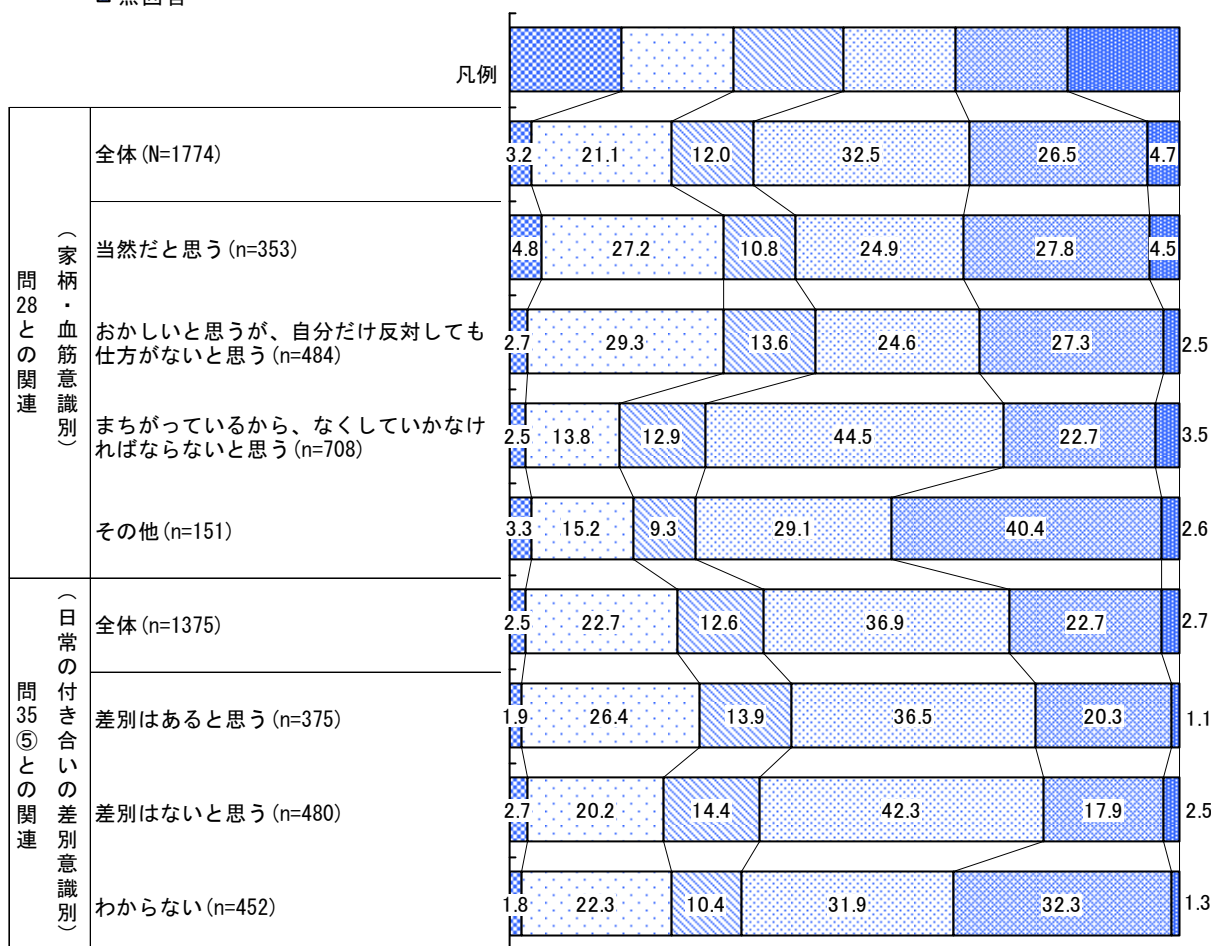
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性 70 歳以上、女性 20 歳代で「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》で見ると、「旧甚目寺町」で「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が他の居住地に比べ多くなっている。

【問 39 と問 28、問 35⑤との関連】

問39. 同和問題の解決についての考え (%)

- これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う
- 自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う
- ▨ 自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う
- わからない
- 無回答

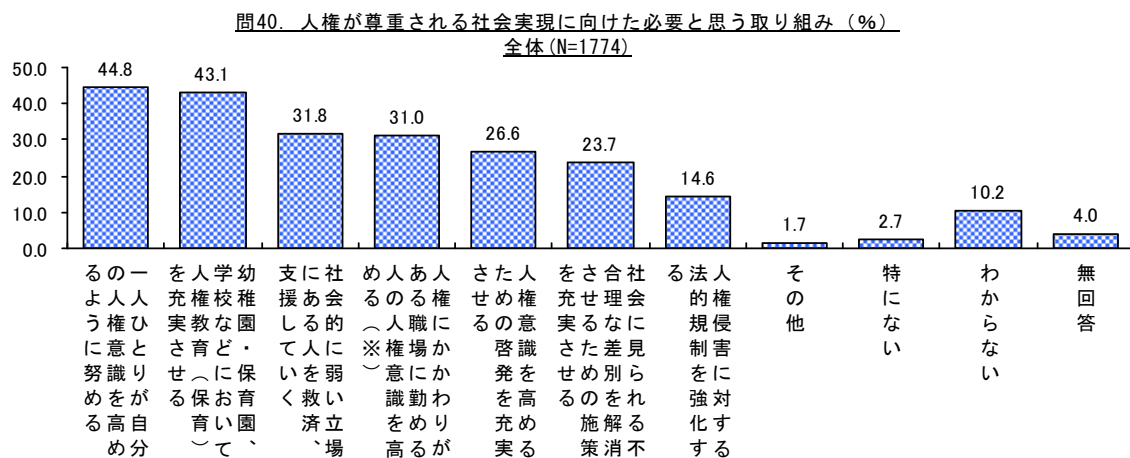


問 28 《家柄・血筋意識別》との関連では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」で「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が他の層に比べ多くなっている。

問 35⑤ 《日常の付き合いの差別意識別》との関連では、「差別はないと思う」で「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が他の層に比べ多くなっている。

31. 人権が尊重される社会実現に向けた必要と思う取り組み

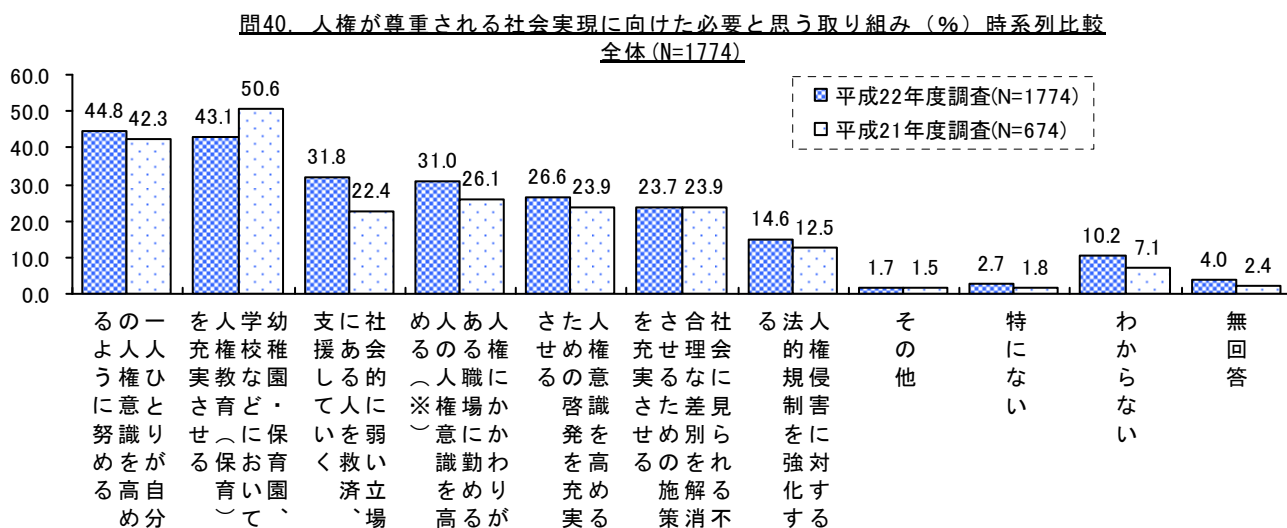
問 40. 人権が尊重される社会を実現するためには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇印いくつでも)



※行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など

人権が尊重される社会実現に向けた必要と思う取り組みについては、「一人ひとりが自分の人権意識を高めるように努める」が44.8%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園、学校などにおいて人権教育(保育)を充実させる」(43.1%)、「社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく」(31.8%)、「人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める(行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など)」(31.0%)の順となっている。

【時系列比較】



※行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など

平成 21 年度調査に比べ、「社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく」「人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める(行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など)」が増加し、「幼稚園・保育園、学校などにおいて人権教育(保育)を充実させる」が減少している。

【基本属性別】

問40. 人権が尊重される社会実現に向けた必要と思う取り組み

単位：%

	の人啓権意識を充実させるため	(幼稚園・保育園)を充実させる	めな差別を解消させる	社会に見られる不合理	社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく	意識を高める(※)	職場に勤める人が人権	人権侵害に対する法的規制を強化する	一人ひとりが自分の人権意識を高めるように努める	その他	特にな	わからない	無回答
全体(N=1774)	26.6	43.1	23.7	31.8	31.0	14.6	44.8	1.7	2.7	10.2	4.0		
性別													
男性(n=799)	28.8	44.6	24.3	29.8	31.8	16.5	40.7	1.6	3.6	8.4	4.0		
女性(n=962)	24.9	41.8	23.3	33.8	30.5	13.0	48.1	1.7	2.0	11.7	4.0		
性・年齢別													
男性20～29歳(n=55)	27.3	47.3	34.5	41.8	25.5	32.7	49.1	1.8	0.0	5.5	1.8		
30～39歳(n=108)	21.3	45.4	31.5	30.6	29.6	13.9	40.7	3.7	8.3	7.4	1.9		
40～49歳(n=116)	30.2	46.6	22.4	23.3	24.1	16.4	40.5	3.4	5.2	5.2	0.9		
50～59歳(n=123)	28.5	50.4	22.8	27.6	28.5	13.8	35.8	0.8	2.4	10.6	1.6		
60～69歳(n=214)	30.8	43.5	22.4	30.4	37.4	14.0	43.0	1.4	2.3	8.9	5.1		
70歳以上(n=181)	30.4	39.2	21.0	30.9	35.9	18.2	38.7	0.0	3.3	9.4	8.3		
女性20～29歳(n=76)	28.9	55.3	36.8	51.3	46.1	25.0	61.8	2.6	0.0	6.6	0.0		
30～39歳(n=166)	22.3	47.0	25.9	33.1	24.7	16.9	45.8	3.6	1.8	11.4	0.0		
40～49歳(n=172)	25.6	46.5	26.7	36.0	25.6	12.2	52.3	2.9	0.0	11.0	0.0		
50～59歳(n=144)	31.9	50.0	22.2	31.9	34.0	12.5	50.0	0.7	0.7	9.0	2.8		
60～69歳(n=233)	23.6	36.9	21.0	33.0	31.3	11.2	49.4	0.0	2.1	11.6	6.4		
70歳以上(n=165)	21.2	25.5	15.2	26.7	29.7	7.9	35.8	1.2	6.1	18.2	11.5		
居住地別													
旧七宝町(n=504)	25.4	42.9	25.2	32.9	31.9	16.5	43.8	1.6	2.8	8.1	5.2		
旧美和町(n=512)	27.3	41.2	20.3	32.6	30.9	13.7	43.8	1.6	2.0	11.5	4.9		
旧甚目寺町(n=637)	26.7	44.0	25.0	30.9	30.6	13.2	46.9	2.0	3.0	11.1	2.8		
職業別													
自営業、経営者、役員(n=242)	27.3	40.1	23.1	26.4	25.2	12.8	41.7	3.3	2.9	9.5	5.4		
公務員、教員(n=59)	35.6	55.9	37.3	23.7	30.5	20.3	47.5	8.5	1.7	5.1	1.7		
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	23.9	46.1	21.7	33.3	26.1	16.7	44.4	2.2	4.4	9.4	4.4		
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	30.4	46.5	24.3	31.7	23.5	17.8	40.9	1.3	3.0	7.4	1.3		
臨時雇、パート、派遣(n=264)	27.7	42.4	26.9	33.0	33.7	12.9	53.4	1.5	0.4	8.3	2.3		
その他の有業者(n=20)	15.0	50.0	25.0	20.0	40.0	10.0	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0		
家事専業(n=366)	24.3	42.1	24.3	37.7	32.5	14.8	45.9	0.8	1.9	13.7	3.0		
学生、無職(n=374)	26.7	42.0	20.6	32.1	38.2	13.4	42.8	0.3	3.5	11.2	5.3		
その他(n=21)	28.6	33.3	19.0	14.3	33.3	14.3	42.9	0.0	0.0	23.8	19.0		

※行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など

《性別》では、女性で「一人ひとりが自分の人権意識を高めるように努める」が男性に比べやや多くなっている。

《性・年齢別》では、男性20歳代で「社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく」「人権侵害に対する法的規制を強化する」、女性20歳代で「社会に見られる不合理な差別を解消させるための施策を充実させる」「社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく」「人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める(行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など)」「一人ひとりが自分の人権意識を高めるように努める」が他の年齢層に比べ多くなっている。

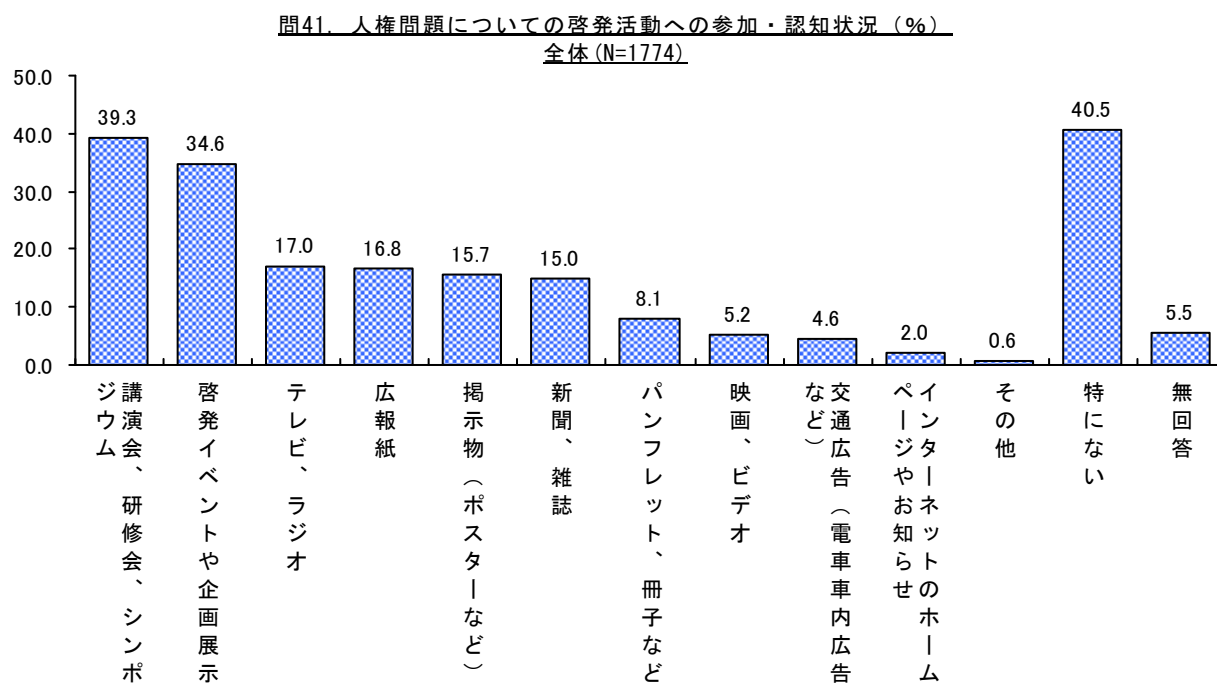
《居住地別》では、「旧甚目寺町」で「幼稚園・保育園、学校などにおいて人権教育(保育)を充実させる」「一人ひとりが自分の人権意識を高めるように努める」が、他の居住地に比べやや多くなっている。

32. 人権問題の啓発活動について

(1) 人権問題についての啓発活動への参加・認知状況

問 41. 人権問題について各自治体が実施している啓発活動のうちで、あなたが実際に参加したり、見聞きしたりしたことがあるものはありますか。(○印いくつでも)

なお、「1. 講演会、研修会、シンポジウム」「2. 啓発イベントや企画展示」を選択された方は、その参加状況についても、1～3のいずれかに○をつけてください。



人権問題についての啓発活動への参加・認知状況については、「特にない」が40.5%と最も多いが、参加・認知状況としては「講演会、研修会、シンポジウム」(39.3%)、「啓発イベントや企画展示」(34.6%)、「テレビ、ラジオ」(17.0%)、「広報紙」(16.8%)の順となっている。

【基本属性別】

問41. 人権問題についての啓発活動への参加・認知状況

単位：％

	講演会、 研修会、シンポジウム	啓発イベントや企画展示	広報紙	テレビ、ラジオ	パンフレット、冊子など	映画、ビデオ	新聞、雑誌	掲示物（ポスターなど）	交通広告（電車車内広告など）	インターネットのホームページやお知らせ	その他	特 に な い	無 回 答
全体(N=1774)	39.3	34.6	16.8	17.0	8.1	5.2	15.0	15.7	4.6	2.0	0.6	40.5	5.5
性別													
男性(n=799)	39.7	36.0	16.0	17.8	6.5	4.4	16.0	14.3	3.3	2.4	0.4	39.8	5.5
女性(n=962)	39.2	33.5	17.7	16.2	9.4	5.9	14.1	17.0	5.7	1.8	0.8	41.4	5.3
性・年齢別													
男性20～29歳(n=55)	41.8	36.4	18.2	21.8	7.3	7.3	23.6	23.6	7.3	10.9	1.8	49.1	0.0
30～39歳(n=108)	36.1	34.3	9.3	18.5	1.9	0.0	8.3	20.4	4.6	3.7	1.9	49.1	0.9
40～49歳(n=116)	40.5	37.9	12.1	15.5	7.8	3.4	13.8	18.1	4.3	3.4	0.0	44.0	0.9
50～59歳(n=123)	36.6	36.6	17.9	17.9	11.4	4.1	14.6	15.4	3.3	0.8	0.0	46.3	1.6
60～69歳(n=214)	42.5	37.9	18.2	16.8	6.5	4.7	17.8	7.5	1.9	0.9	0.0	33.6	7.9
70歳以上(n=181)	39.8	33.7	17.7	18.8	4.4	6.6	18.8	12.7	2.2	0.6	0.0	31.5	12.7
女性20～29歳(n=76)	43.4	39.5	14.5	23.7	10.5	7.9	15.8	31.6	18.4	5.3	0.0	36.8	0.0
30～39歳(n=166)	34.9	33.1	12.7	16.3	6.6	3.0	7.2	15.7	4.8	0.6	1.2	47.6	0.0
40～49歳(n=172)	42.4	37.8	22.1	18.0	13.4	6.4	20.3	22.7	7.0	2.9	2.3	39.0	0.0
50～59歳(n=144)	45.1	37.5	25.0	20.1	15.3	9.0	19.4	22.9	2.8	2.8	1.4	33.3	6.3
60～69歳(n=233)	38.6	31.8	18.9	14.2	7.7	6.4	14.6	14.2	3.9	1.3	0.0	44.6	6.9
70歳以上(n=165)	33.3	24.8	12.1	9.7	3.6	3.6	8.5	4.2	4.2	0.0	0.0	42.4	15.8
居住地別													
旧七宝町(n=504)	37.9	32.9	12.1	18.8	6.2	5.2	17.7	13.9	5.2	2.4	0.8	41.3	6.2
旧美和町(n=512)	34.0	31.1	14.8	14.5	6.8	3.1	14.3	13.1	4.5	1.0	0.6	44.9	6.3
旧甚目寺町(n=637)	46.2	40.0	23.2	16.8	10.8	6.9	14.4	18.1	4.1	2.2	0.5	35.5	4.4
職業別													
自営業、経営者、役員(n=242)	39.3	37.2	13.6	16.1	6.6	2.9	12.0	13.2	3.3	2.9	0.4	40.9	6.6
公務員、教員(n=59)	64.4	57.6	18.6	16.9	28.8	13.6	28.8	33.9	3.4	1.7	0.0	23.7	1.7
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	38.3	34.4	13.3	18.9	5.0	2.8	10.6	15.6	3.9	3.9	0.0	47.2	4.4
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	38.3	36.5	14.3	16.5	8.3	2.2	10.0	14.8	3.9	2.2	1.7	43.9	1.3
臨時雇、パート、派遣(n=264)	35.6	31.8	19.3	16.3	9.5	6.1	15.9	22.0	7.6	0.8	1.1	42.4	3.4
その他の有業者(n=20)	60.0	50.0	30.0	20.0	10.0	10.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0	25.0	10.0
家事専業(n=366)	38.8	31.7	21.0	16.4	9.6	7.1	15.6	13.9	3.8	1.6	0.3	41.5	4.6
学生、無職(n=374)	39.3	33.2	16.0	18.4	5.1	5.9	19.5	14.2	5.3	2.1	0.3	36.6	8.8
その他(n=21)	38.1	33.3	9.5	9.5	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	4.8	33.3	23.8

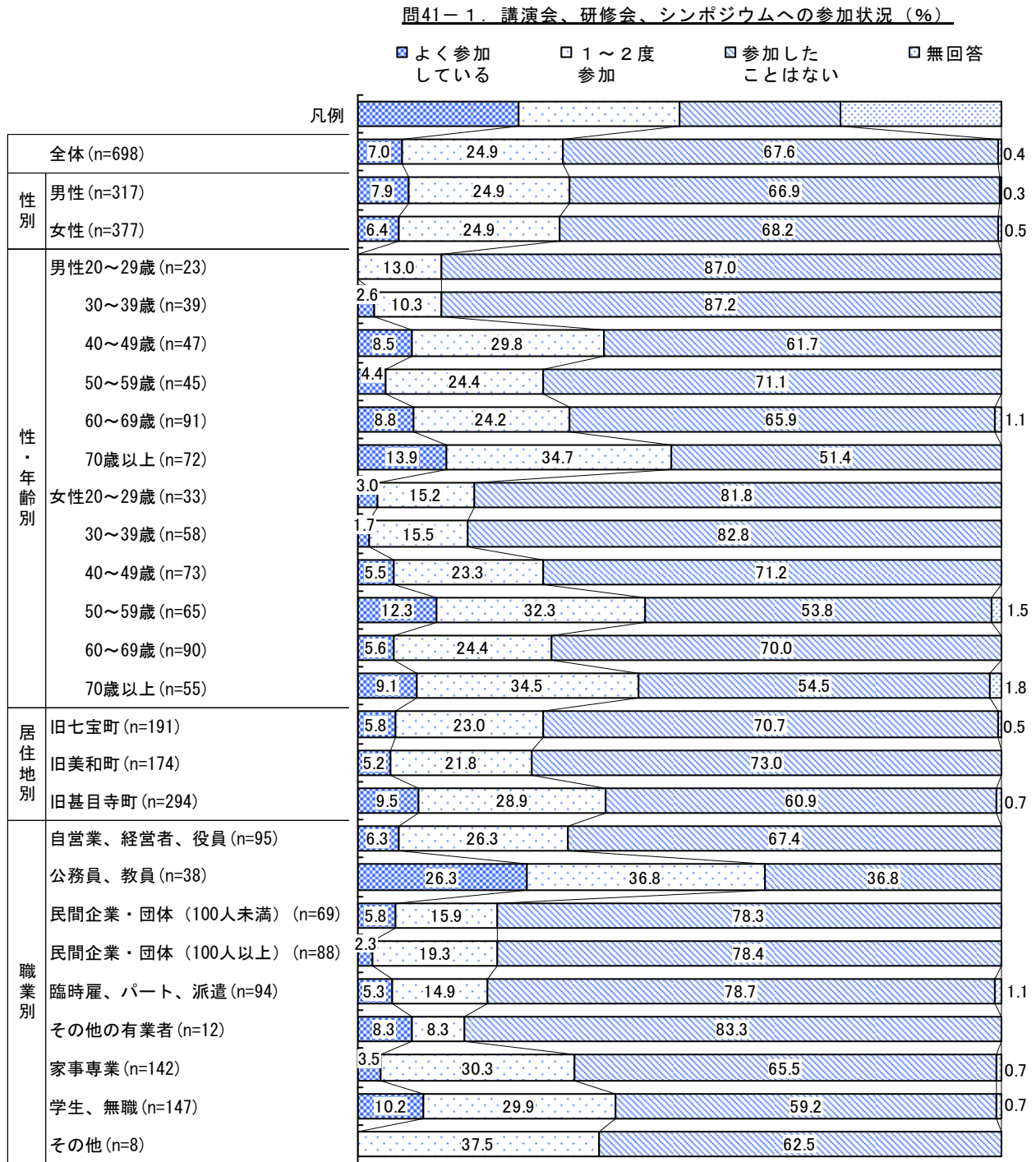
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、女性20歳代で「交通広告（電車車内広告など）」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》でみると、「旧甚目寺町」で「講演会、研修会、シンポジウム」「啓発イベントや企画展示」が他の居住地に比べ多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」で「講演会、研修会、シンポジウム」「啓発イベントや企画展示」「パンフレット、冊子など」「映画、ビデオ」「新聞、雑誌」「掲示物（ポスターなど）」が他の職業に比べ多くなっている。

(2) 講演会、研修会、シンポジウムへの参加状況

【基本属性別】



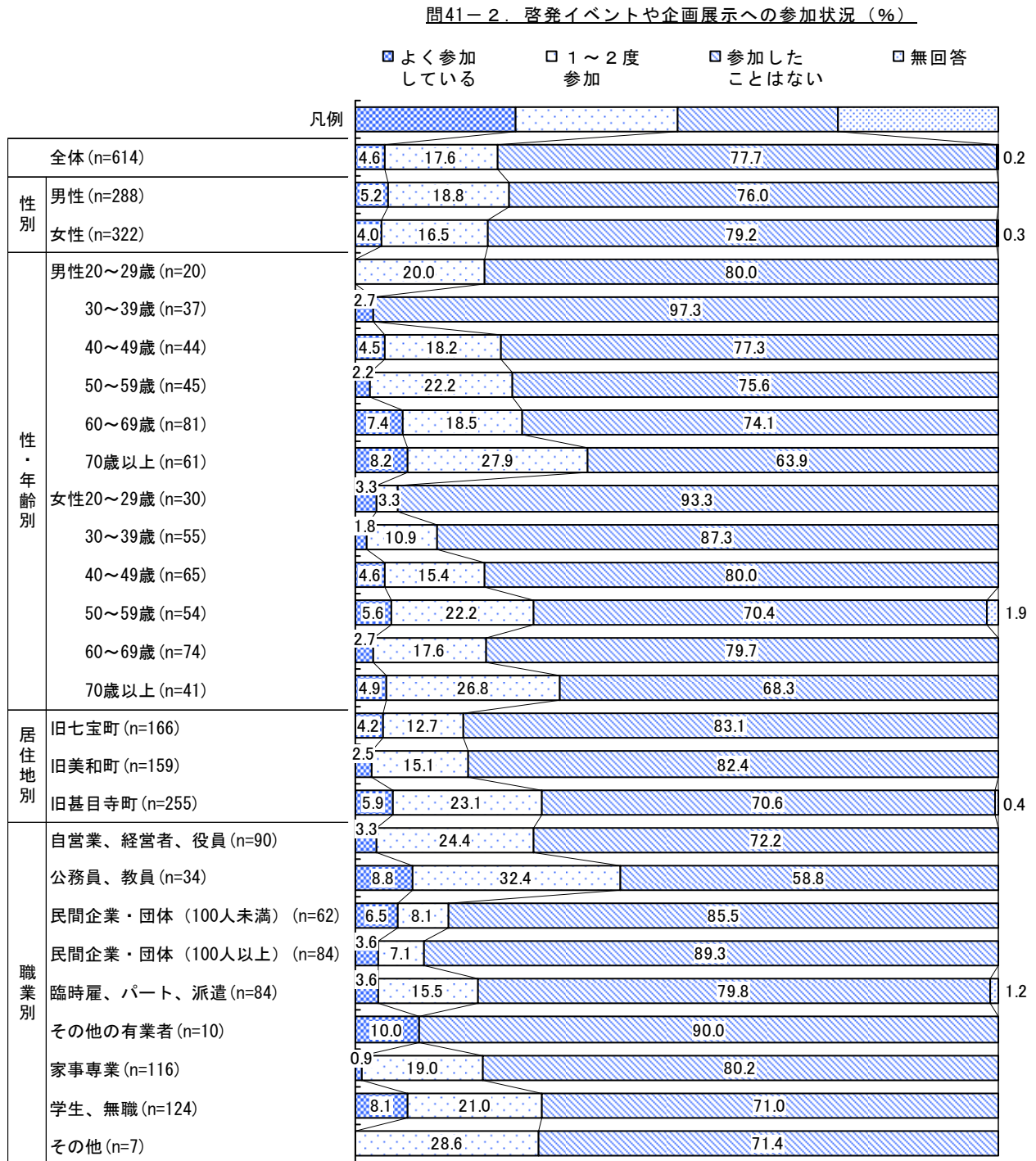
講演会、研修会、シンポジウムへの参加状況については、「よく参加している」が 7.0%、「1～2度参加」が 24.9%、合計 31.9%で、約 3 割に参加経験がある。

《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男女ともに若い年齢層ほど「参加したことはない」が多くなっている。

《職業別》では「公務員、教員」で「参加したことはない」が 36.8%となっている。

(3) 啓発イベントや企画展示への参加状況

【基本属性別】



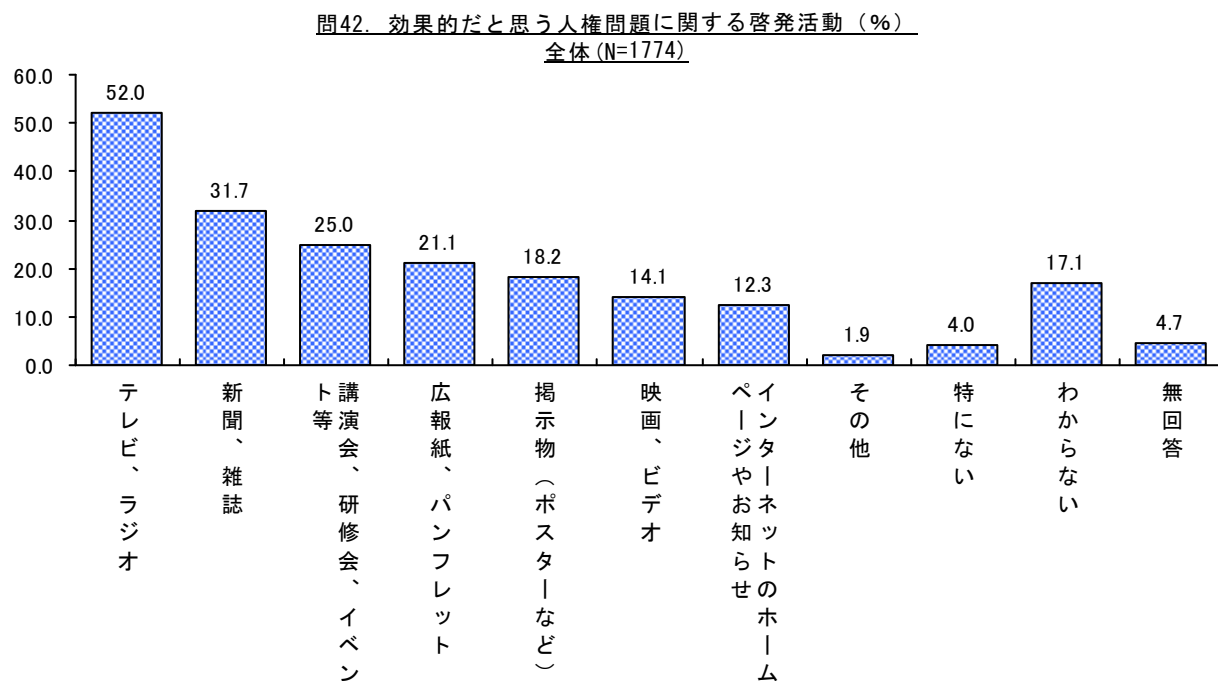
啓発イベントや企画展示への参加状況については、「よく参加している」が4.6%、「1～2度参加」が17.6%、合計22.2%で、約2割に参加経験がある。

《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男女ともに年齢が上がるにつれ、参加経験が多くなっている。

《職業別》では「公務員、教員」で「参加したことはない」が58.8%となっている。

33. 効果的だと思う人権問題に関する啓発活動

問 42. 人権問題に関する啓発活動で、どのようなことが効果的だと思いますか。(〇印いくつでも)



効果的だと思う人権問題に関する啓発活動については、「テレビ、ラジオ」が 52.0%と最も多く、次いで「新聞、雑誌」(31.7%)、「講演会、研修会、イベント等」(25.0%)、「広報紙、パンフレット」(21.1%)の順となっている。

【基本属性別】

問42. 効果的だと思う人権問題に関する啓発活動

単位:%

	等講演会、研修会、イベント	広報紙、パンフレット	テレビ、ラジオ	映画、ビデオ	新聞、雑誌	掲示物（ポスターなど）	インターネットのホームページやお知らせ	その他	特にない	わからない	無回答
全体(N=1774)	25.0	21.1	52.0	14.1	31.7	18.2	12.3	1.9	4.0	17.1	4.7
性別											
男性(n=799)	25.9	18.5	51.2	11.5	30.5	15.6	12.0	2.0	5.4	16.0	4.6
女性(n=962)	24.3	23.3	52.7	16.0	32.8	20.6	12.8	1.8	2.9	18.1	4.5
性・年齢別											
男性20～29歳(n=55)	23.6	14.5	65.5	21.8	29.1	27.3	27.3	0.0	5.5	18.2	0.0
30～39歳(n=108)	20.4	9.3	56.5	21.3	26.9	12.0	16.7	6.5	8.3	12.0	0.9
40～49歳(n=116)	24.1	11.2	58.6	8.6	22.4	14.7	15.5	2.6	6.0	14.7	0.9
50～59歳(n=123)	17.1	17.1	55.3	13.8	36.6	10.6	13.8	1.6	7.3	17.1	1.6
60～69歳(n=214)	30.8	22.4	46.7	4.7	35.0	17.8	7.9	0.9	3.7	15.4	7.0
70歳以上(n=181)	30.9	26.5	40.9	11.0	28.7	16.0	6.1	0.6	3.9	18.8	9.9
女性20～29歳(n=76)	17.1	7.9	68.4	34.2	35.5	18.4	22.4	3.9	3.9	14.5	1.3
30～39歳(n=166)	16.9	25.3	63.3	21.1	34.9	22.9	18.7	4.8	0.0	14.5	0.0
40～49歳(n=172)	25.0	24.4	64.0	22.1	37.2	25.0	14.5	1.7	0.6	15.7	0.0
50～59歳(n=144)	33.3	22.2	59.7	18.8	35.4	18.8	14.6	1.4	1.4	19.4	4.2
60～69歳(n=233)	24.9	29.2	43.3	8.6	31.8	23.2	8.6	0.0	4.3	22.3	5.6
70歳以上(n=165)	26.1	20.6	30.9	4.8	24.2	12.1	4.8	0.6	7.3	18.2	13.9
居住地別											
旧七宝町(n=504)	23.0	19.4	54.2	13.3	32.9	17.5	14.7	2.2	4.0	17.3	5.0
旧美和町(n=512)	22.5	20.1	53.5	11.1	35.4	16.6	11.5	0.6	3.5	17.2	6.4
旧甚目寺町(n=637)	29.4	24.5	47.7	16.0	29.8	19.8	10.8	1.9	4.4	17.4	3.1
職業別											
自営業、経営者、役員(n=242)	25.2	19.8	42.6	11.2	22.3	14.5	7.4	2.1	5.8	16.5	5.8
公務員、教員(n=59)	33.9	18.6	54.2	16.9	42.4	20.3	18.6	6.8	8.5	11.9	0.0
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	22.8	11.1	56.1	12.8	31.1	17.2	17.8	1.7	2.8	18.9	4.4
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	22.2	15.7	63.5	16.5	30.0	15.7	18.3	3.5	4.3	13.5	1.3
臨時雇、パート、派遣(n=264)	22.0	21.2	56.1	20.1	35.6	21.6	11.4	1.5	1.5	17.4	1.9
その他の有業者(n=20)	10.0	10.0	30.0	15.0	45.0	30.0	20.0	10.0	5.0	15.0	10.0
家事専業(n=366)	27.9	30.1	53.6	12.8	35.2	23.0	12.0	1.1	3.8	18.0	3.3
学生、無職(n=374)	27.5	23.0	46.8	11.0	31.8	16.0	9.9	0.5	4.3	19.0	7.2
その他(n=21)	19.0	9.5	52.4	23.8	28.6	9.5	4.8	4.8	0.0	19.0	23.8

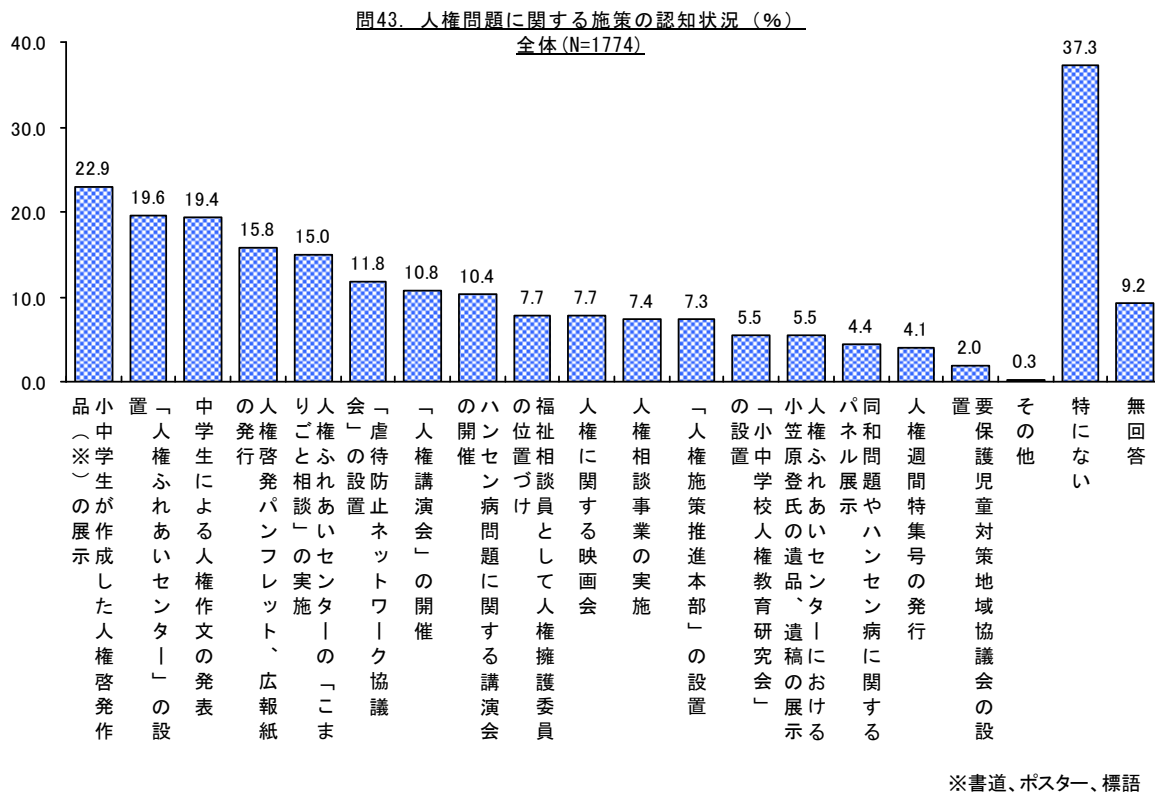
《性別》での大きな差はみられないが、《性・年齢別》では、男性 20 歳代で「掲示物（ポスターなど）」「インターネットのホームページやお知らせ」、女性 20 歳代で「映画、ビデオ」が他の年齢層に比べ多くなっている。また、男性 30 歳以上で年齢が上がるにつれ「広報紙、パンフレット」が多くなっている。

《居住地別》でみると、「旧甚目寺町」で「講演会、研修会、イベント等」が他の居住地に比べやや多くなっている。

《職業別》では、「公務員、教員」で「講演会、研修会、イベント等」、「その他の有業者」で「新聞、雑誌」「掲示物（ポスターなど）」、「家事専業」で「広報紙、パンフレット」が他の職業に比べ多くなっている。

34. 人権問題に関する施策の認知状況

問 43. 本市では、人権問題に関して以下のことを行っていますが、ご存じのものはありますか。
(○印いくつでも)



人権問題に関する施策の認知状況については、「特にない」が 37.3%と最も多い。認知している施策としては、「小中学生が作成した人権啓発作品 (書道、ポスター、標語) の展示」(22.9%)、「『人権ふれあいセンター』の設置」(19.6%)、「中学生による人権作文の発表」(19.4%)の順となっている。

【基本属性別】

問43. 人権問題に関する施策の認知状況

単位：%

	「人権施策推進本部」の設置	「小中学校人権教育研究会」の設置	「人権ふれあいセンター」の設置	「虐待防止ネットワーク協議会」の設置	要保護児童対策地域協議会の設置	福祉相談員として人権擁護委員の位置づけ	人権相談事業の実施	人権ふれあいセンターの「こまりごと相談」の実施	「人権講演会」の開催	ハンセン病問題に関する講演会の開催	人権に関する映画会	中学生による人権作文の発表	笠原登氏の遺品、遺稿の展示	人権ふれあいセンターにおける小笠原登氏の遺品、遺稿の展示	同和問題やハンセン病に関するパネル展示	小中学生が作成した人権啓発作品（書道、ポスター、標語）の展示	発行	人権週間特集号の発行	その他	特になし	無回答
全体(N=1774)	7.3	5.5	19.6	11.8	2.0	7.7	7.4	15.0	10.8	10.4	7.7	19.4	5.5	4.4	22.9	15.8	4.1	0.3	37.3	9.2	
性別																					
男性(n=799)	8.4	4.3	18.8	10.0	2.6	7.3	7.8	12.4	9.1	8.4	5.9	13.8	5.4	3.8	14.5	15.0	4.0	0.4	43.6	8.9	
女性(n=962)	6.5	6.5	20.4	13.4	1.5	8.1	7.2	17.0	12.2	12.1	9.1	24.3	5.5	4.9	30.0	16.4	4.3	0.3	32.2	9.3	
性・年齢別																					
男性20～29歳(n=55)	9.1	5.5	21.8	9.1	0.0	3.6	7.3	10.9	3.6	12.7	3.6	23.6	7.3	3.6	21.8	16.4	1.8	0.0	50.9	3.6	
30～39歳(n=108)	3.7	3.7	14.8	12.0	0.9	1.9	2.8	4.6	3.7	3.7	2.8	12.0	1.9	1.9	14.8	6.5	2.8	0.0	59.3	2.8	
40～49歳(n=116)	7.8	4.3	24.1	14.7	3.4	5.2	6.0	7.8	9.5	8.6	7.8	17.2	5.2	5.2	21.6	12.9	2.6	0.0	41.4	7.8	
50～59歳(n=123)	8.1	4.1	15.4	9.8	2.4	7.3	6.5	8.9	11.4	8.9	3.3	9.8	4.1	2.4	12.2	16.3	0.8	0.8	46.3	7.3	
60～69歳(n=214)	9.8	3.7	19.6	9.8	2.8	8.4	7.9	14.5	8.4	10.3	6.5	11.7	6.1	3.7	12.6	18.2	3.7	0.5	37.9	12.1	
70歳以上(n=181)	9.9	5.0	17.7	6.6	3.9	11.6	12.7	19.9	13.3	7.2	8.3	14.9	7.2	5.0	11.6	16.6	8.8	0.6	38.1	12.2	
女性20～29歳(n=76)	2.6	2.6	19.7	13.2	3.9	6.6	6.6	6.6	5.3	7.9	3.9	28.9	2.6	1.3	34.2	7.9	5.3	2.6	39.5	3.9	
30～39歳(n=166)	3.0	9.0	16.9	17.5	0.6	4.8	2.4	6.0	9.6	9.6	4.2	22.9	3.6	1.2	32.5	12.7	4.2	0.6	45.8	3.6	
40～49歳(n=172)	8.1	11.6	23.3	15.7	0.6	3.5	5.2	15.1	14.5	14.5	12.8	39.5	8.7	8.1	55.8	20.9	7.0	0.0	26.2	1.2	
50～59歳(n=144)	9.7	5.6	24.3	22.2	2.8	8.3	12.5	23.6	20.8	16.0	17.4	31.9	8.3	6.3	29.9	25.0	5.6	0.0	23.6	9.0	
60～69歳(n=233)	7.7	4.3	20.2	10.7	1.3	8.6	9.9	23.6	9.9	14.6	9.4	16.7	5.2	5.6	19.3	18.0	3.4	0.0	32.6	10.3	
70歳以上(n=165)	6.1	4.8	17.6	2.4	1.2	16.4	6.1	20.0	10.9	6.7	4.8	11.5	3.6	4.8	13.3	10.3	1.2	0.0	28.5	24.8	
居住地別																					
旧七宝町(n=504)	4.8	4.4	12.3	11.9	1.8	8.3	4.6	13.9	5.4	3.8	2.2	15.7	1.4	2.0	16.9	10.1	3.8	0.2	42.7	11.7	
旧美和町(n=512)	3.9	3.5	13.9	10.0	2.1	7.4	8.0	14.8	5.1	5.1	1.6	16.6	1.6	1.0	22.7	14.1	3.5	0.0	39.6	10.7	
旧甚目寺町(n=637)	13.0	8.9	30.9	14.0	2.2	8.3	9.9	16.8	20.9	20.9	17.4	27.0	12.4	9.7	31.1	22.9	5.2	0.5	27.3	6.4	
職業別																					
自営業、経営者、役員(n=242)	9.1	5.4	18.2	12.0	2.9	10.7	6.2	12.0	12.0	9.1	5.4	14.0	4.1	5.0	16.5	14.5	4.5	0.0	38.4	12.8	
公務員、教員(n=59)	16.9	20.3	32.2	27.1	5.1	16.9	16.9	16.9	32.2	23.7	15.3	42.4	16.9	13.6	49.2	22.0	8.5	1.7	23.7	5.1	
民間企業・団体(100人未満)(n=180)	4.4	2.2	20.6	12.8	0.6	4.4	4.4	9.4	5.0	8.3	3.9	12.8	4.4	2.2	17.2	10.0	2.2	0.0	45.6	7.8	
民間企業・団体(100人以上)(n=230)	6.1	2.2	13.5	10.9	1.3	4.8	3.5	4.8	5.7	6.1	4.3	15.2	4.3	1.7	16.1	12.2	2.2	0.4	51.3	4.8	
臨時雇、パート、派遣(n=264)	8.7	6.4	20.1	16.3	1.9	5.7	6.8	16.7	11.7	13.6	10.2	31.1	7.6	5.3	36.4	20.1	5.3	0.4	30.3	4.2	
その他の有業者(n=20)	5.0	10.0	10.0	10.0	5.0	0.0	5.0	20.0	15.0	5.0	5.0	15.0	5.0	10.0	15.0	25.0	5.0	5.0	30.0	15.0	
家事専業(n=366)	7.4	6.6	21.3	12.8	1.1	8.7	10.9	19.1	13.4	11.7	10.4	22.7	4.1	4.9	30.3	19.1	4.4	0.0	31.1	8.5	
学生、無職(n=374)	6.7	5.6	21.4	6.1	2.9	9.1	8.3	20.1	9.9	9.9	8.0	14.4	5.6	4.0	15.0	15.0	4.5	0.5	38.2	12.3	
その他(n=21)	0.0	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	4.8	0.0	23.8	0.0	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0	28.6	28.6	

《性別》では、男性に比べ女性で「中学生による人権作文の発表」「小中学生が作成した人権啓発作品（書道、ポスター、標語）の展示」が多くなっている。

《性・年齢別》では、女性40歳代で「中学生による人権作文の発表」「小中学生が作成した人権啓発作品（書道、ポスター、標語）の展示」が他の年齢層に比べ多くなっている。

《居住地別》では「旧甚目寺町」、《職業別》では「公務員、教員」で『人権施策推進本部』の設置』『人権ふれあいセンター』の設置』『人権講演会』の開催』『ハンセン病問題に関する講演会の開催』『人権に関する映画会』『中学生による人権作文の発表』『人権ふれあいセンターにおける小笠原登氏の遺品、遺稿の展示』『小中学生が作成した人権啓発作品（書道、ポスター、標語）の展示』などが他の層に比べ多くなっている。